

## 第3章 光市の公共施設の状況

---

### 第1節 全体の状況

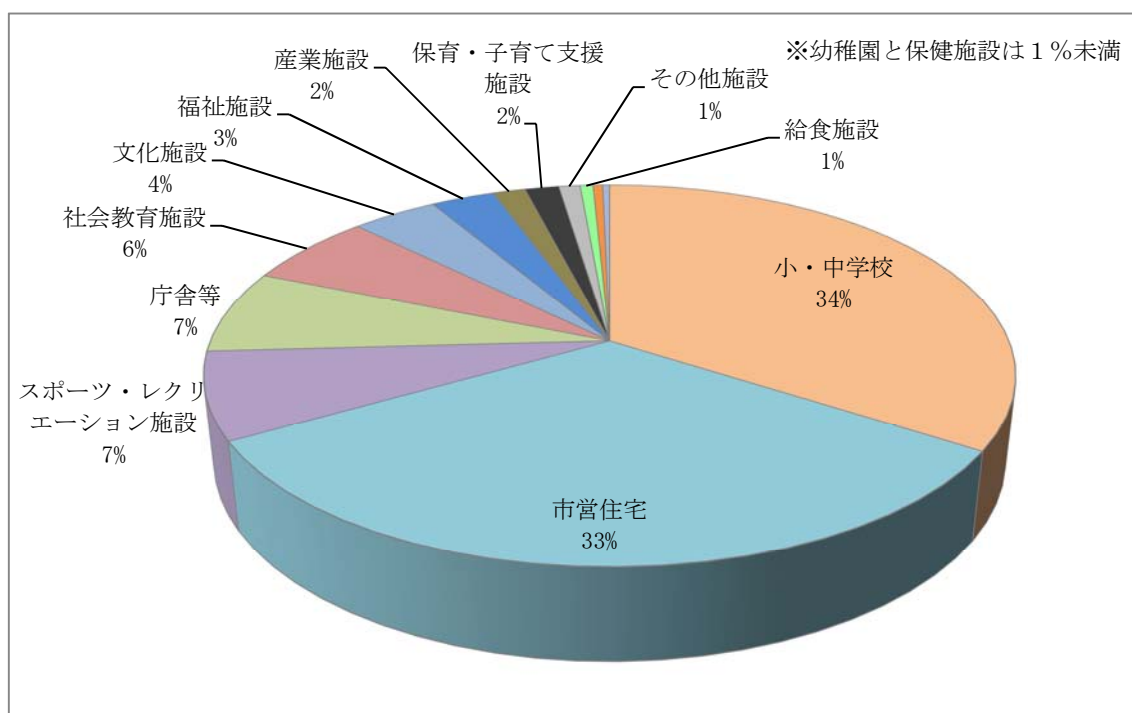
本白書の対象は、公共施設のうち、統廃合や機能向上などのマネジメント効果が最も期待される「建物」とし、対象施設数は147施設（348棟）で、総延床面積は205,088.97㎡となっています。

また、市民一人あたりの保有面積は3.83㎡となり、これは全国平均の3.42㎡（東洋大学PPP研究センター『全国自治体公共施設延床面積データ（平成24年1月11日公表）』による）を上回っています。

さらに、平成24年度に要した維持管理・運営コストは約17億4,000万円で、市民一人あたりでは約3万2,500円を負担している計算です。

用途分類別に延床面積を見てみると、小・中学校と市営住宅の占める割合が大きく、これらの施設だけで全体の3分の2に相当する延床面積を有しています。

【図表17：用途分類別に見る延床面積の割合】

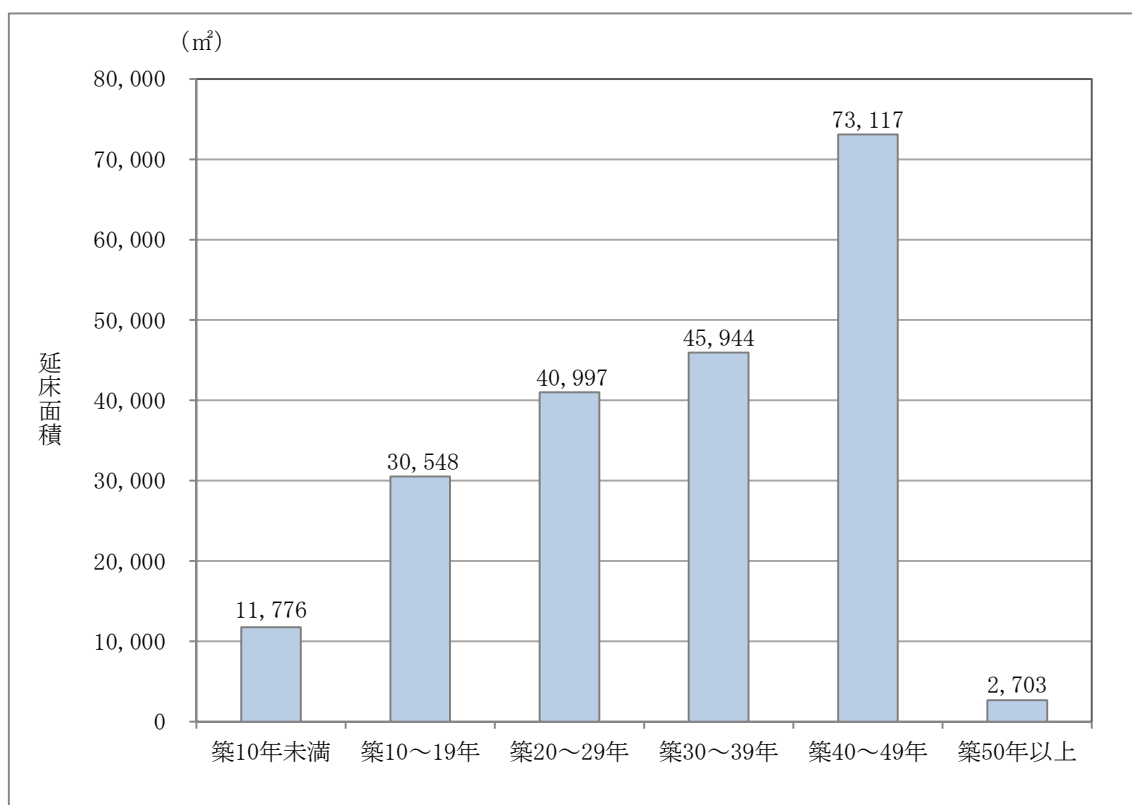


## 第2節 建築年代別の状況

本白書の対象147施設(348棟)の延床面積を建築年代別に見てみると、昭和40年代から50年代にかけて多くの施設が整備されていることが分かります。そのため、築30年以上経過している施設の延床面積が全体の59%に上っており、このことから本市の公共施設は老朽化が相当進展しているといえます。

また、旧耐震基準下(昭和56年5月以前)に建築された施設の延床面積が全体の57%を占めています。このうち耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない小・中学校については「光市公立学校施設耐震化推進計画」に基づき平成26年度までを目途に、保育所については「光市公立保育所施設耐震化推進計画」に基づき平成30年度までを目途に、耐震化整備が完了する見込みです。

【図表18：建築経過年別整備状況(延床面積)】



※データの基準日は、平成25年3月31日です。なお、延床面積は小数点以下を切り捨てて表示しています。



図表20は、施設数で見た建築経過年別の整備状況です。

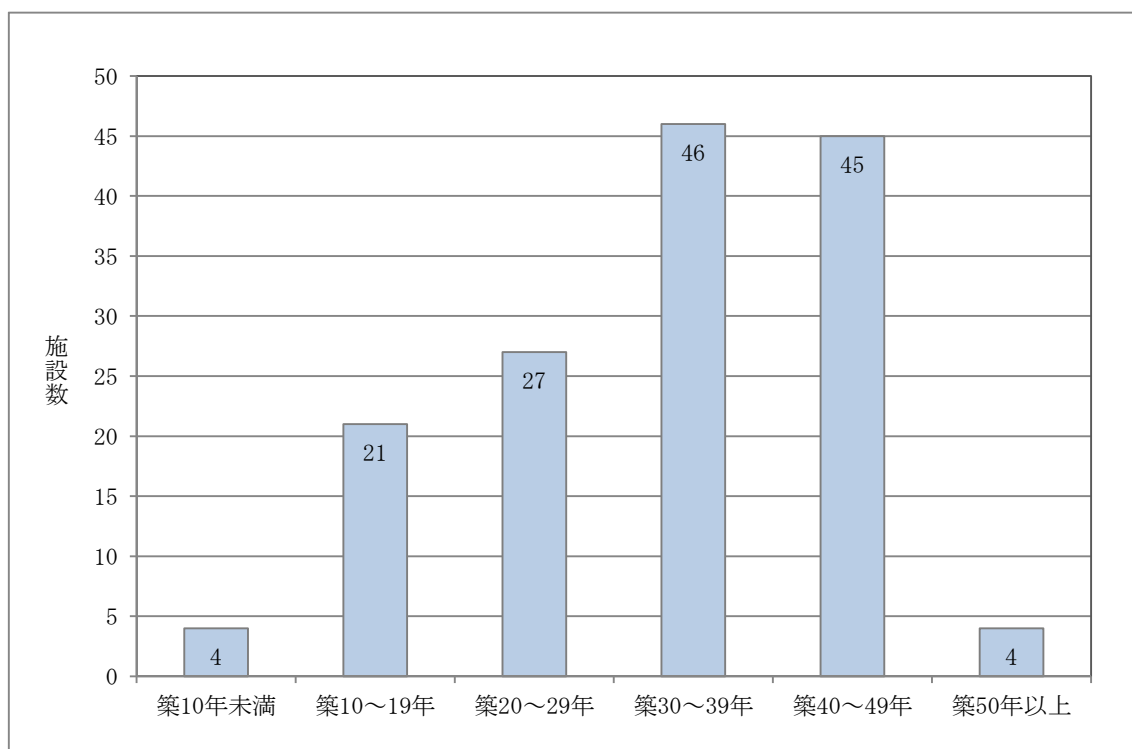
これによると、築30～39年（昭和48年4月から昭和58年3月の間に建築）の施設数が最も多く、次いで築40～49年（昭和38年4月から昭和48年3月の間に建築）の順になっています。

築30～39年の主な施設は、公民館6施設（浅江公民館ほか）、教育集会所4施設（昭和会館ほか）、図書館、文化センター及びスポーツ館などです。

一方、築40～49年の主な施設は、市役所本庁舎、大和支所、公民館5施設（室積公民館ほか）、市民ホール、保育園3施設（浅江東保育園ほか）、小・中学校7施設（光井小学校ほか）及び市営住宅18施設（松中住宅ほか）などです。

築30～39年の施設数と築40～49年の施設数は、ほぼ同数となっていますが、先の図表18で示した延床面積での比較では、築40～49年の施設の延床面積の方が約2万7,000㎡も多くなっています。これは、築40～49年の施設に、個々の施設の規模が大きい小・中学校及び市営住宅が多く含まれているためです。

【図表20：建築経過年別整備状況（施設数）】



※データの基準日は、平成25年3月31日です。なお、複数の棟で構成される施設については、中心的な棟（同等の棟が複数ある場合は、その中で最も古い棟）の建築年月により分析しています。

### 第3節 用途分類別の状況

本節では、本白書の対象施設である147施設（348棟）について、用途別に整理・分析しています。

各図表の見方については、次のとおりです。

#### ■「図表21：用途分類別施設データ」の見方

	A	B	C	D	E	F	G
番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
1	全域	市役所本庁舎 □本庁舎 □清掃庁舎	7,014.99 216.29	RC造 S造	S43.3 S58.1	91,517,453	79,800
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
計			14,440.40			170,543,082	219,724
H	市民一人あたり		0.27			3,186	

#### A 対象

利用者の区域が市内全域又は市外に及ぶ施設を「全域」、利用者の区域がある程度定まっている施設を「地域」と表示しています。

#### B 施設名

条例等で定められた正式な名称の頭にある「光市」や「光」といった表記は省略しています。

#### C 延床面積

施設の延床面積で単位は「㎡」です。複合施設については、当該施設の占有面積を記載しています。

#### D 構造

建物の主体構造で、複数の棟で構成される施設については、中心的な棟（同等の棟が複数ある場合は、その中で最も古い棟）の構造を表示しています。

なお、構造表記については、次のとおりです。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| ・RC造…鉄筋コンクリート造 | ・SRC造…鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| ・S造 …鉄骨造       | ・CB造 …コンクリートブロック造 |
| ・木造 …木造        |                   |

#### E 築年月

建物の建築年月で、複数の棟で構成される施設については、中心的な棟（同等の棟が複数ある場合は、その中で最も古い棟）の建築年月を表示しています。

なお、「S」は昭和、「H」は平成を表しています。

#### F コスト

施設の維持管理・運営にかかる費用から使用料や国・県補助等の収入を差

し引いたもので、単位は「円」です。

なお、コストに含まれる人件費については、施設所管課職員が当該施設の維持管理・運営に要した事務量に相当する人件費と、実際に施設に配置されて運営にあたっている職員の人件費を合わせて計上しています。ただし、市役所本庁舎をはじめとする庁舎については、前者のみを計上しています。

また、小・中学校については、光市の一般会計から支出されるコストのみを計上しています。

#### G 利用者数

年間の延利用者数で、単位は「人」です。職員の利用は含まず、一部の施設を除いて概算人数となっています。

また、小・中学校や幼稚園など利用者が限られる施設については、生徒数や園児数などの実利用者数を記載しています。

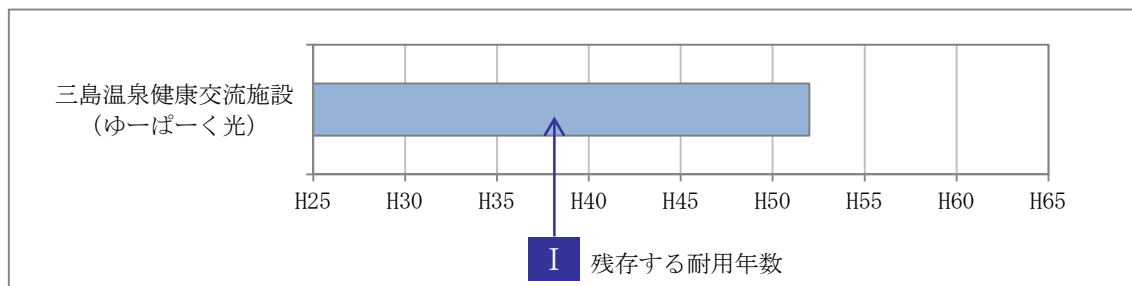
なお、利用者数が把握できない施設は、「不明」としています。

#### H 市民一人あたり

延床面積、コストともに、平成25年3月末現在の住民基本台帳人口53,525人で割ったものです。

○施設のデータの基準日は平成25年3月31日現在とし、コスト及び利用者数は平成24年度の実績とします。

### ■「図表22：残存耐用年数」の見方



#### I 残存する耐用年数

減価償却費を算出するために税法上で定められた法定耐用年数を基準として、このうち残りの期間を示したものです。

なお、法定耐用年数は、あくまでも施設の効用が持続するとされる寿命の目安であり、実際の建物寿命とは異なる点に注意が必要です。

○各施設に適用する法定耐用年数は次のとおりです。

□RC（鉄筋コンクリート）造又はSRC（鉄骨鉄筋コンクリート）造  
市営住宅及び学校は47年、それ以外の施設は50年とします。

□ S（鉄骨）造

本来は骨格材の肉厚により法定耐用年数が異なりますが、本白書では、一律4ミリメートルを超えるものとして扱います。

スポーツ館は34年、三島温泉健康交流施設は27年、大型共同作業場や給食センターなどの作業所は31年、それ以外の施設は38年とします。

□ CB（コンクリートブロック）造

該当する施設は市営住宅のみで38年とします。

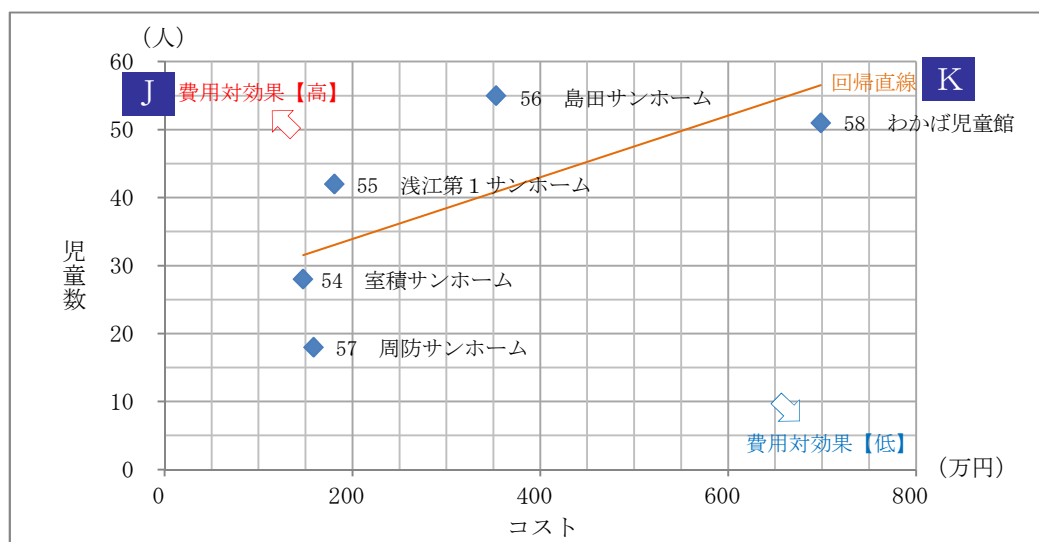
□ 木造

木造又は合成樹脂造の建物と木造モルタル造の建物では、若干、法定耐用年数が異なりますが、本白書では、一律前者の法定耐用年数を適用することとして、市営住宅は22年、それ以外の施設は24年とします。

※複数の棟で構成される施設については、中心的な棟（同等の棟が複数ある場合は、そのうちの最も古い棟）の建築年月を基準にしています。

○施設のデータの基準日は平成25年3月31日現在とします。

■「図表23：利用者数から見る費用対効果」の見方



J 費用対効果

施設の利用者数（例では児童数）とコスト（維持管理・運営にかかる費用－収入）の関係を示した指標で、表の左上に近づくほど費用対効果が高く、



反対に右下に近づくほど費用対効果が低くなります。

なお、費用対効果は、施設の設置効果を計る上での一つの指標であり、公共施設の中には、利用者数の多い少ないに関わらず、行政の責務として設置すべき施設もあることから、この指標のみで施設の価値が決定づけられるものではない点に注意が必要です。

#### **K** 回帰直線

2組のデータ（利用者数とコスト）の中心的な分布傾向を表す直線です。

○本来は一つである機能を分化している庁舎をはじめ、2施設以下で構成される小分類や、設置目的が大きく異なる施設で構成される小分類（その他社会教育施設など）については、施設間の有効な比較が行えないため、図表を挿入していません。

○コスト及び利用者数は、平成24年度の実績です。

(1) 庁舎等

市役所本庁舎や出張所など計10施設（12棟）が対象となり、総延床面積は14,501.27㎡（全体の7%）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約2億3,700万円で、市民一人あたり約4,400円を負担している計算です。

ア 庁舎

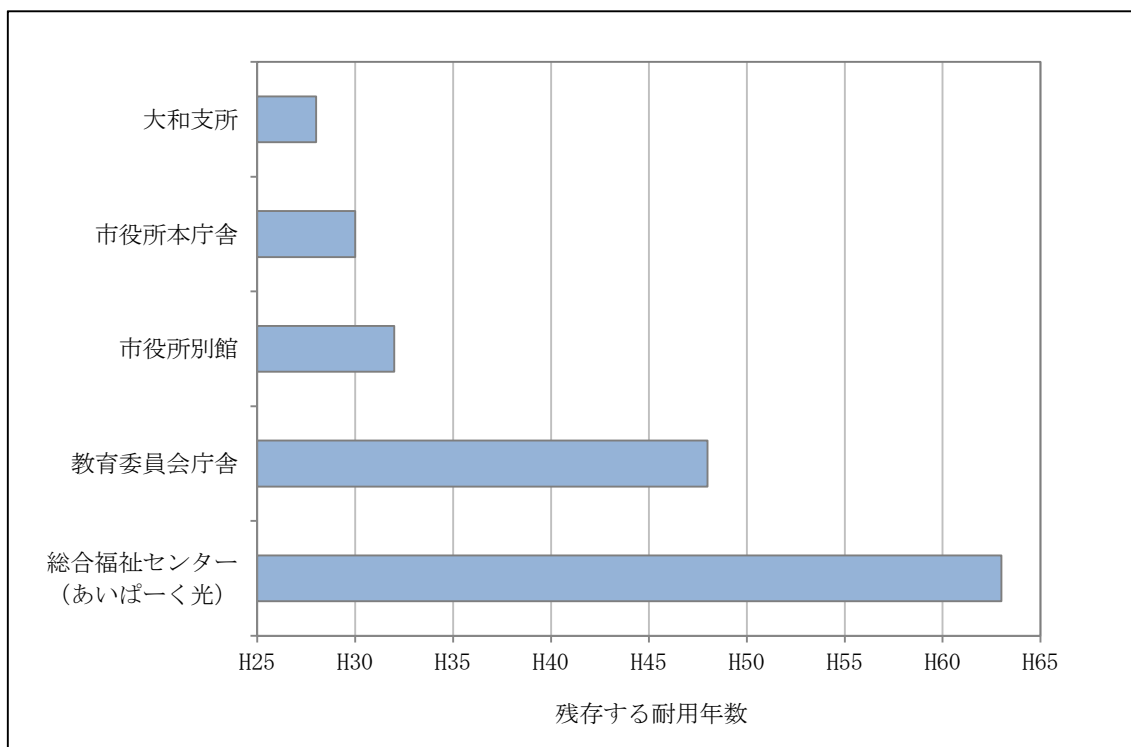
市役所本庁舎は、市政運営における行政活動、市民サービス提供の拠点としての役割を持ち、現在の庁舎は昭和43年に建築されたものです。その後、業務の多様化に伴い、平成13年に、福祉保健部門については、休日診療所等の保健・福祉・医療機能を合わせた総合拠点施設として建設された総合福祉センター（あいぱーく光）に、教育部門については、教育委員会事務局を教育委員会庁舎（旧保健センター）に移転しました。また、平成16年の旧光市と大和町の合併に伴い、旧大和町役場は大和支所となりました。

なお、市役所別館は平成21年度に取得した建物で、現在は公園緑地課作業員用事務所として利用しています。

【図表21-1：用途分類別施設データ（庁舎）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
1	全域	市役所本庁舎				91,517,453	79,800
		□本庁舎	7,014.99	RC造	S43.3		
		□清掃庁舎	216.29	S造	S58.1		
2	全域	市役所別館	216.28	S造	S56.10	526,116	0
3	全域	総合福祉センター (あいぱーく光)	4,750.33	RC造	H13.3	55,336,809	118,169
4	地域	大和支所				11,731,000	19,875
		□本館	727.19	RC造	S41.3		
		□新館	640.27	S造	S62.11		
5	全域	教育委員会庁舎	875.05	RC造	S60.3	11,431,704	2,400
計			14,440.40			170,543,082	220,244
市民一人あたり			0.27			3,186	

【図表 2 2 - 1 : 残存耐用年数 (庁舎)】



イ 出張所

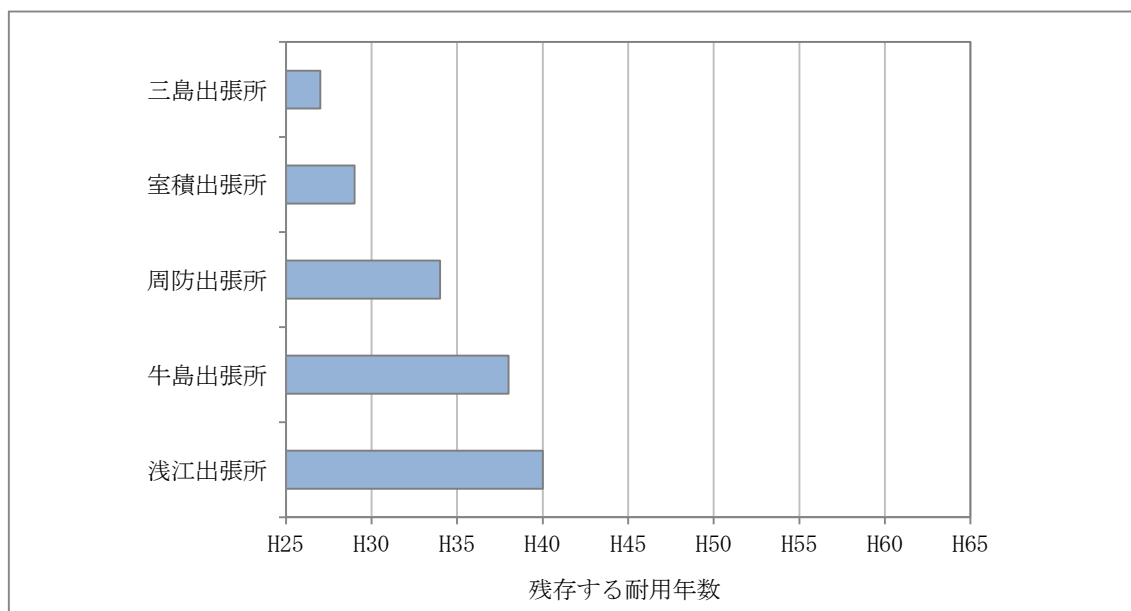
出張所は、証明書発行や届け出など地域の身近な市民サービスの窓口として、5箇所に設置しており、現在の建物は昭和40年代から50年代前半にかけて建築されたもので、いずれの施設も公民館との複合施設となっています。

なお、室積出張所については、平成27年度中に室積コミュニティセンターの複合施設として、更新する予定です。

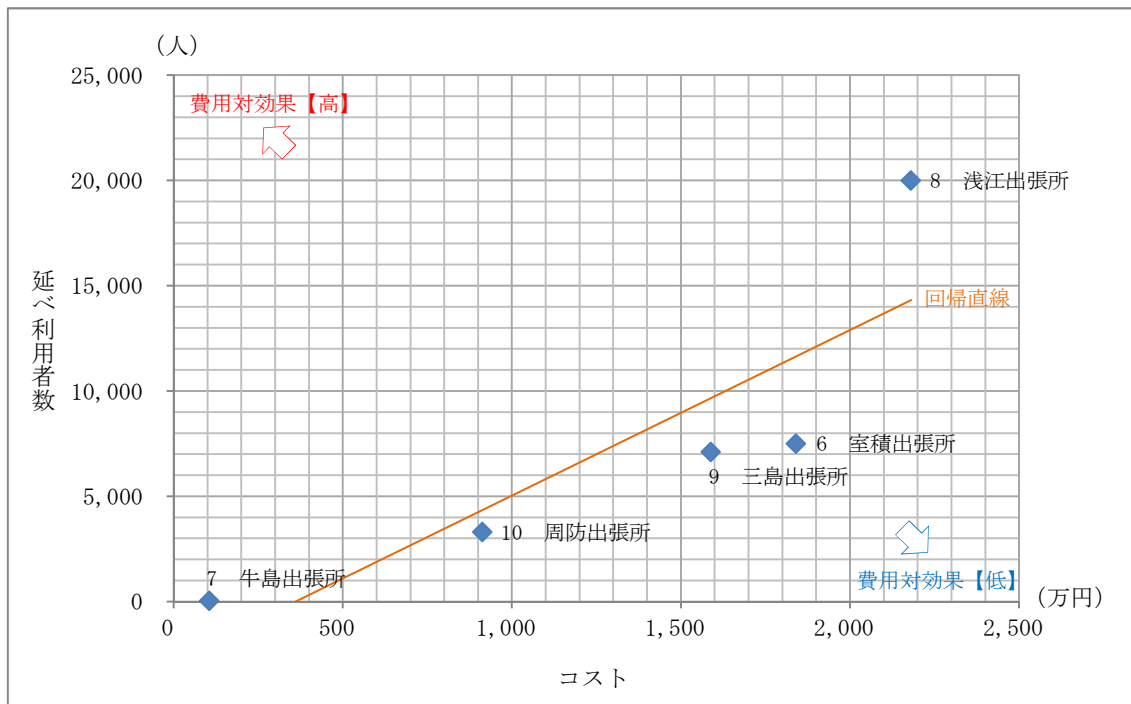
【図表21-2：用途分類別施設データ（出張所）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
6	地域	室積出張所	18.29	RC造	S41.8	18,405,683	7,500
7	地域	牛島出張所	1.39	RC造	S50.8	1,054,392	32
8	地域	浅江出張所	18.30	RC造	S53.3	21,803,468	20,000
9	地域	三島出張所	14.88	RC造	S40.3	15,883,289	7,100
10	地域	周防出張所	8.01	RC造	S47.3	9,130,585	3,300
計			60.87			66,277,417	37,932
市民一人あたり			0.01未満			1,238	

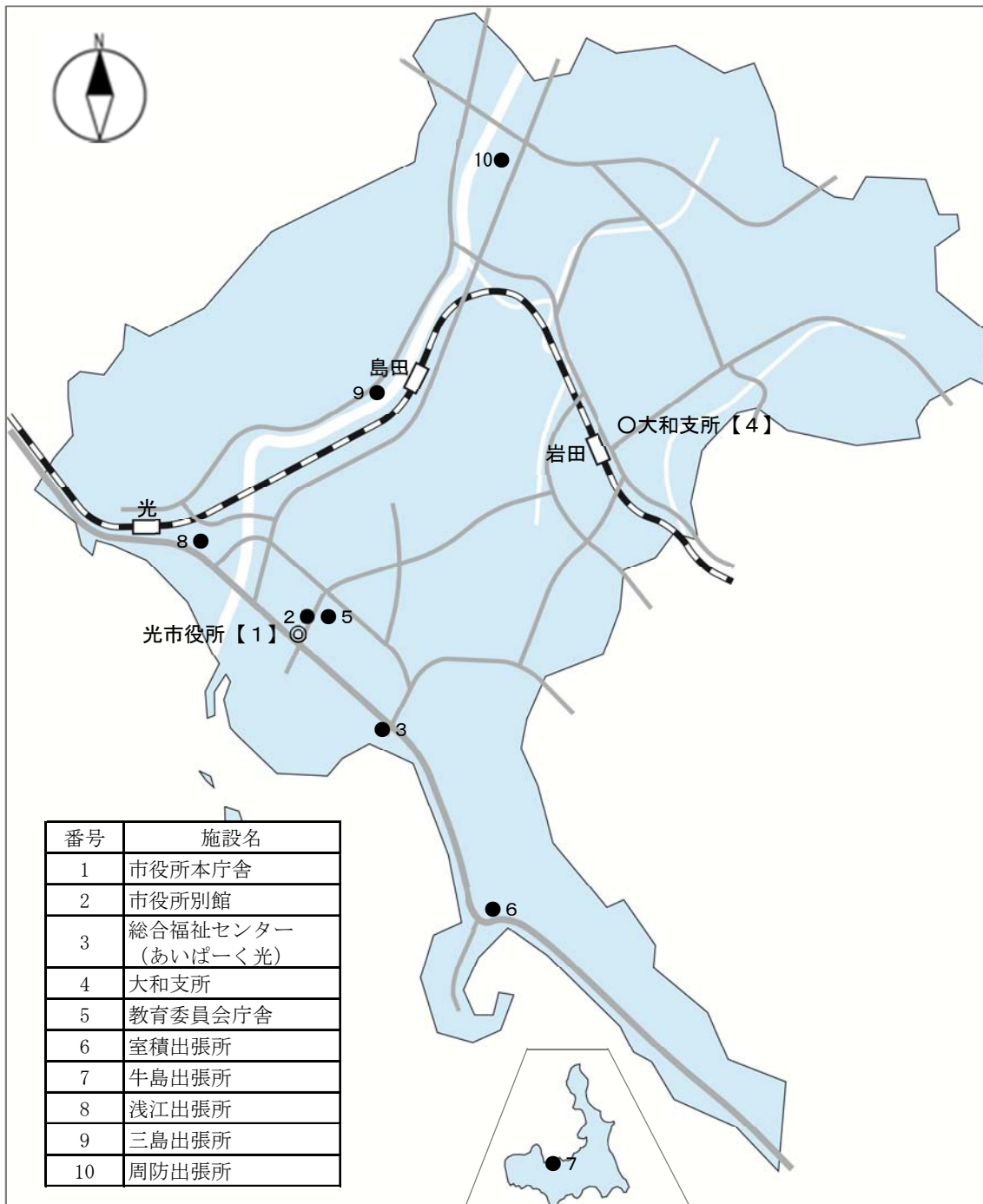
【図表22-2：残存耐用年数（出張所）】



【図表23-1：利用者数から見る費用対効果（出張所）】



【図表 2 4 - 1 : 施設分布図 (庁舎等)】



1 市役所本庁舎



3 総合福祉センター(あいぱーく光)



4 大和支所

(2) 社会教育施設

公民館や集会所など計25施設(27棟)が対象となり、総延床面積は12,699.06㎡(全体の6%)となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約1億6,200万円で、市民一人あたり約3,000円を負担している計算です。

ア 公民館

公民館は、地域住民の教養の向上、健康の増進、地域文化の振興などを目的として、12箇所に設置しており、光井公民館と三島公民館ホールを除き、昭和40年代から50年代に建築されたものです。このうち室積公民館については、平成27年度中に更新される予定となっています。

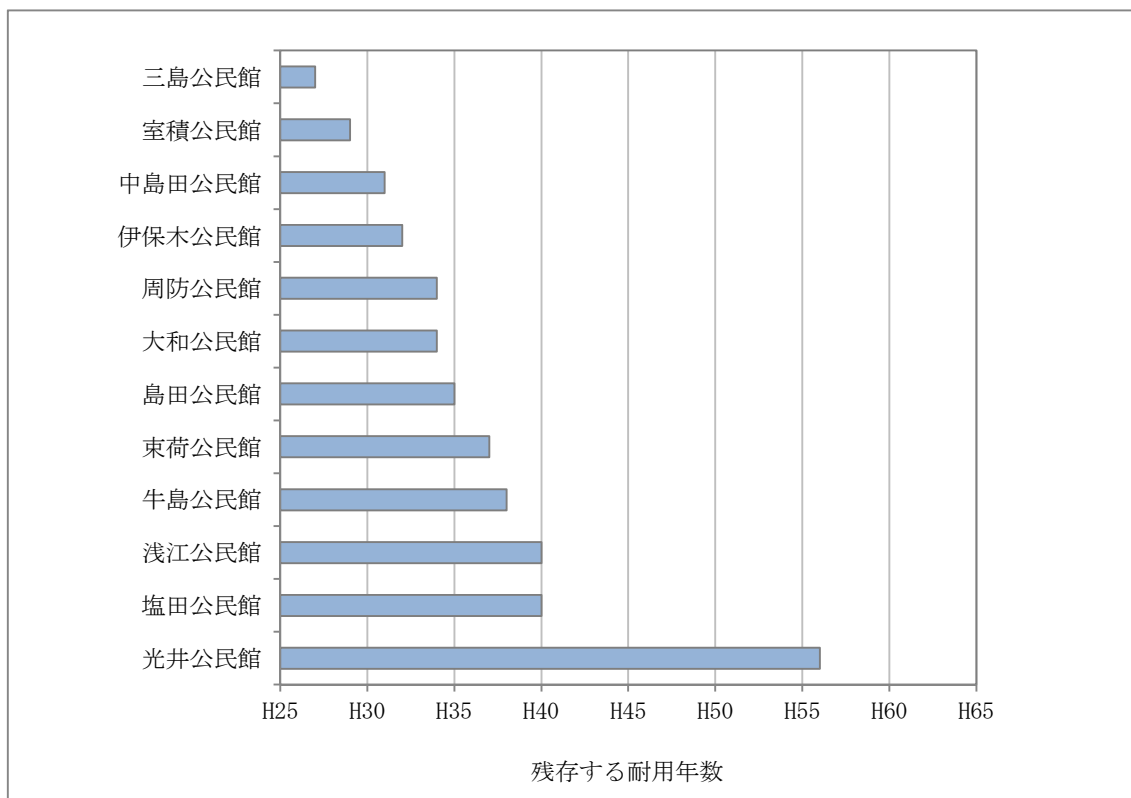
また、室積、牛島、浅江、三島、周防公民館は出張所、光井公民館は生涯学習センター、島田公民館は市民ホールとの複合施設となっています。

なお、平成20年から、「新しい公共」の一環として、地域住民を中心とした管理運営を行っています。

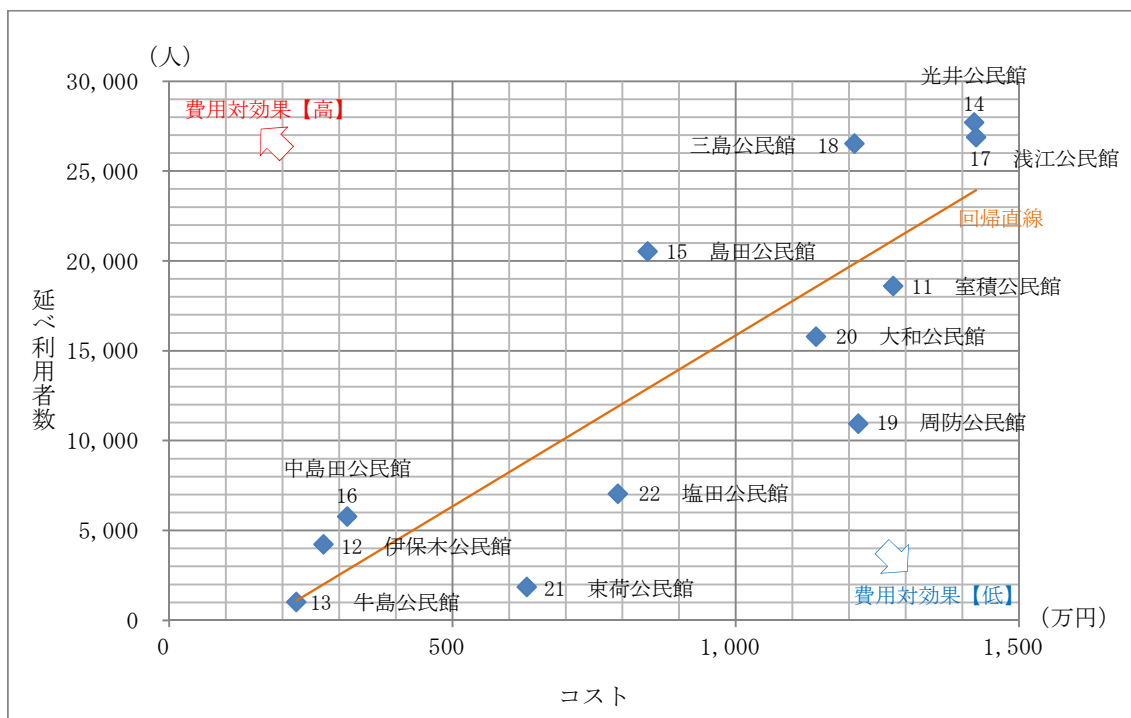
【図表21-3：用途分類別施設データ(公民館)】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
11	地域	室積公民館				12,781,246	18,599
		□公民館	667.41	R C造	S41.8		
		□大ホール	321.10	S造	S54.12		
12	地域	伊保木公民館	197.01	S造	S57.2	2,727,612	4,219
13	地域	牛島公民館	401.45	R C造	S50.8	2,247,189	1,017
14	地域	光井公民館	1,089.93	R C造	H5.10	14,209,150	27,700
15	地域	島田公民館	985.34	R C造	S47.5	8,446,357	20,533
16	地域	中島田公民館	162.00	S造	S56.3	3,141,362	5,772
17	地域	浅江公民館	974.97	R C造	S53.3	14,244,231	26,878
18	地域	三島公民館				12,096,462	26,520
		□公民館	376.86	R C造	S40.3		
		□ホール	349.38	R C造	H1.1		
19	地域	周防公民館	604.18	R C造	S47.3	12,166,247	10,951
20	地域	大和公民館	1,046.00	R C造	S47.1	11,422,418	15,782
21	地域	東荷公民館	357.74	R C造	S50.1	6,311,618	1,858
22	地域	塩田公民館	407.43	R C造	S52.6	7,925,190	7,050
計			7,940.80			107,719,082	166,879
市民一人あたり			0.15			2,013	

【図表 2 2 - 3 : 残存耐用年数 (公民館)】



【図表 2 3 - 2 : 利用者数から見る費用対効果 (公民館)】





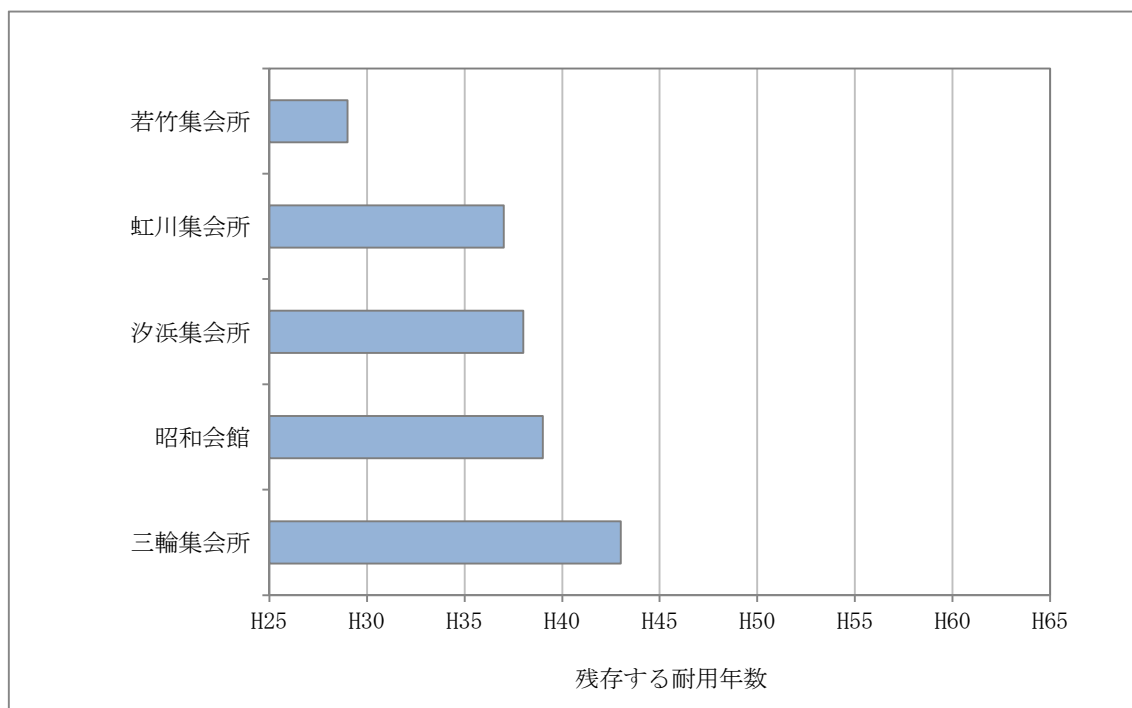
イ 教育集会所

教育集会所は、人権教育の推進を目的として、5箇所を設置しています。現在の主な利用は、地域の集会所として利用されているほか、卓球、書道などの各種教室が開催されています。

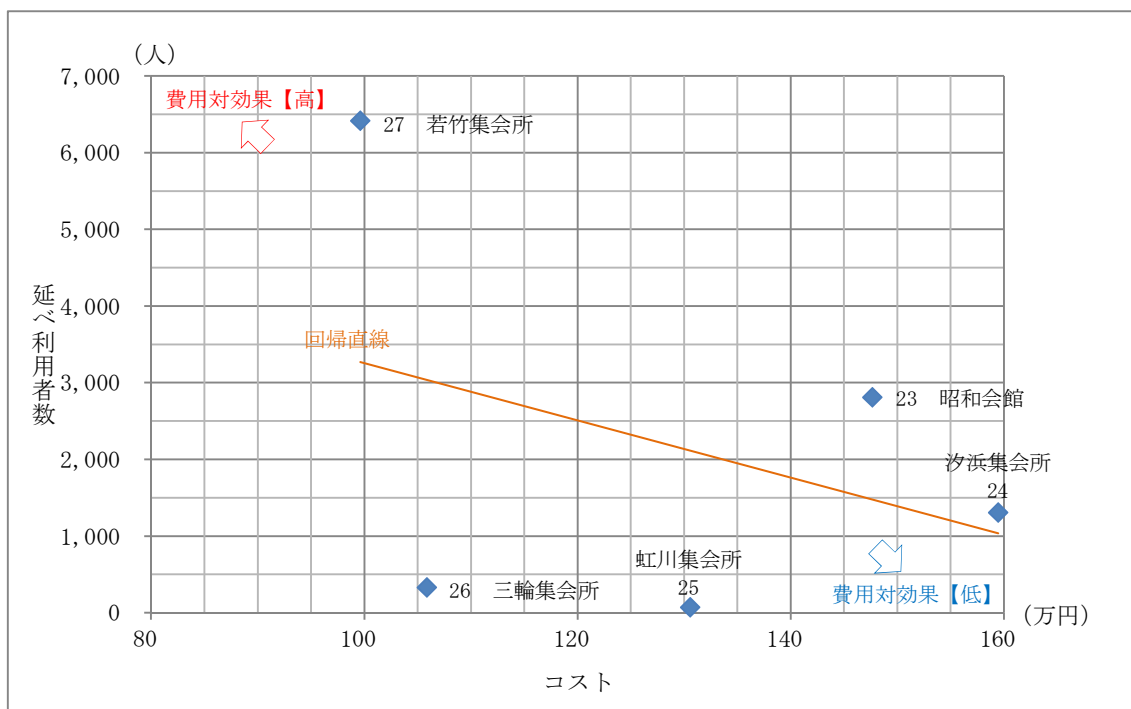
【図表2 1 - 4 : 用途分類別施設データ (教育集会所)】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
23	地域	昭和会館	122.81	R C造	S52.3	1,476,815	2,808
24	地域	汐浜集会所	122.81	R C造	S51.3	1,594,799	1,305
25	地域	虹川集会所	164.52	R C造	S50.3	1,305,845	70
26	地域	三輪集会所	132.30	R C造	S55.4	1,058,918	327
27	地域	若竹集会所	373.62	R C造	S40.4	996,292	6,415
計			916.06			6,432,669	10,925
市民一人あたり			0.02			120	

【図表2 2 - 4 : 残存耐用年数 (教育集会所)】



【図表23-3：利用者数から見る費用対効果（教育集会所）】



※注：若竹集会所は、あさえふれあいセンターとの複合施設で、修繕料を除くその他の費用（光熱水費等）は、同センターの予算で支出しています。そのため、他の教育集会所とは、コストの内容が大きく異なります。

ウ その他社会教育施設

その他社会教育施設8施設は、それぞれ設置の目的は異なりますが、市民活動の場として利用されています。

地域づくり支援センターは平成5年に設置し、市民活動に関する相談や情報提供、活動場所としての貸館業務をはじめ、作業スペースの提供など、市民活動団体の運営・活動をサポートしています。

農業振興地域における地域活動の場として、農村婦人の家は昭和60年に、周防多目的集会所は平成7年に設置し、地域住民、団体などの活動に利用されています。

昭和48年に開館した勤労青少年ホームは、勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図ることを目的に設置された施設で、現在は、卓球やサークル活動の利用が主となっています。

生涯学習センターは、平成5年に生涯学習等の推進を図るために光井公民館内に設置した複合施設で、各種講座が開催されています。

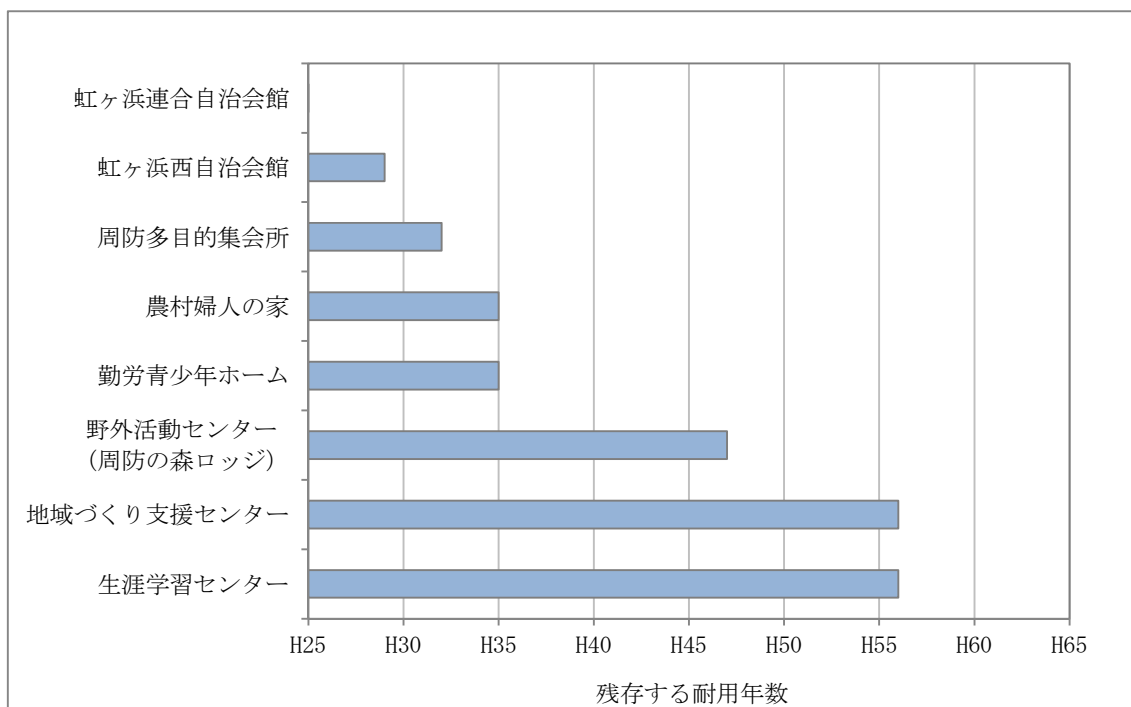
野外活動センター（周防の森ロッジ）は平成8年に設置され、豊かな自然の中でのキャンプ研修などの野外活動、集団宿泊訓練を通じてたくましい青少年の育成を図るなど、様々な事業を展開しています。

虹ヶ浜連合自治会館及び虹ヶ浜西自治会館は、汚水処理施設建設に伴う地元対策事業として市が建設したもので、施設の維持管理は地元自治会が行っています。

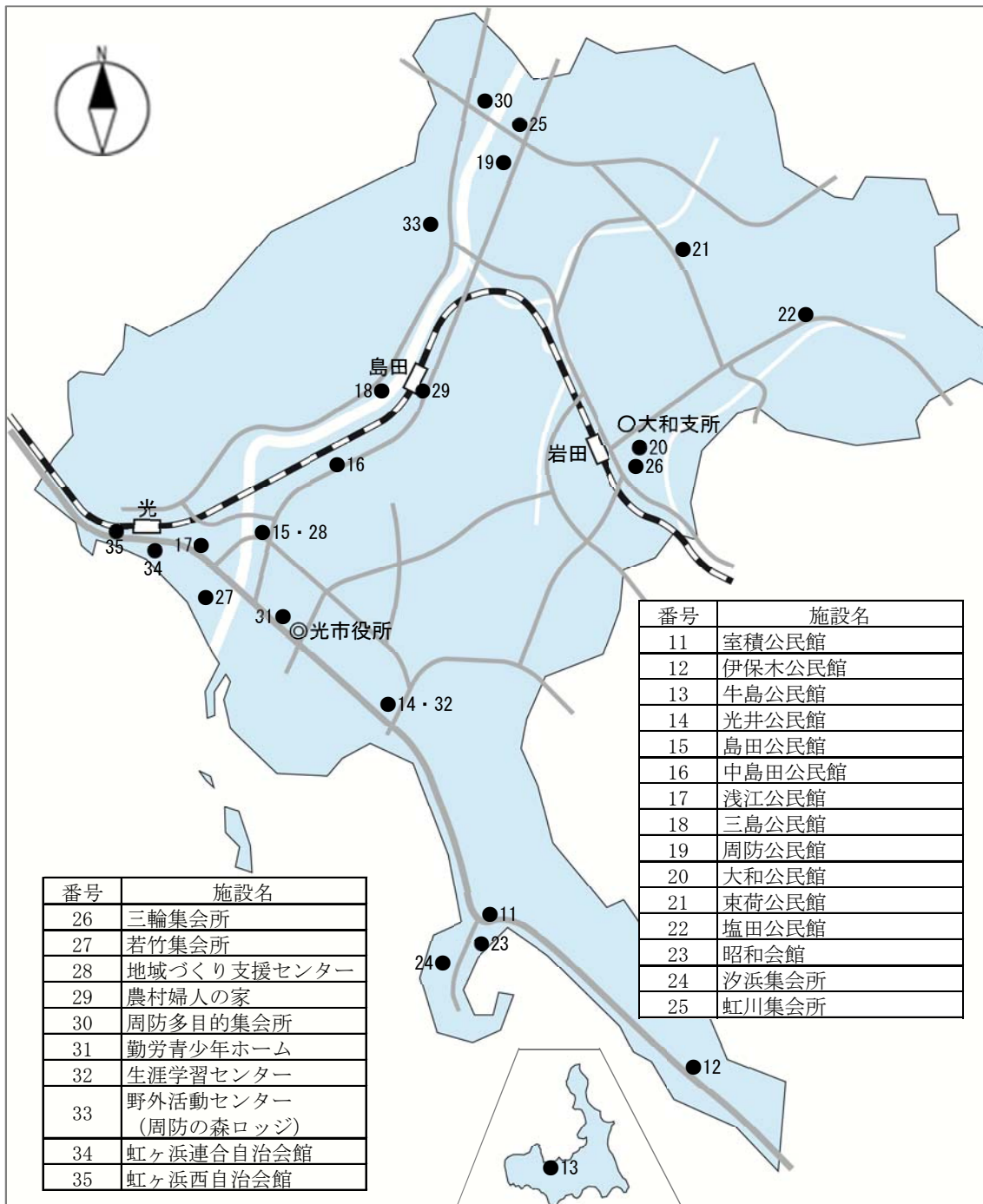
【図表21-5：用途分類別施設データ（その他社会教育施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
28	全域	地域づくり支援センター	1,455.57	R C造	H5.9	16,377,278	38,919
29	地域	農村婦人の家	272.00	S造	S60.3	4,229,929	3,000
30	地域	周防多目的集会所	235.00	木造	H7.6	3,714,459	5,000
31	全域	勤労青少年ホーム	691.90	R C造	S48.3	7,322,949	6,283
32	全域	生涯学習センター	115.39	R C造	H5.10	5,582,975	2,927
33	全域	野外活動センター (周防の森ロッジ)	829.34	S造	H8.7	11,091,533	14,730
34	地域	虹ヶ浜連合自治会館	66.00	木造	S55.1	2,838	不明
35	地域	虹ヶ浜西自治会館	177.00	S造	S53.8	3,480	不明
計			3,842.20			48,325,441	70,859
市民一人あたり			0.07			903	

【図表22-5：残存耐用年数（その他社会教育施設）】



【図表24-2：施設分布図（社会教育施設）】



15 島田公民館



28 地域づくり支援センター



33 周防の森ロッジ

### (3) 文化施設

市民ホールや図書館など計6施設（6棟）が対象となり、総延床面積は8,313.51㎡（全体の4%）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約2億1,300万円で、市民一人あたり約4,000円を負担している計算です。

市民ホールは昭和47年に市民の集会の場としての利用とともに、市民の文化の向上や福祉の増進を図るための施設として設置されたもので、大ホール1,060人、小ホール447人の収容機能を持ち、文化的催しや集会などが開催され多くの市民に利用されています。平成18年から指定管理者による管理運営とし、効率的かつ効果的な施設管理に努めています。

図書館は、昭和51年に開館した光井地区にある図書館本館と平成17年に大和支所新館に移転した大和分室の2施設が設置されています。両図書館を合わせ、現在、約19万冊の蔵書を有し、図書・資料等の収集・整理・保存をしながら、市民の読書環境の充実を図り、利用の促進に努めています。

文化センターは歴史民俗、美術、科学といった分野の総合的な博物館を目指し、旧光市の市制35周年記念事業として昭和55年に開館し、常設展示だけでなく各種企画展を開催し、年間約2万人の来場者があります。

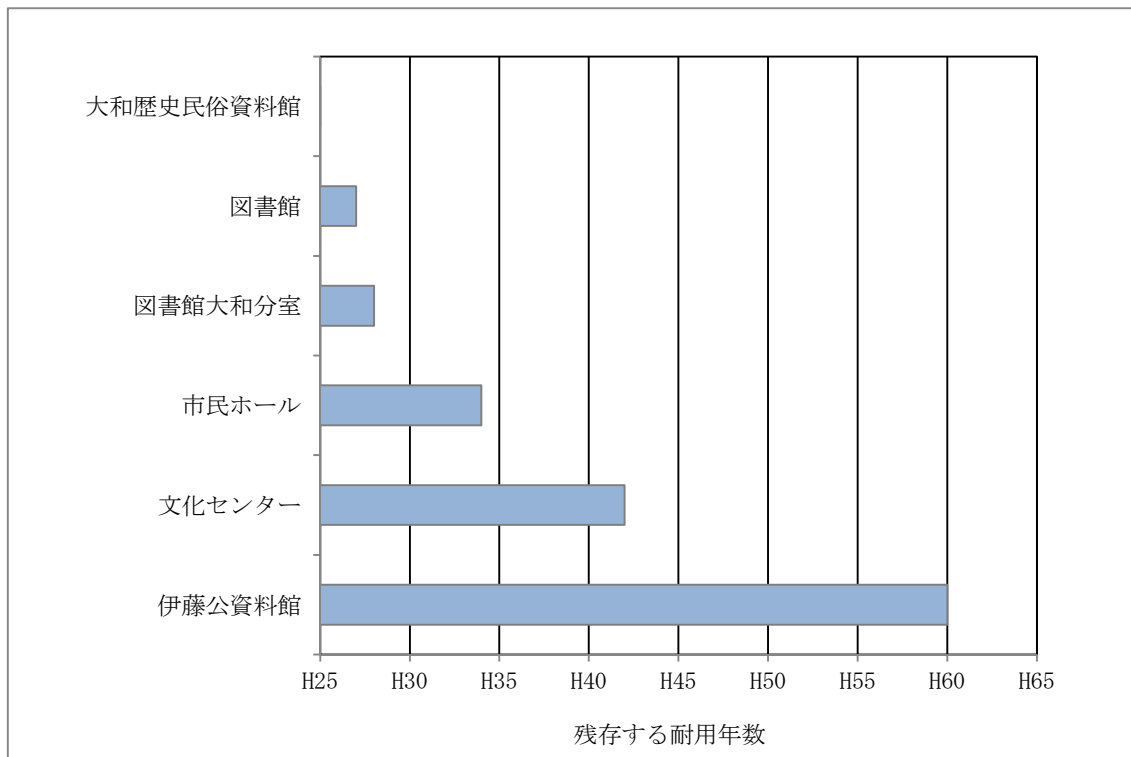
伊藤公資料館は、初代内閣総理大臣・伊藤博文公の遺品等を展示し、業績を紹介するとともに、幕末から明治期の日本の動きを学習する場として平成9年に開館しました。近年は企画展や市内児童・生徒の学習の場としても利用するなど、施設の効果的な運営に努めています。

大和歴史民俗資料館は、旧大和町合併40周年記念事業として、昭和50年に「大和町史」編纂作業に伴う歴史調査のために収集した民俗資料を展示するために開館し、現在は、年1～2回程度、周辺小学校の郷土学習に利用されています。

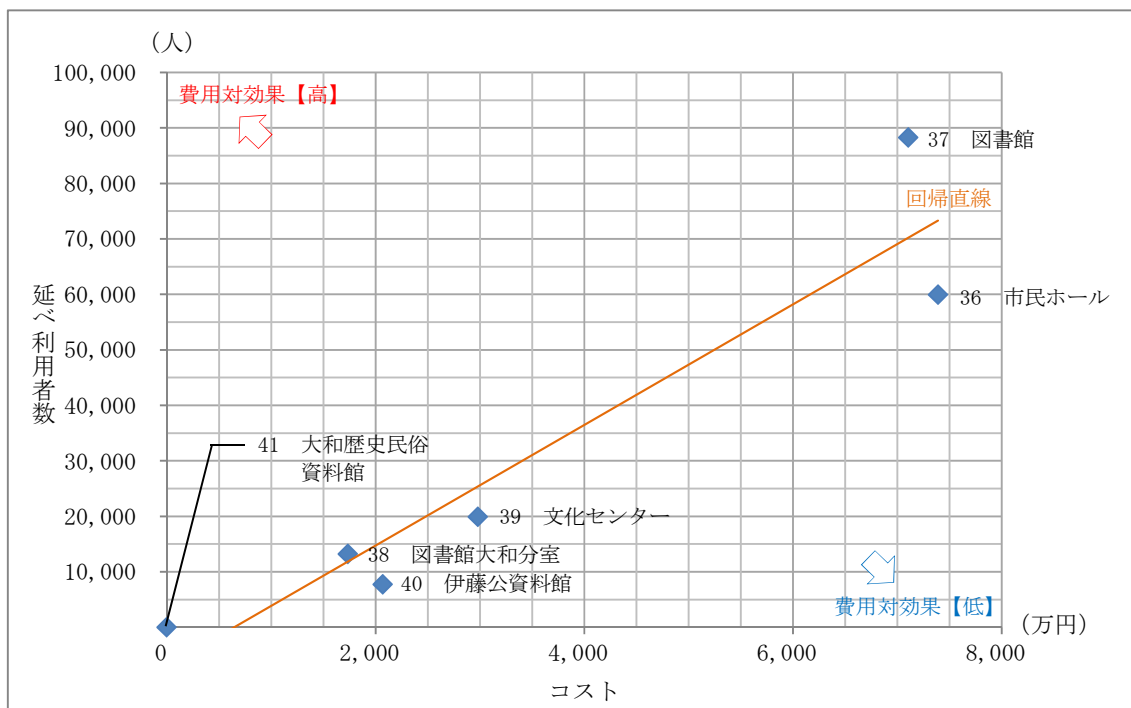
【図表21-6：用途分類別施設データ（文化施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
36	全域	市民ホール	4,260.39	RC造	S47.3	73,902,807	59,920
37	全域	図書館	1,308.34	S造	S51.5	71,077,979	88,255
38	地域	図書館大和分室	257.00	S造	S62.11	17,342,609	13,198
39	全域	文化センター	1,888.42	RC造	S55.3	29,798,846	19,919
40	全域	伊藤公資料館	534.36	RC造	H9.9	20,701,459	7,731
41	全域	大和歴史民俗資料館	65.00	木造	S50.6	0	0
計			8,313.51			212,823,700	189,023
市民一人あたり			0.16			3,976	

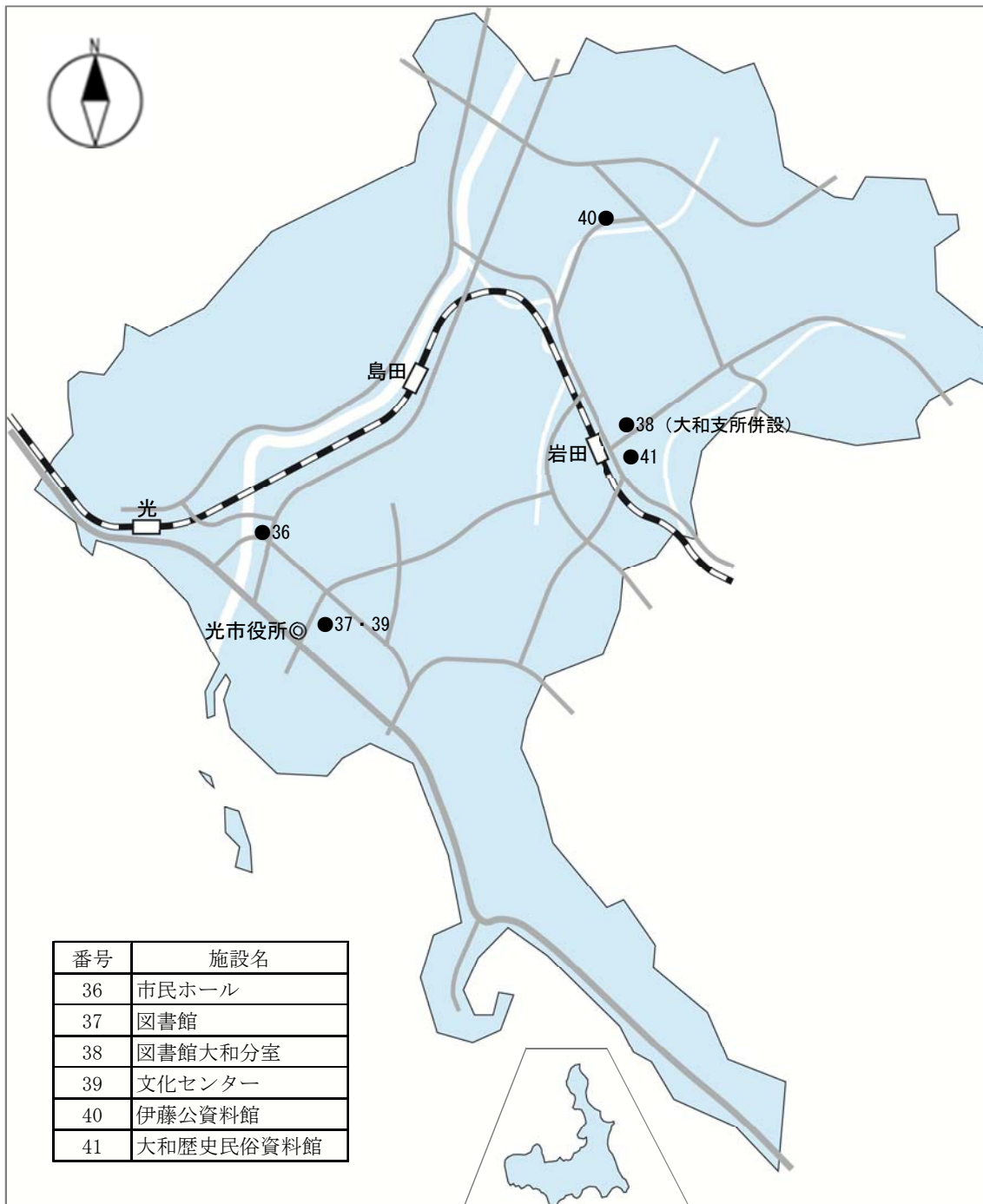
【図表 2 2 - 6 : 残存耐用年数 (文化施設)】



【図表 2 3 - 4 : 利用者数から見る費用対効果 (文化施設)】



【図表 2 4 - 3 : 施設分布図 (文化施設)】



36 光市民ホール



39 文化センター



40 伊藤公資料館



(4) スポーツ・レクリエーション施設

総合体育館やスポーツ公園など計8施設（14棟）が対象となり、総延床面積は15,192.70㎡（全体の7%）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約2億1,900万円で、市民一人あたり約4,100円を負担している計算です。

ア スポーツ施設

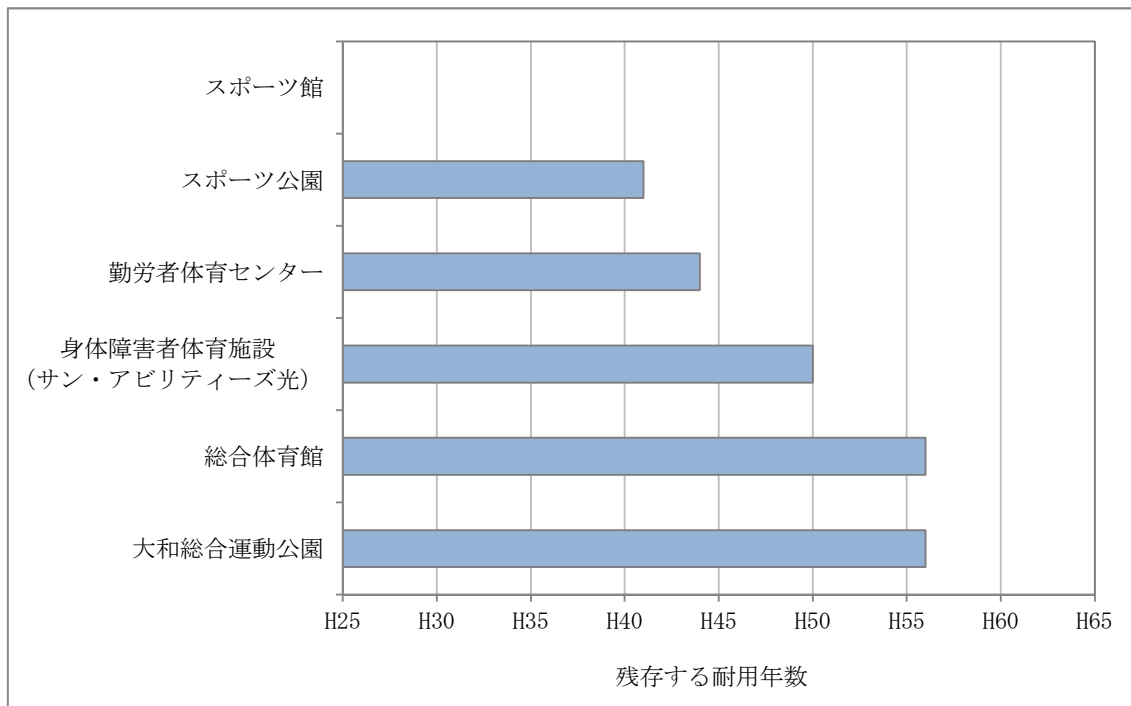
スポーツ施設は、市民の健康と福祉の増進などを目的として、6施設が設置され、昭和53年に整備されたスポーツ公園と平成5年に開館した総合体育館、大和総合運動公園を中心に、各種大会の開催から体力づくりのサークル活動まで、市民をはじめとして幅広く利用されています。

また、体育課の事務所を兼ねているスポーツ館以外の5施設については、平成18年から指定管理者による管理とし、効率的かつ効果的な施設の管理運営に努めています。

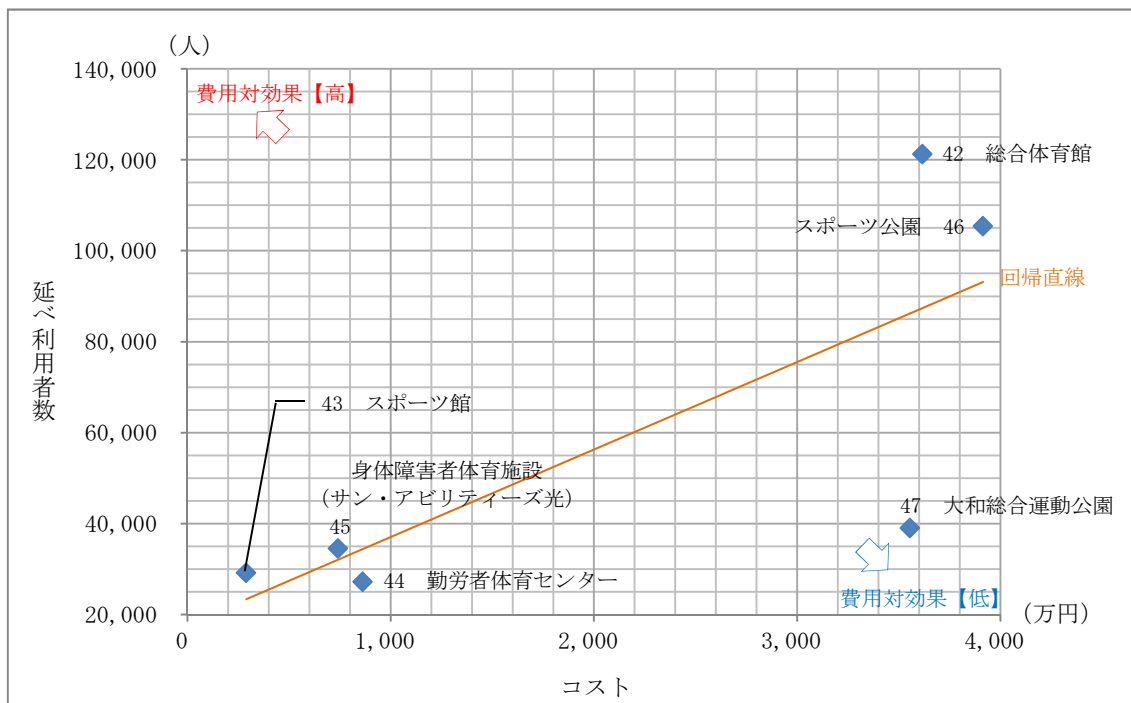
【図表21-7：用途分類別施設データ（スポーツ施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
42	全域	総合体育館	6,393.39	SRC造	H5.10	36,157,170	121,258
43	全域	スポーツ館	1,199.53	S造	S51.12	2,884,384	29,189
44	全域	勤労者体育センター	1,187.59	SRC造	S56.6	8,623,384	27,204
45	全域	身体障害者体育施設（サン・アビリティーズ光）	1,356.30	SRC造	S62.11	7,408,373	34,524
46	全域	スポーツ公園	579.81	RC造	S53.4	39,140,929	105,400
47	全域	大和総合運動公園	3,344.33	RC造	H5.10	35,555,457	39,036
計			14,060.95			129,769,697	356,611
市民一人あたり			0.26			2,424	

【図表 2 2 - 7 : 残存耐用年数 (スポーツ施設)】



【図表 2 3 - 5 : 利用者数から見る費用対効果 (スポーツ施設)】



イ レクリエーション施設

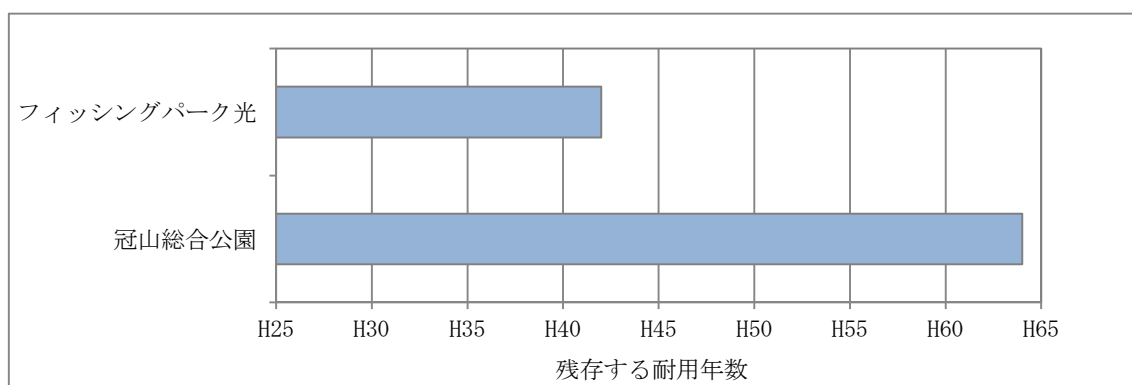
昭和55年に開園したフィッシングパーク光は、瀬戸内海国立公園象鼻ヶ岬の外海に面する天然の好漁場に加え、魚礁の設置や稚魚の放流等により豊富な魚種魚数を誇り、開園以来多くの釣り人に愛好されています。

冠山総合公園は「梅を中心に四季を通じて花木が楽しめ憩える公園」をコンセプトに平成14年に開園し、公園だけでなく、オートキャンプ場、レストラン棟などを整備した総合公園として、市民はもとより県内外から、年間28万人を超える方が来園されています。なお、フィッシングパーク光については平成18年度から、冠山総合公園については平成24年度から指定管理者による管理とし、効率的かつ効果的な施設の管理運営に努めています。

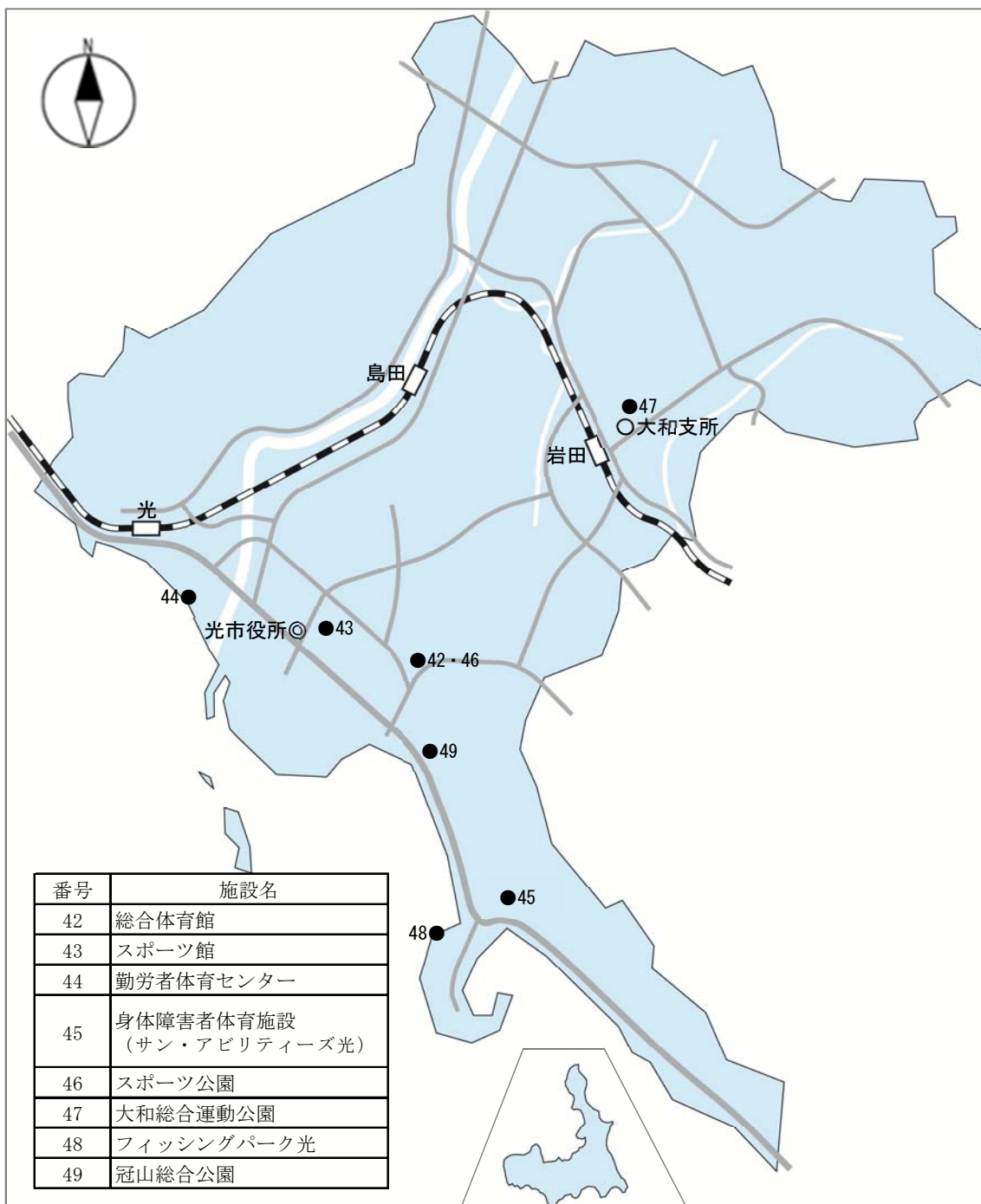
【図表21-8：用途分類別施設データ（レクリエーション施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
48	全域	フィッシングパーク光				20,158,764	16,920
		□管理棟	65.63	R C造	S55.3		
		□栈橋	—	S造	S55.3		
49	全域	冠山総合公園				68,667,520	288,411
		□管理棟	73.50	R C造	H13.6		
		□研修棟	129.00	R C造	H13.6		
		□副管理棟	201.60	SRC造	H13.6		
		□休憩棟	135.00	R C造	H14.1		
		□レストラン棟	229.48	S造	H14.1		
		□オートキャンプ場管理棟	297.54	R C造	H14.1		
計			1,131.75			88,826,284	305,331
市民一人あたり			0.02			1,660	

【図表22-8：残存耐用年数（レクリエーション施設）】



【図表24-4：施設分布図（スポーツ・レクリエーション施設）】



42 総合体育館



47 大和総合運動公園



49 冠山総合公園

(5) 保育・子育て支援施設

市立保育所やサンホームなど計9施設（11棟）が対象となり、総延床面積は3,305.12㎡（全体の2%）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約3億円で、市民一人あたり約5,600円を負担している計算です。

ア 保育所

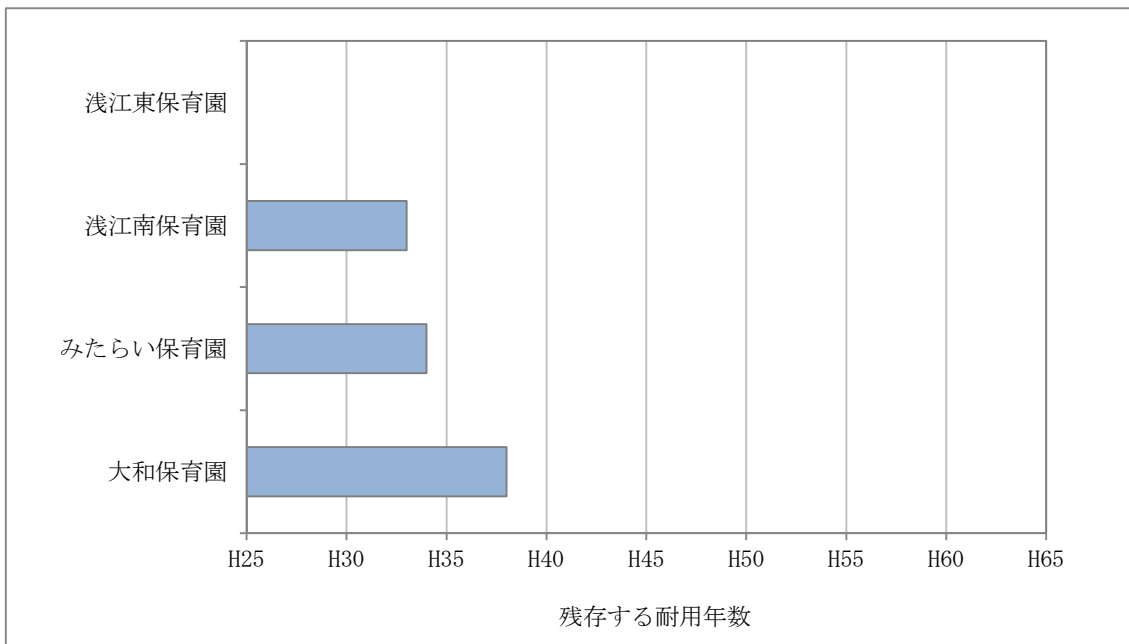
保育所は、児童福祉法の規定に基づき保育に欠ける乳児及び幼児を保育し、心身の健全な発達を図ることを目的としたもので、市立保育所として4園を設置し、現在の園舎は全て昭和40年代から50年代前半に建築されています。なお、市内には民間の私立保育所が8園あります。

また、耐震診断（2次）の結果、みたらい保育園を除く3園については、現行の耐震基準を満たしていないため、「光市公立保育所施設耐震化推進計画」に基づき、平成30年度までに耐震改修工事を行う予定です。

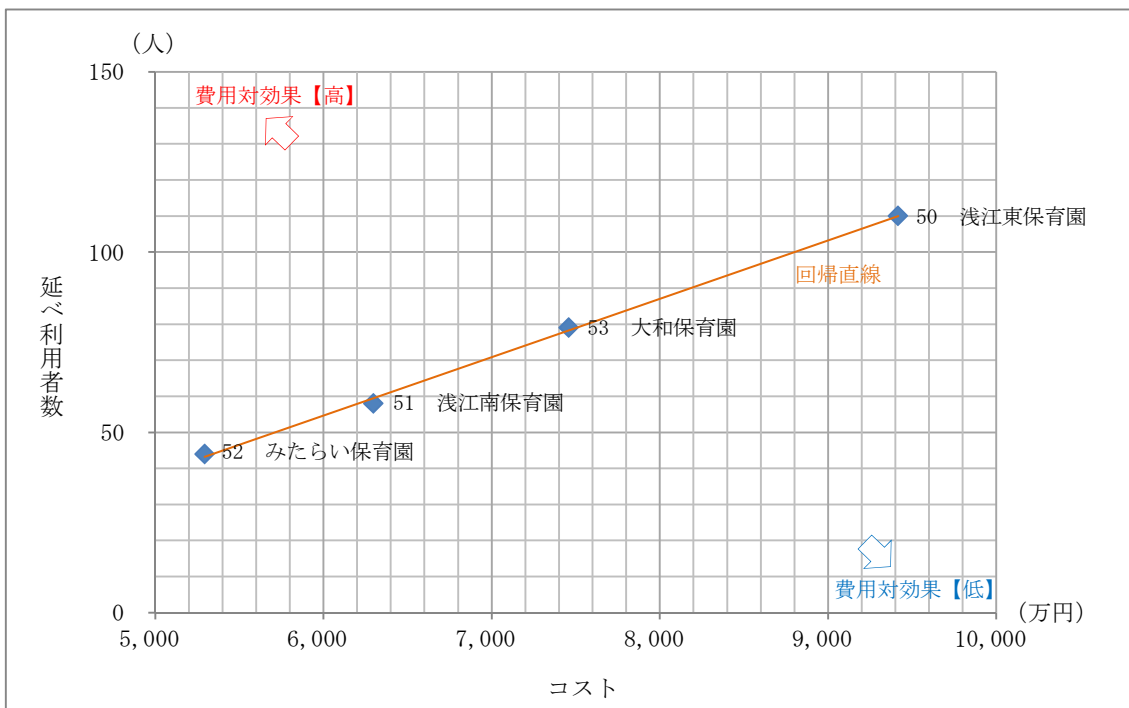
【図表21-9：用途分類別施設データ（保育所）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	園児数
50	地域	浅江東保育園				94,164,659	110
		□園舎1	543.94	S造	S43.3		
		□園舎2	204.40	S造	S50.3		
51	地域	浅江南保育園	590.22	RC造	S45.3	62,966,027	58
52	地域	みたらい保育園	576.70	RC造	S47.3	52,944,144	44
53	地域	大和保育園	721.60	RC造	S51.3	74,589,073	79
計			2,636.86			284,663,903	291
市民一人あたり			0.05			5,318	

【図表 2 2 - 9 : 残存耐用年数 (保育所)】



【図表 2 3 - 6 : 利用者数から見る費用対効果 (保育所)】



イ 留守家庭児童教室等

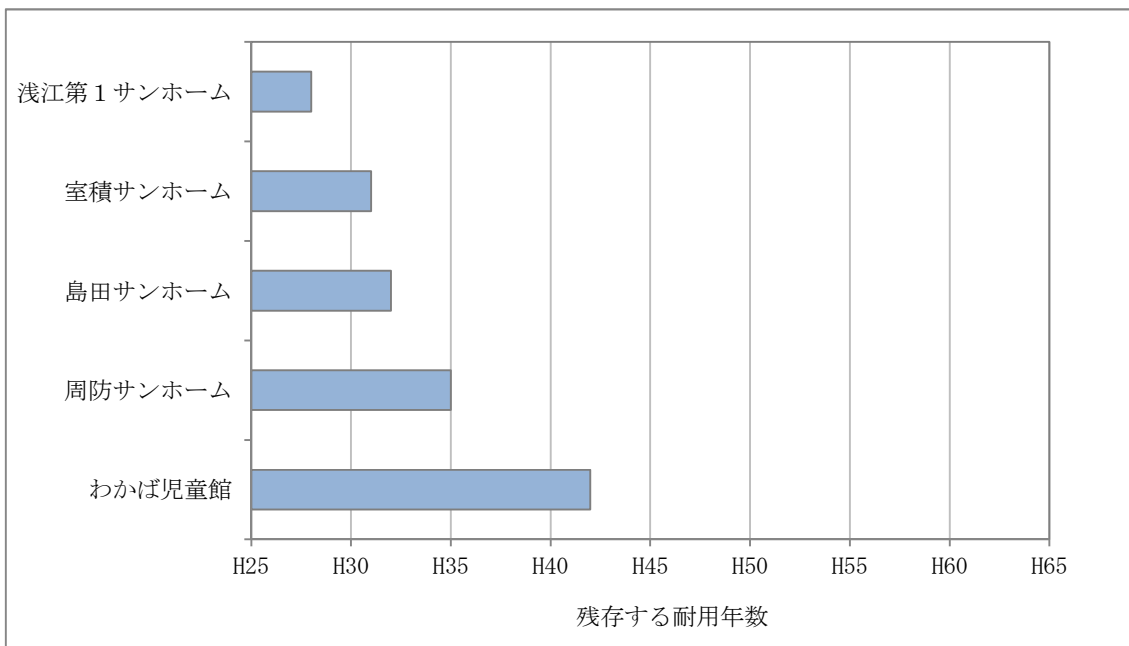
サンホームは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的とする留守家庭児童教室として、市内9小学校区に設置していますが、本白書では、小学校校舎とは別に建物を建設した室積サンホームなどの4施設を対象にしています。なお、平成24年7月より平日の閉所時間を午後6時から午後7時に延長するなど、子育て支援の充実に努めています。

浅江地区のわかば児童館は、昭和55年に児童福祉法の規定に基づき、児童に健全な遊びを与えて健康の増進を図り、児童福祉の向上に資するために設置したもので、児童の健全な遊びの場として開放し、遊びの指導などを行っています。また、近隣施設である浅江南保育園やふれあいセンターとの連携を図り、互いの行事へ参加・協力するなど効果的な運営に努めています。

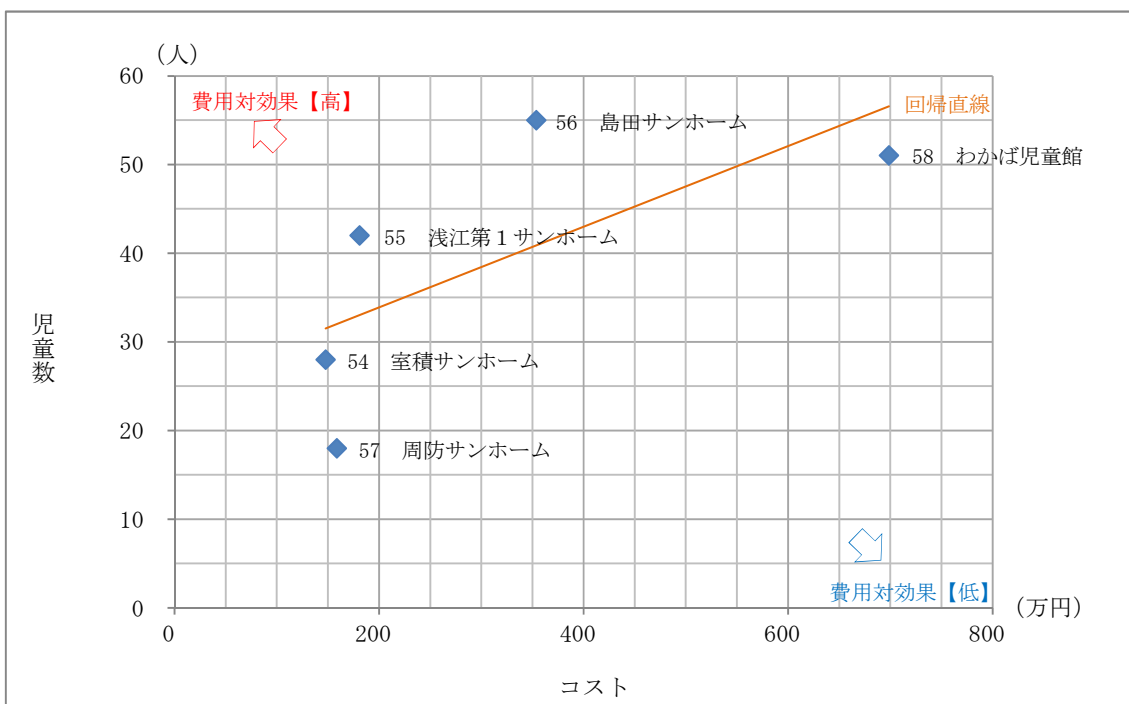
【図表21-10：用途分類別施設データ（留守家庭児童教室等）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	児童数
54	地域	室積サンホーム	45.20	木造	H7.3	1,478,446	28
55	地域	浅江第1サンホーム	51.70	木造	H3.12	1,812,309	42
56	地域	島田サンホーム				3,540,562	55
		□第1サンホーム	43.30	木造	H8.1		
		□第2サンホーム	67.50	木造	H22.3		
57	地域	周防サンホーム	36.90	木造	H10.3	1,590,345	18
58	地域	わかば児童館	423.66	R C造	S55.3	6,986,680	51
計			668.26			15,408,342	194
市民一人あたり			0.01			288	

【図表22-10：残存耐用年数（留守家庭児童教室等）】

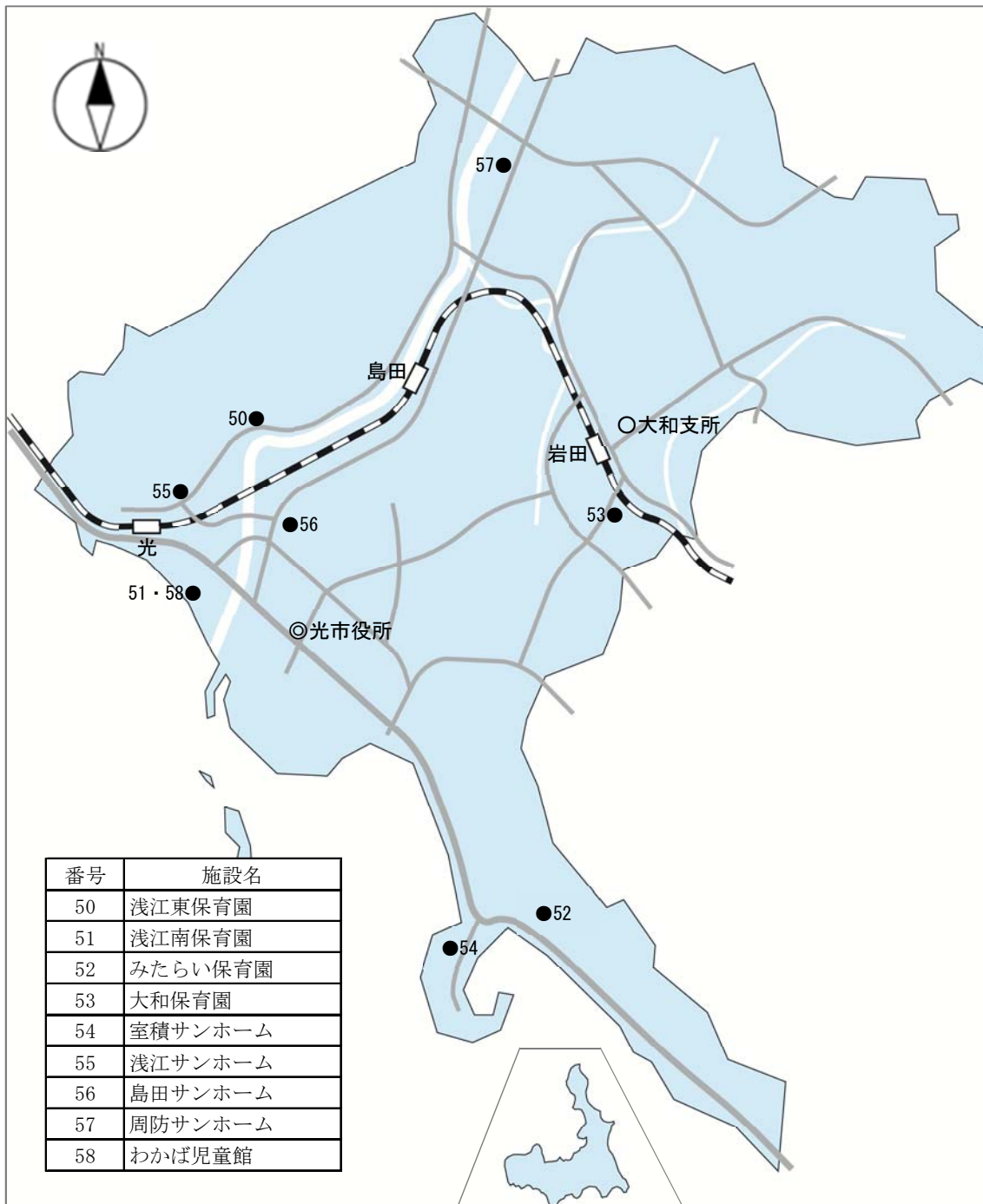


【図表23-7：利用者数から見る費用対効果（留守家庭児童教室等）】





【図表24-5：施設分布図（保育・子育て支援施設）】



53 大和保育園



56 島田サンホーム



58 わかば児童館

(6) 福祉施設

三島温泉健康交流施設（ゆーぱーく光）や憩いの家など計25施設（26棟）が対象となり、総延床面積は6,185.09㎡（全体の3%）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コスト（三島温泉健康交流施設の建設コストは除く。）は約1億1,500万円で、市民一人あたり約2,100円を負担している計算です。

ア 憩いの家

牛島憩いの家デイサービスセンターは、離島である牛島の在宅要援護高齢者等に対し、通所の方法で介護サービスを提供するとともに、高齢者に対する健康づくりや生きがい対策を推進するため、平成6年に設置されています。

東部憩いの家は平成13年に、西部憩いの家は平成6年に、高齢者の休養及び交流の場を提供することで高齢者の福祉の増進を図るために営業が開始されたもので、主に60歳以上の方が利用できる入浴施設を有しています。なお、東部憩いの家については、昭和43年に建築された旧福祉センターを利用しています。

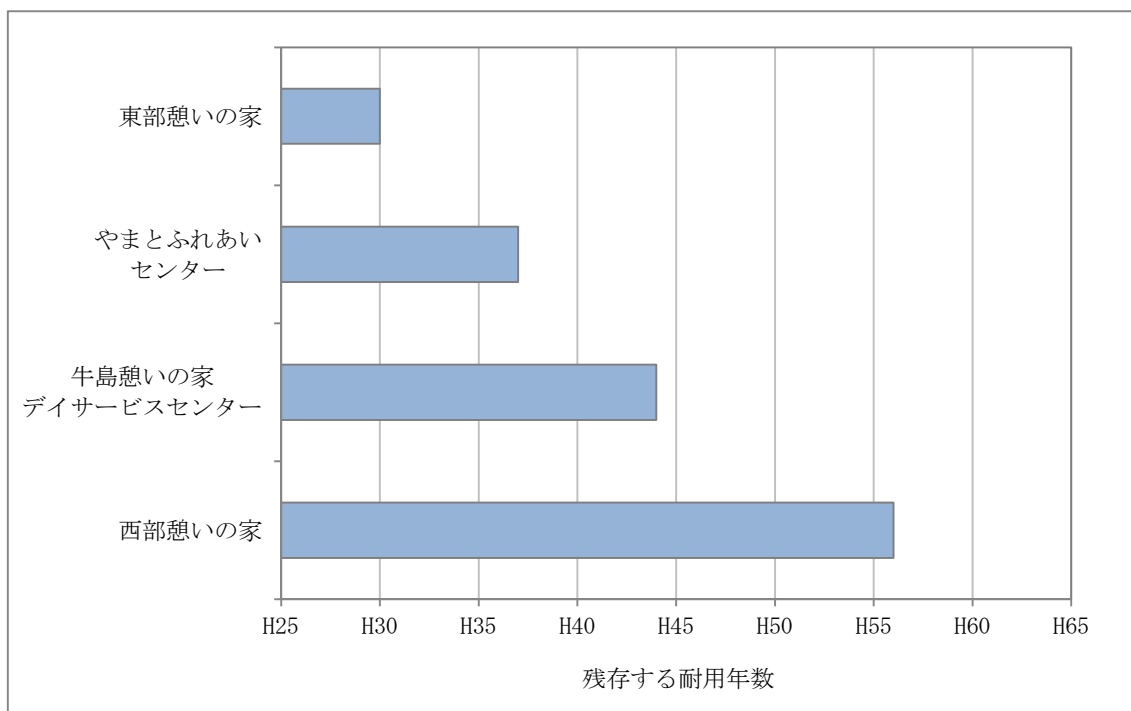
やまとふれあいセンターは、高齢者生きがい活動支援通所事業、高齢者の介護予防に関する事業を行う施設として平成12年に設置されています。

いずれの施設も、平成18年から指定管理者による管理とし、効率的かつ効果的な施設の管理運営に努めています。

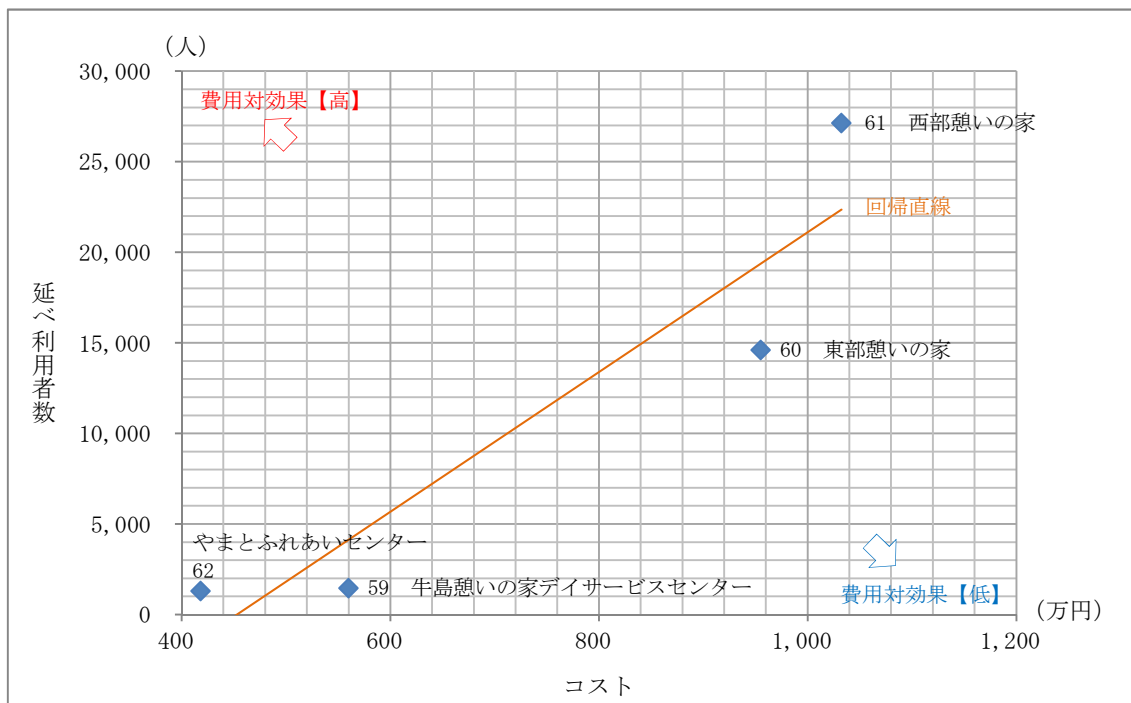
【図表21-11：用途分類別施設データ（憩いの家）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
59	地域	牛島憩いの家デイサービスセンター	166.18	S造	H6.1	5,599,365	1,451
60	地域	東部憩いの家	961.15	RC造	S43.3	9,552,550	14,599
61	地域	西部憩いの家	542.15	SRC造	H6.3	10,325,652	27,132
62	地域	やまとふれあいセンター	108.07	木造	H12.8	4,183,449	1,296
計			1,777.55			29,661,016	44,478
市民一人あたり			0.03			554	

【図表22-11：残存耐用年数（憩いの家）】



【図表23-8：利用者数から見る費用対効果（憩いの家）】



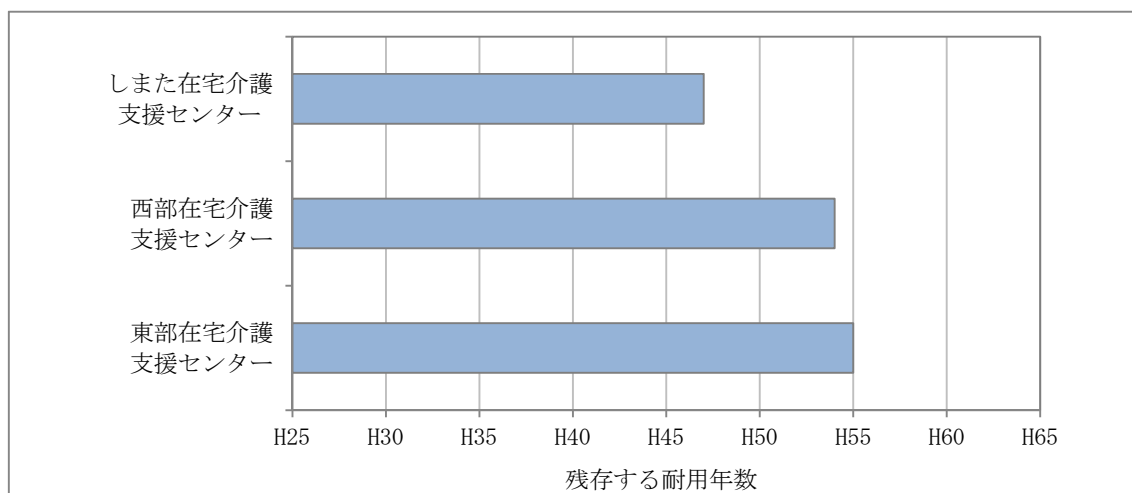
イ 在宅介護支援センター

在宅介護支援センター3施設は、要援護高齢者等の福祉の向上を図ることを目的として、平成4年から平成9年の間に設置されています。総合福祉センター（あいぱーく光）内の地域包括支援センターと協力体制をとりながら、地域住民の身近な窓口として、介護や介護予防等の様々な相談に当たっています。

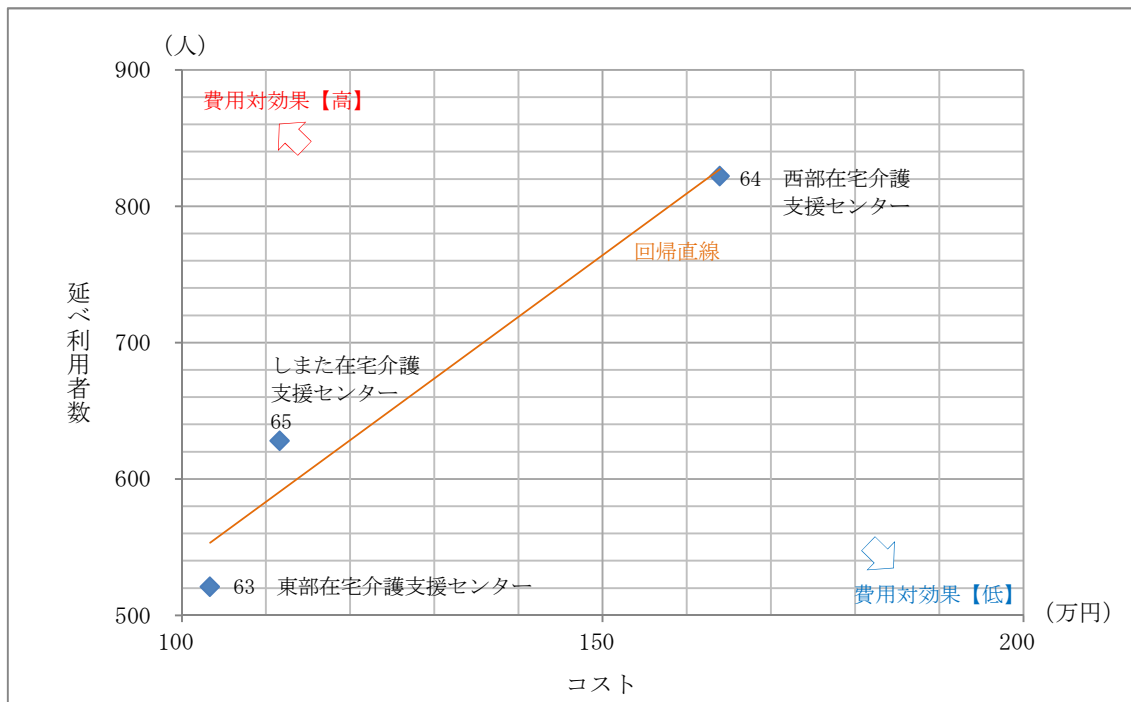
【図表21-12：用途分類別施設データ（在宅介護支援センター）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
63	地域	東部在宅介護支援センター	85.10	RC造	H5.3	1,033,565	521
64	地域	西部在宅介護支援センター	85.00	RC造	H4.1	1,639,441	822
65	地域	しまた在宅介護支援センター	115.00	S造	H9.3	1,116,232	628
計			285.10			3,789,238	1,971
市民一人あたり			0.01未満			71	

【図表22-12：残存耐用年数（在宅介護支援センター）】



【図表23-9：利用者数から見る費用対効果（在宅介護支援センター）】



ウ 健康交流施設

三島温泉健康交流施設（ゆーぱーく光）は、市保有の三島温泉の泉源を活用して、市民の福祉の向上と健康増進を図ることを目的に設置され、入浴のほか、健康教室、高齢者生きがい活動支援通所事業などを提供しています。

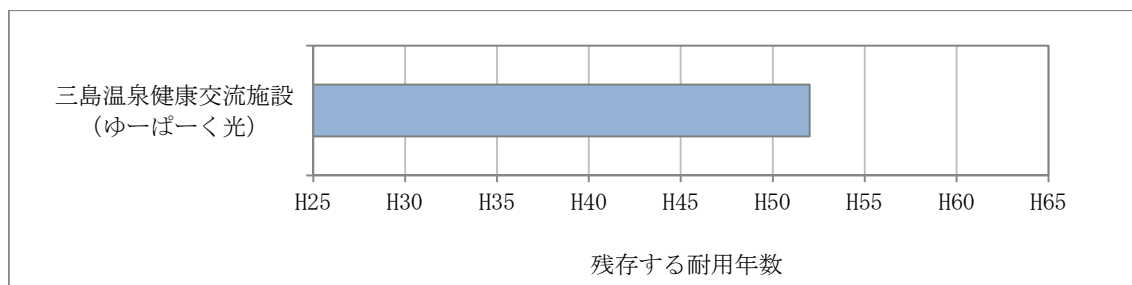
なお、平成24年の開館時から指定管理者による管理とし、効率的かつ効果的な施設の管理運営に努め、平成25年11月には来館者が10万人に達しました。

【図表21-13：用途分類別施設データ（健康交流施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
66	全域	三島温泉健康交流施設（ゆーぱーく光）				48,785,102	46,862
		□浴場・風呂場	1042.30	S造	H24.9		
		□ボイラー室	81.00	RC造	H24.9		
計			1,123.30			48,785,102	46,862
市民一人あたり			0.02			911	

※建設に係るコスト289,937,100円は除いています。

【図表22-13：残存耐用年数（健康交流施設）】



エ 老人憩いの家

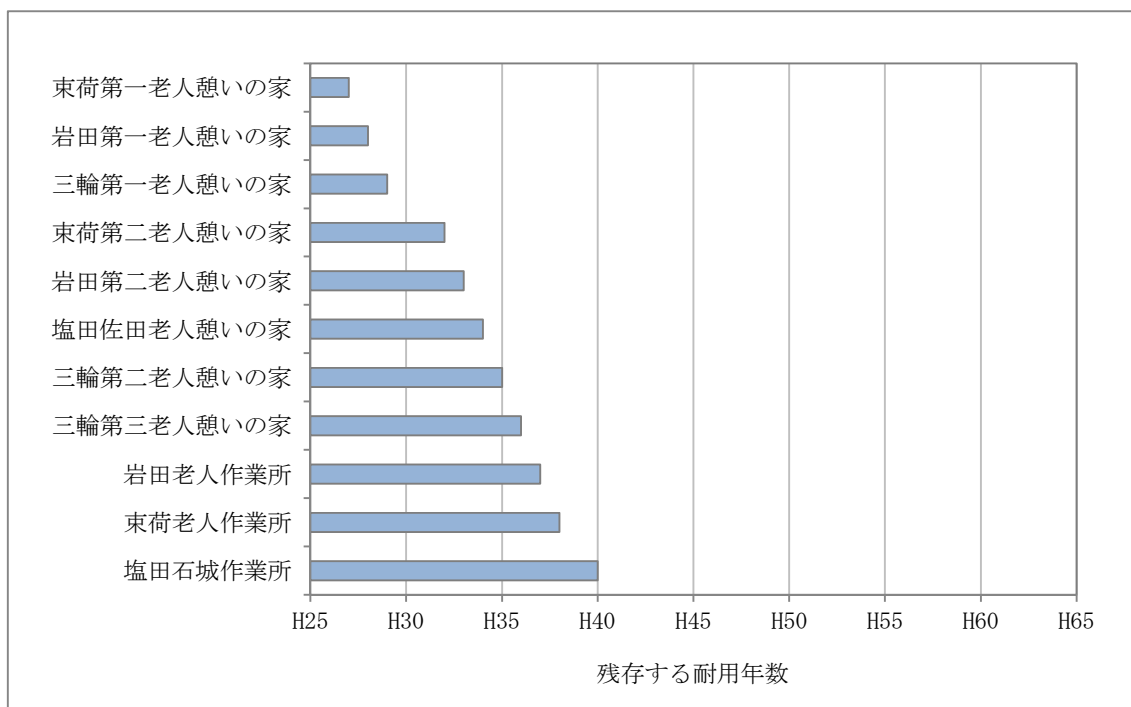
大和地区の老人憩いの家11施設に関しては、憩いの家、作業所と名称は異なりますが、いずれの施設も、高齢者の交流及び活動ができる場として昭和50年代から60年代に設置されています。

利用状況としては、老人憩いの家としての利用のほか、地域の集会所としても利用されています。

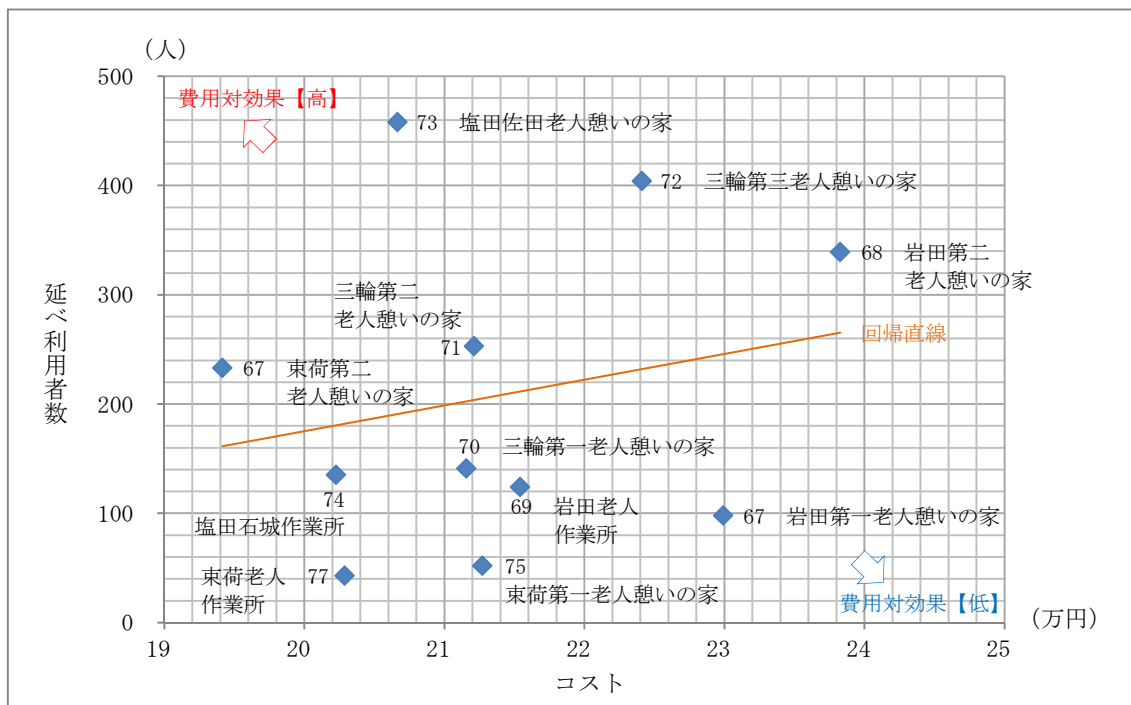
【図表21-14：用途分類別施設データ（老人憩いの家）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
67	地域	岩田第一老人憩いの家	81.10	S造	S52.11	229,917	98
68	地域	岩田第二老人憩いの家	80.96	S造	S58.3	238,271	339
69	地域	岩田老人作業所	82.24	S造	S62.3	215,416	124
70	地域	三輪第一老人憩いの家	81.10	S造	S53.11	211,561	141
71	地域	三輪第二老人憩いの家	80.96	S造	S60.3	212,120	253
72	地域	三輪第三老人憩いの家	84.24	S造	S61.3	224,117	404
73	地域	塩田佐田老人憩いの家	80.96	S造	S58.12	206,666	458
74	地域	塩田石城作業所	84.24	S造	H2.3	202,275	135
75	地域	東荷第一老人憩いの家	77.76	S造	S51.9	212,713	52
76	地域	東荷第二老人憩いの家	77.76	S造	S57.3	210,346	233
77	地域	東荷老人作業所	84.24	S造	S62.12	202,889	43
計			895.56			2,366,291	2,280
市民一人あたり			0.02			44	

【図表 2 2 - 1 4 : 残存耐用年数 (老人憩いの家)】



【図表 2 3 - 1 0 : 利用者数から見る費用対効果 (老人憩いの家)】





オ 障害者施設

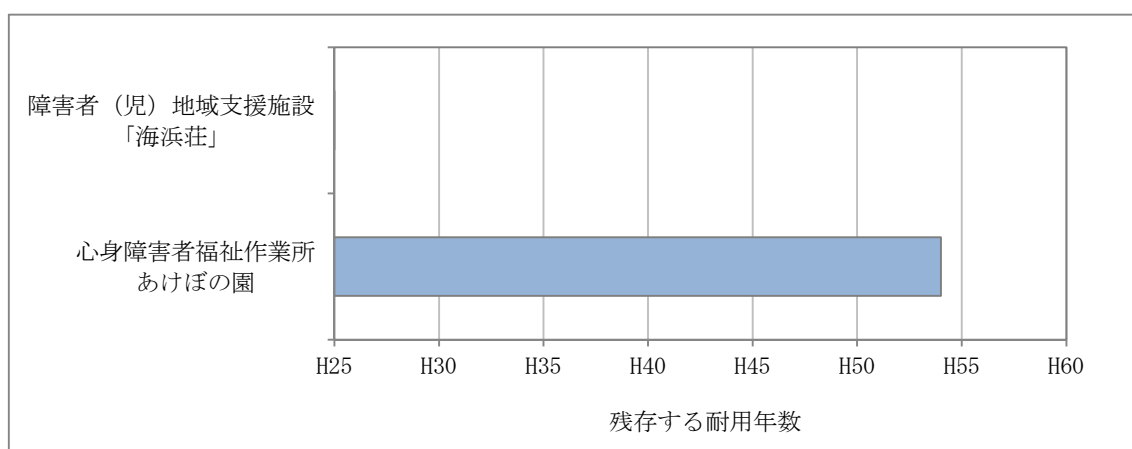
障害者（児）地域支援施設「海浜荘」は、昭和37年に休養施設として設置しましたが、平成13年からは、障害者（児）が自立した日常生活等を営むことができるよう必要な障害福祉サービスを行う施設となっています。

また、心身障害者福祉作業所あけぼの園は、平成4年に心身障害者に授産指導訓練等を行い、障害者の福祉向上を図ることを目的として設置しています。

【図表21-15：用途分類別施設データ（障害者施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
78	全域	障害者（児）地域支援施設「海浜荘」	483.54	RC造	S37.7	13,545,512	8,619
79	全域	心身障害者福祉作業所あけぼの園	144.00	SRC造	H4.3	0	不明
計			627.54			13,545,512	8,619
市民一人あたり			0.01			253	

【図表22-15：残存耐用年数（障害者施設）】



カ ふれあいセンター

ふれあいセンターは、地域住民の生活相談、生きがい活動等を通じて地域福祉の推進を図ることを目的として、2施設が設置されています。

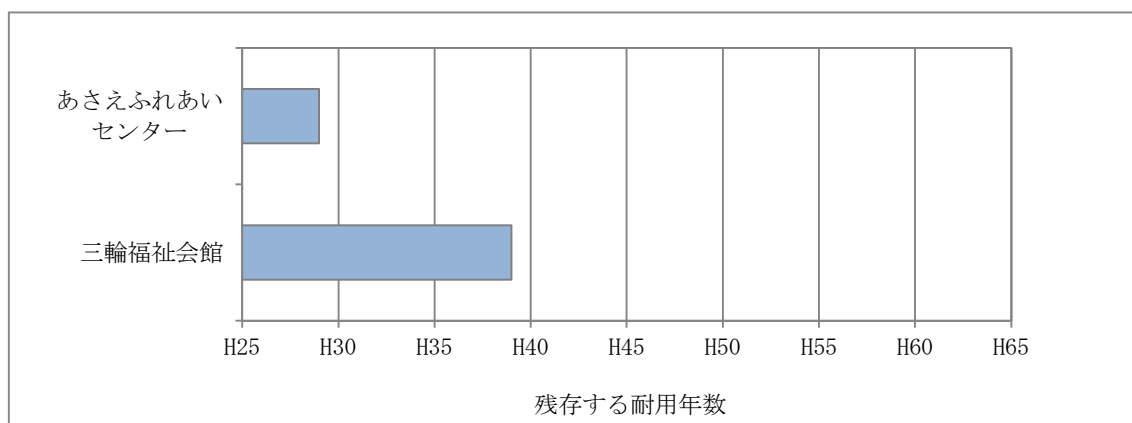
三輪福社会館は、昭和51年に設置され、地域のコミュニティセンターとして機能充実を図りながら運営しています。

あさえふれあいセンターは、昭和42年に隣保館として設置された建物を、住民の幅広い生涯学習や地域活動の利用が図られるよう、平成24年に光隣保館から名称を変更し、浅江公民館の分館的な施設として運営し、地域住民に利用されています。

【図表21-16：用途分類別施設データ（ふれあいセンター）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
80	地域	三輪福社会館	312.81	RC造	S51.10	3,951,677	1,726
81	地域	あさえふれあいセンター	357.73	RC造	S40.4	12,837,294	8,267
計			670.54			16,788,971	9,993
市民一人あたり			0.01			314	

【図表22-16：残存耐用年数（ふれあいセンター）】



キ その他福祉施設

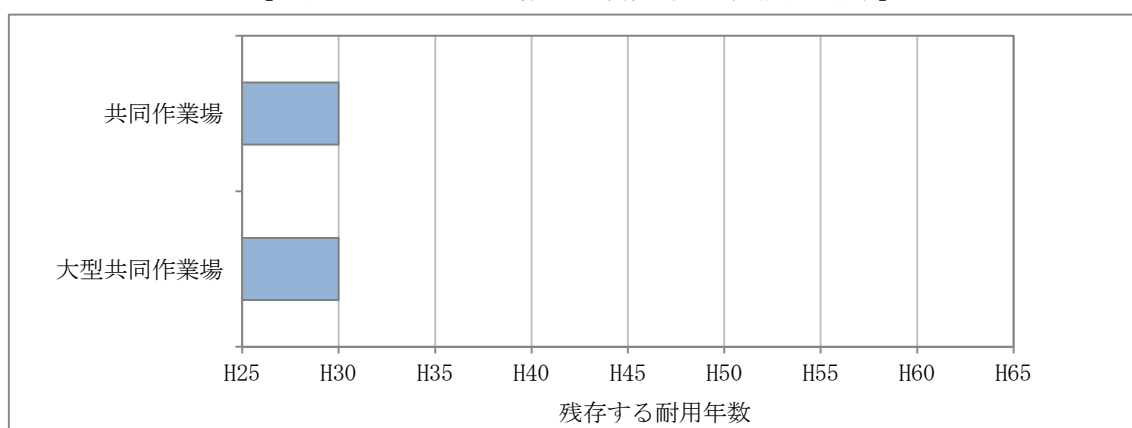
大型共同作業場は、昭和62年に経済対策の一環として、国の地方改善施策整備補助事業による資源リサイクル事業を行うことを目的に設置されています。

共同作業場は、昭和62年に縫製加工場として設置され、地域の雇用確保などの役割を果たしてきました。

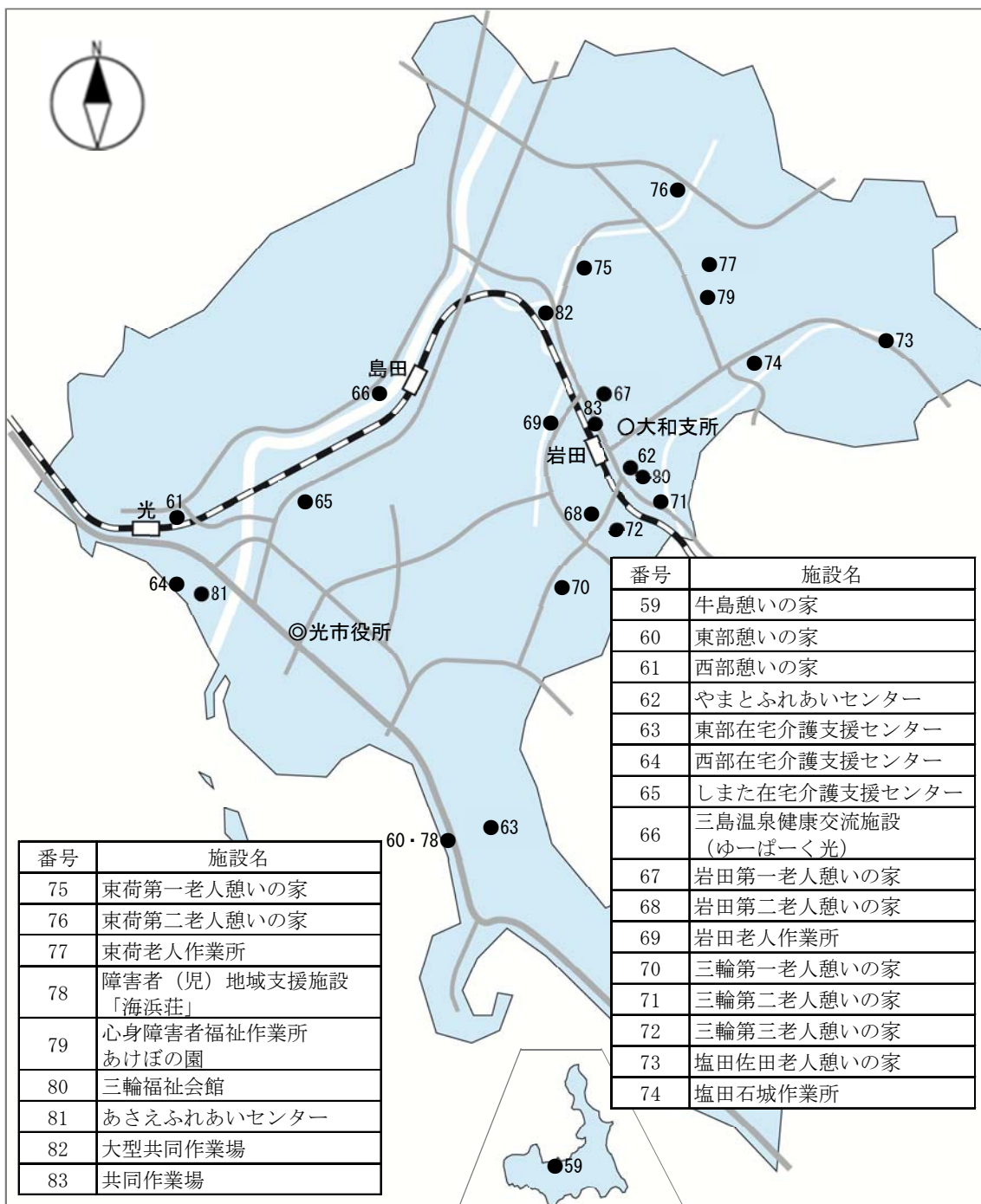
【図表2-1-17：用途分類別施設データ（その他福祉施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
82	地域	大型共同作業場	396.00	S造	S62.3	0	不明
83	地域	共同作業場	409.50	S造	S62.2	19,782	不明
計			805.50			19,782	不明
市民一人あたり			0.02			1	

【図表2-2-17：残存耐用年数（その他福祉施設）】



【図表24-6：施設分布図（福祉施設）】



60 東部憩いの家



66 三島温泉健康交流施設  
(ゆーぱーく光)



80 三輪福祉会館

(7) 保健施設

大和保健センターと牛島診療所の計2施設（2棟）が対象となり、総延床面積は674.00㎡（全体の1%未満）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約500万円で、市民一人あたり約100円を負担している計算です。

大和保健センターは、大和地域の住民の健康管理を目的に昭和58年に設置されたものです。大和病院に隣接し、建物は市所有分と病院所有分（保健指導室・栄養指導室）で構成されていますが、平成16年の旧光市と大和町の合併に伴い、保健センターとしての機能が総合福祉センター（あいぱーく光）に集約されました。現在は、大和総合病院の院内保育に利用されています。

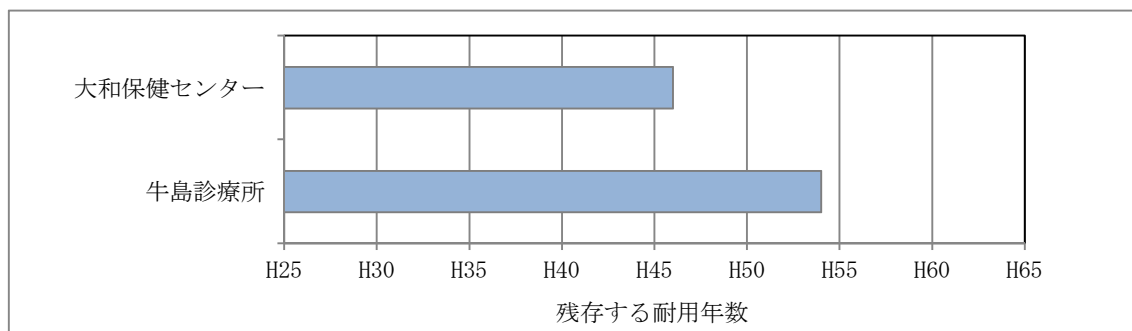
また、牛島診療所は、平成16年に地域内での健康の保持増進に必要な医療を提供することを目的に設置され、へき地医療を確保し、島民の安心・安全を図ることに寄与しています。

【図表21-18：用途分類別施設データ（保健施設）】

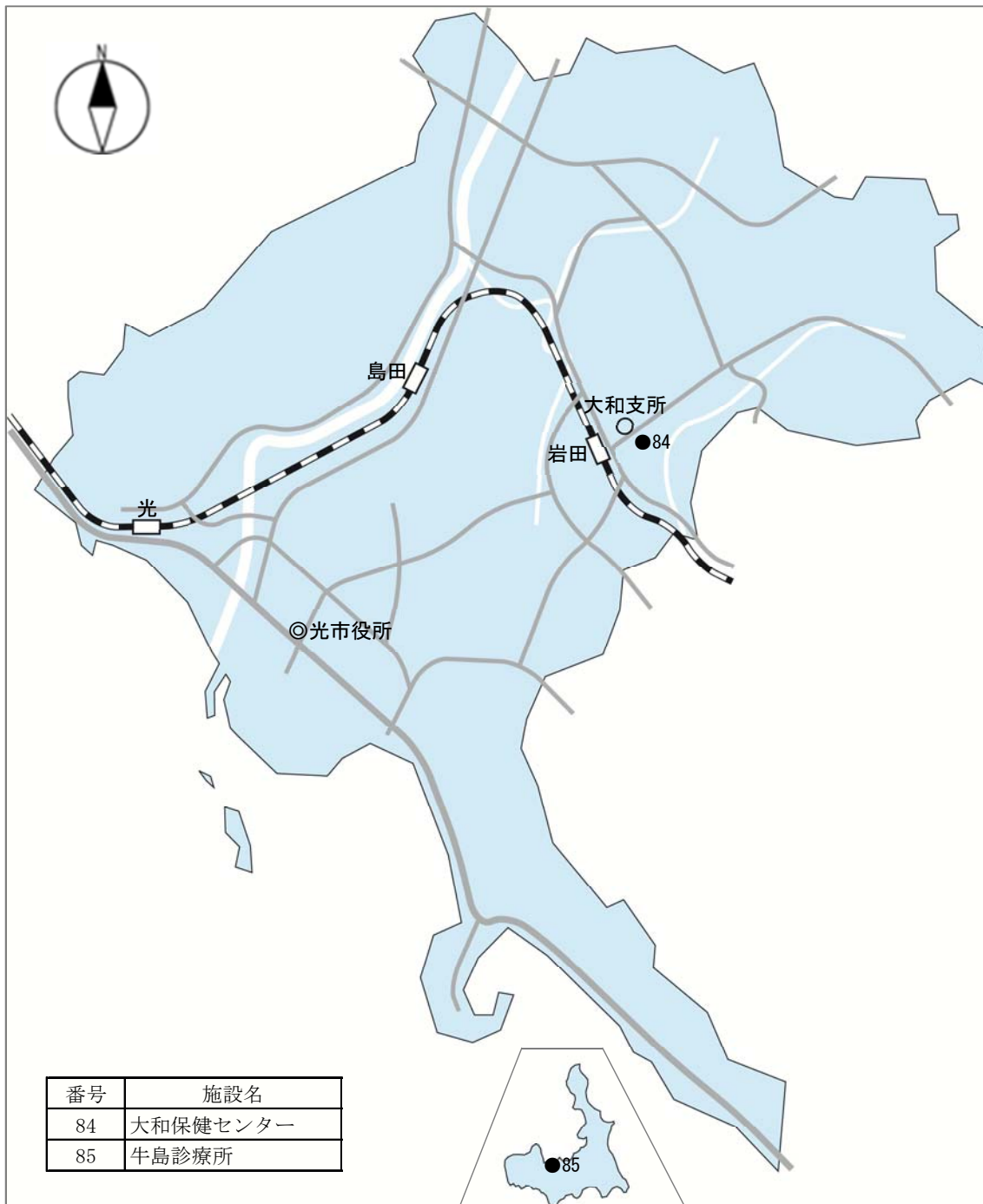
番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
84	地域	大和保健センター	500.00	SRC造	S58.6	2,257,229	4,432
85	地域	牛島診療所	174.00	S造	H16.3	2,733,959	1,142
計			674.00			4,991,188	5,574
市民一人あたり			0.01			93	

※大和保健センターの利用者数は、貸館業務を行っていた利用者数で、貸館業務は平成25年9月以降行っていない。

【図表22-18：残存耐用年数（保健施設）】



【図表24-7：施設分布図（保健施設）】



84 大和保健センター



85 牛島診療所

(8) 小・中学校

市立小・中学校16校(51棟)が対象となり、総延床面積は69,901.00㎡(全体の34%)となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コスト(光市の一般会計分)は約3億2,300万円(耐震化の工事費を含む。)で、市民一人あたり約6,000円を負担している計算です。

ア 小学校

小学校は、学校教育法の規定に基づき、11校が設置されています。平成24年度における全小学校の児童数は2,675人で前年度から58人減少しました。小学校校舎は、建築年が昭和38年と最も古い室積小学校をはじめ、築後30年を超えるものがほとんどです。また、「光市公立学校施設耐震化推進計画」に基づき、耐震化工事を進めており、平成26年度までに全ての校舎で耐震基準が満たされる見込みです。

【図表21-8：用途分類別施設データ(小学校)】

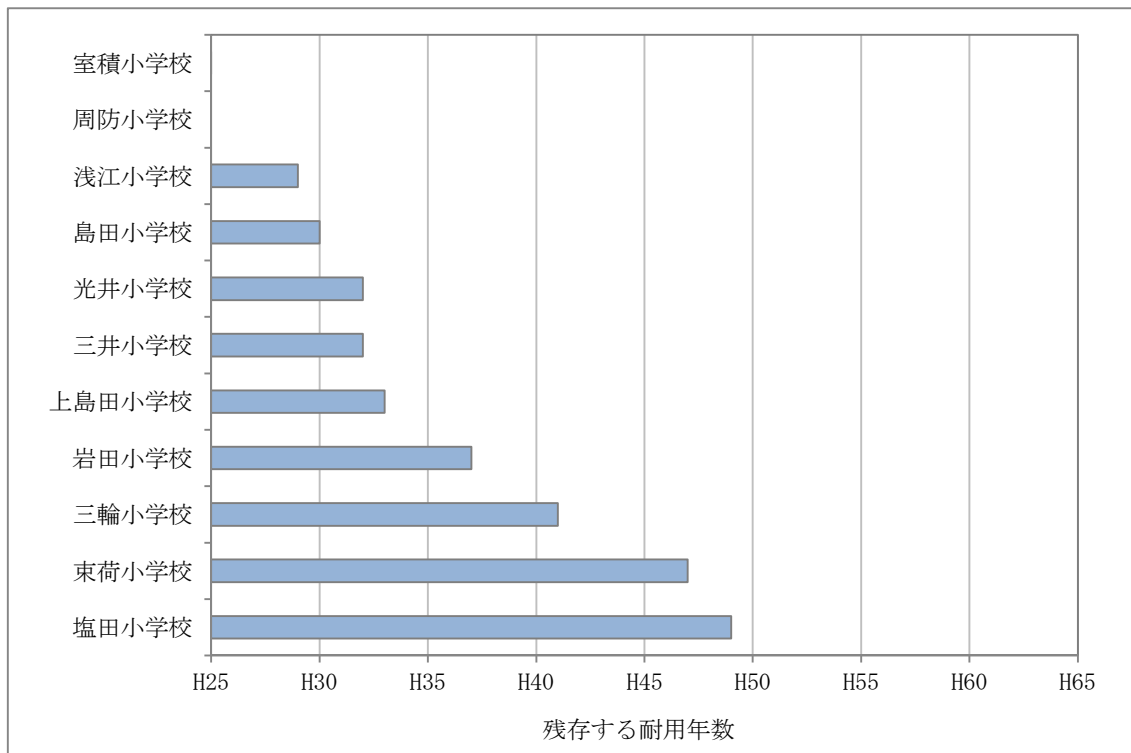
番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	児童数
86	地域	室積小学校				33,577,769	363
		□校舎1	988.00	RC造	S38.1		
		□校舎2	1,449.00	RC造	S39.1		
		□校舎3	1,279.00	RC造	S44.3		
		□体育館	887.00	S造	H7.3		
87	地域	光井小学校				38,535,420	460
		□校舎1	2,158.00	RC造	S47.8		
		□校舎2	1,865.00	RC造	S50.3		
		□体育館	869.00	S造	S52.12		
88	地域	島田小学校				8,399,602	293
		□校舎	2,523.00	RC造	S45.7		
		□体育館	775.00	S造	S46.12		
89	地域	上島田小学校				9,572,058	135
		□校舎	2,106.00	RC造	S48.4		
		□体育館	749.00	S造	S51.12		
90	地域	浅江小学校				33,131,797	722
		□校舎1	2,293.00	RC造	S45.3		
		□校舎2	2,586.00	RC造	S48.7		
		□校舎3	1,689.00	RC造	S54.7		

第3章 光市の公共施設の状況

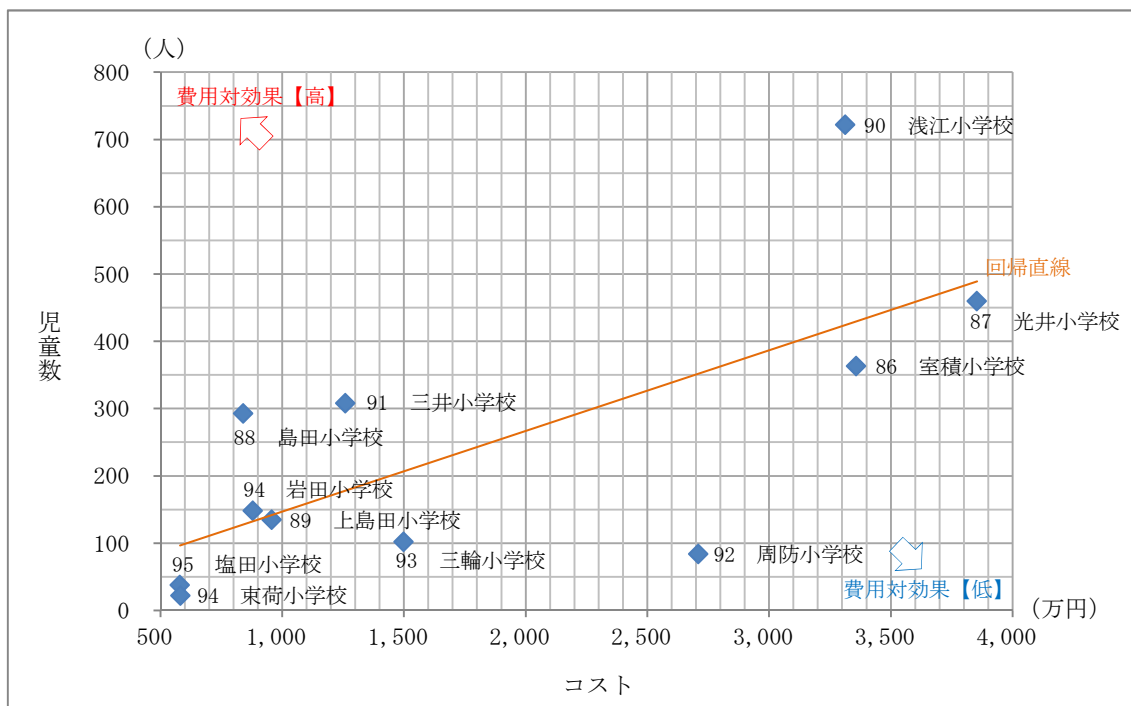
番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	児童数
		□体育館	1,112.00	S造	S44.3		
91	地域	三井小学校 □校舎 □体育館	3,137.00 747.00	R C造 S造	S48.3 S49.3	12,592,229	308
92	地域	周防小学校 □校舎 □体育館	1,501.00 750.00	R C造 S造	S41.3 H5.2	27,101,441	84
93	地域	三輪小学校 □校舎1 □校舎2 □体育館	1,271.00 1,452.00 602.00	R C造 R C造 S造	S57.1 S57.11 S52.2	14,986,358	102
94	地域	岩田小学校 □校舎1 □校舎2 □体育館	1,394.00 1,405.00 602.00	R C造 R C造 S造	S53.3 S53.8 S54.2	8,792,155	148
95	地域	塩田小学校 □校舎 □体育館	1,760.00 670.00	R C造 S造	H1.12 H4.1	5,806,282	38
96	地域	束荷小学校 □校舎 □体育館	1,631.00 602.00	R C造 S造	S62.12 S63.2	5,830,418	22
計			40,852.00			198,325,529	2,675
市民一人あたり			0.76			3,705	



【図表2-2-18：残存耐用年数（小学校）】



【図表2-3-11：利用者数から見る費用対効果（小学校）】



(注) 室積小学校、光井小学校、浅江小学校、周防小学校については、耐震化に係る工事請負費を計上しています。

イ 中学校

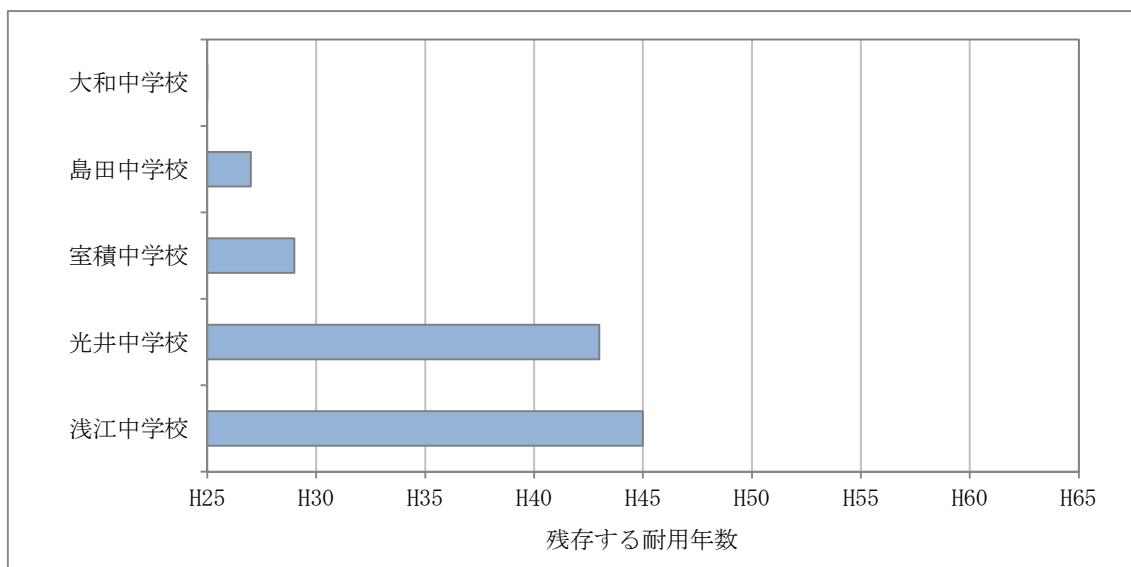
中学校も、市立5校が学校教育法の規定に基づき設置されています。全中学校の平成24年度の生徒数は1,350人で前年度から32人減少しました。中学校校舎は、建築年が昭和37年と最も古い大和中学校をはじめ、ほぼ半数が築後30年を経過しており、小学校と同様、老朽化が進んでいます。また、耐震化についても、小学校と同じく、「光市公立学校施設耐震化推進計画」に基づき、耐震化工事を進めており、平成26年度までに全ての校舎で耐震基準が満たされる見込みです。

【図表21-19：用途分類別施設データ（中学校）】

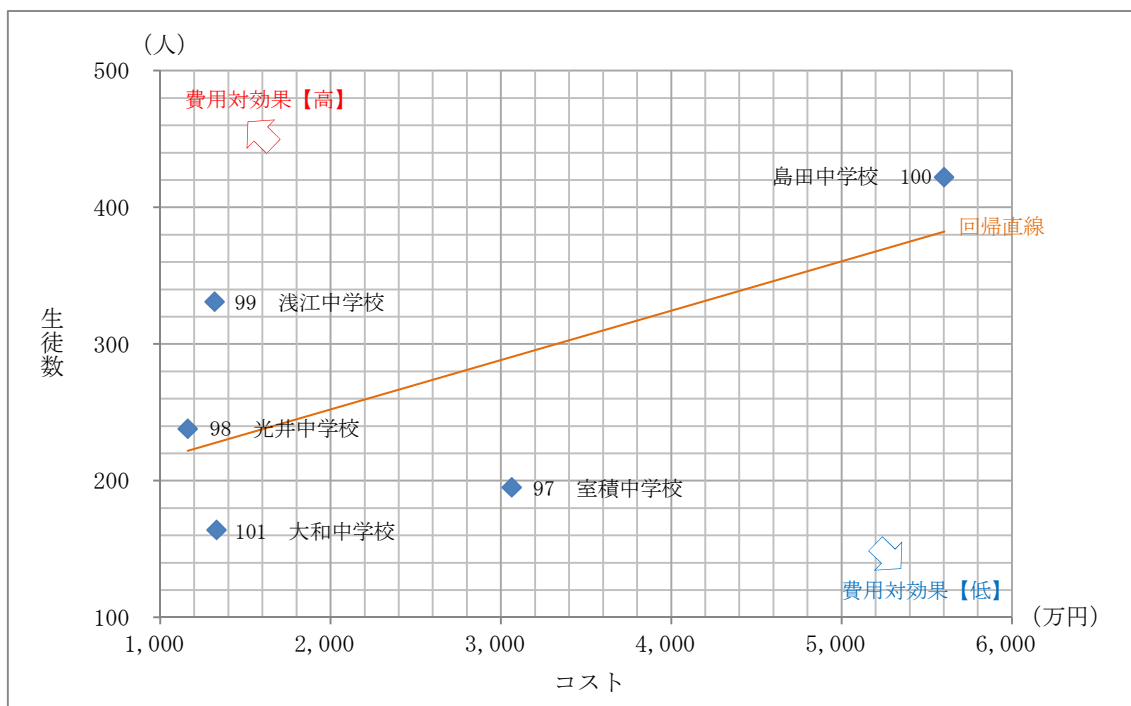
番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	生徒数
97	地域	室積中学校				30,650,108	195
		□校舎1	2,949.00	RC造	S45.3		
		□校舎2	499.00	RC造	S57.2		
		□体育館	856.00	S造	S47.2		
		□武道館	456.00	S造	H2.3		
98	地域	光井中学校				11,625,090	238
		□校舎	3,816.00	RC造	S58.8		
		□体育館	898.00	S造	S58.12		
		□武道館	457.00	S造	H2.3		
99	地域	浅江中学校				13,210,076	331
		□校舎1	4,503.00	RC造	S60.9		
		□校舎2	1,424.00	RC造	S62.3		
		□体育館	1,418.00	RC造	S63.1		
		□武道館	452.00	S造	H1.3		
100	地域	島田中学校				56,035,856	422
		□校舎1	2,849.00	RC造	S43.3		
		□校舎2	250.00	RC造	S43.3		
		□校舎3	1,084.00	RC造	S55.3		
		□校舎4	686.00	RC造	S60.12		
		□体育館	860.00	S造	S44.1		
		□武道館	466.00	S造	H1.2		
101	地域	大和中学校				13,310,596	164
		□校舎1	1,171.00	RC造	S37.2		
		□校舎2	1,849.00	RC造	S56.2		
		□校舎3	1,021.00	RC造	S60.11		

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	生徒数
		□体育館	735.00	S造	S45.12		
		□武道館	350.00	S造	S61.3		
計			29,049.00			124,831,726	1,350
市民一人あたり			0.54			2,332	

【図表2-2-19：残存耐用年数（中学校）】

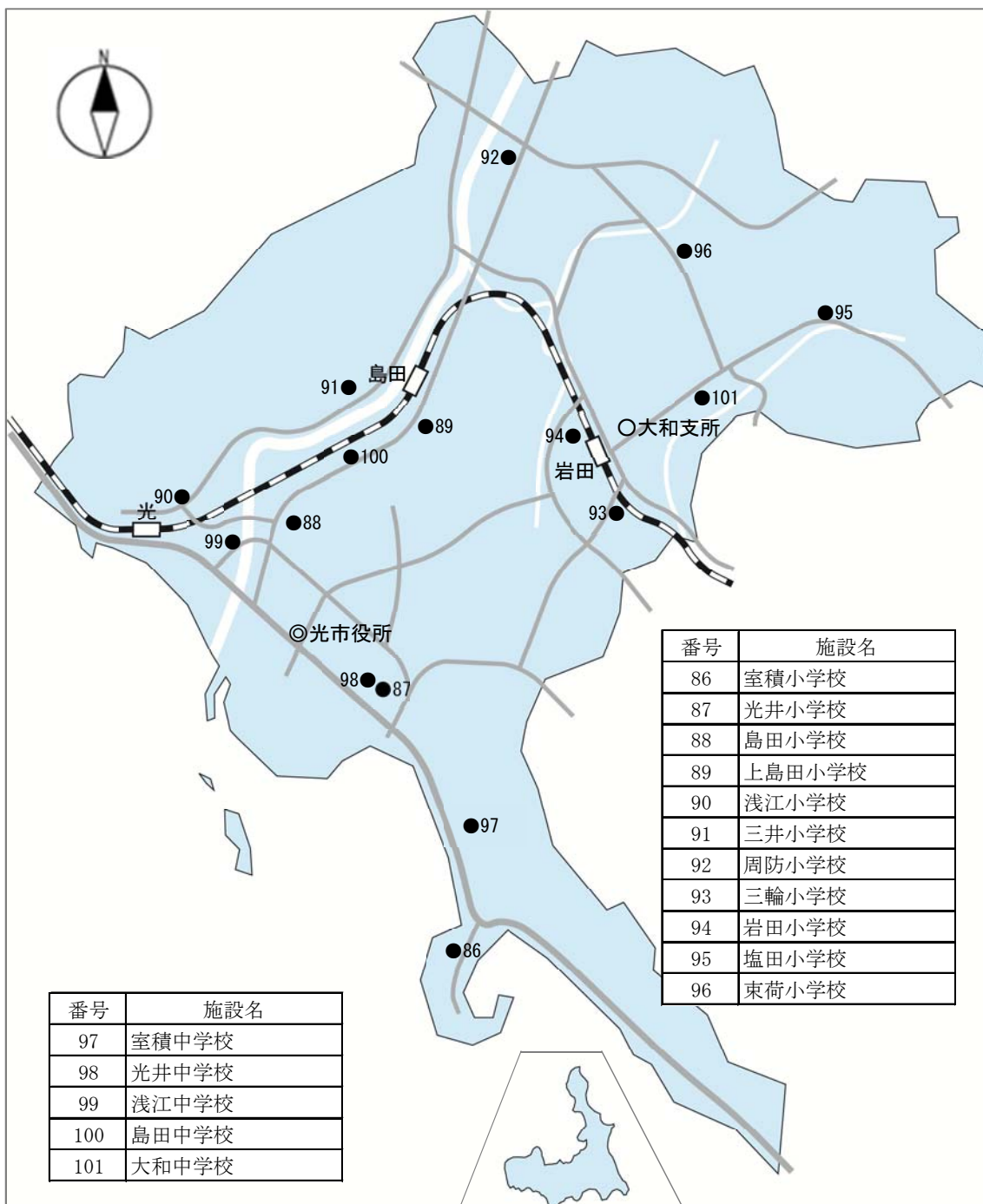


【図表2-3-12：利用者数から見る費用対効果（中学校）】



(注) 室積中学校、島田中学校、大和中学校については、耐震化に係る工事請負費を計上しています。

【図表24-8：施設分布図（小・中学校）】



89 上島田小学校



95 塩田小学校



99 浅江中学校

### (9) 幼稚園

市立幼稚園3園（3棟）が対象となり、総延床面積は936.00㎡（全体の1%未満）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約6,900万円で、市民一人あたり約1,300円を負担している計算です。

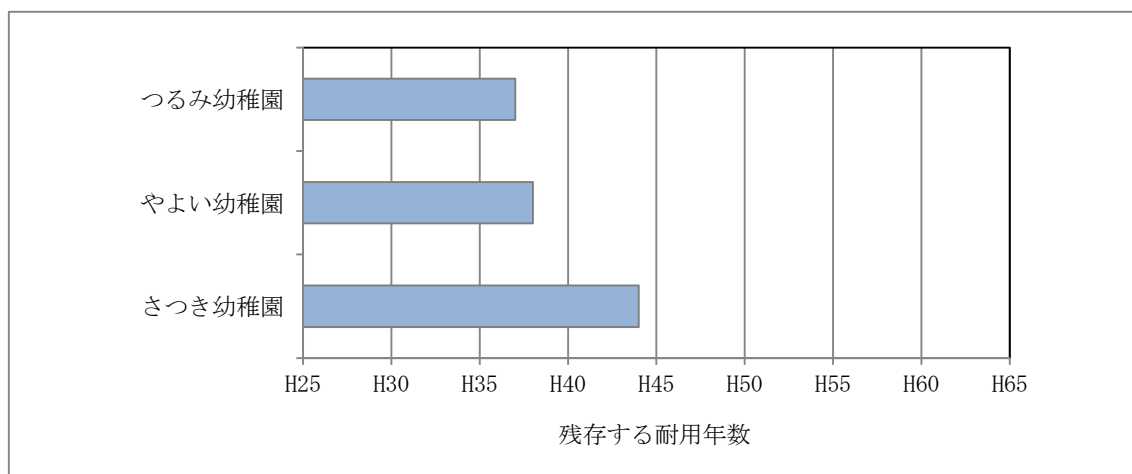
幼稚園は、学校教育法の規定に基づき就学前幼児の教育を行うことを目的として、つるみ幼稚園、やよい幼稚園、さつき幼稚園の3園が、それぞれ昭和49年、51年、57年に設置されています。このうち、さつき幼稚園については、少子化や夫婦共働き家庭の増加など、生活形態の変化に伴う園児の減少により、平成26年4月から休園しています。なお、市内には民間の私立幼稚園が6園あります。

また、旧耐震基準下で建築された、つるみ幼稚園とやよい幼稚園については、耐震診断（1次）の結果、現行の耐震基準を満たしていることが確認されています。

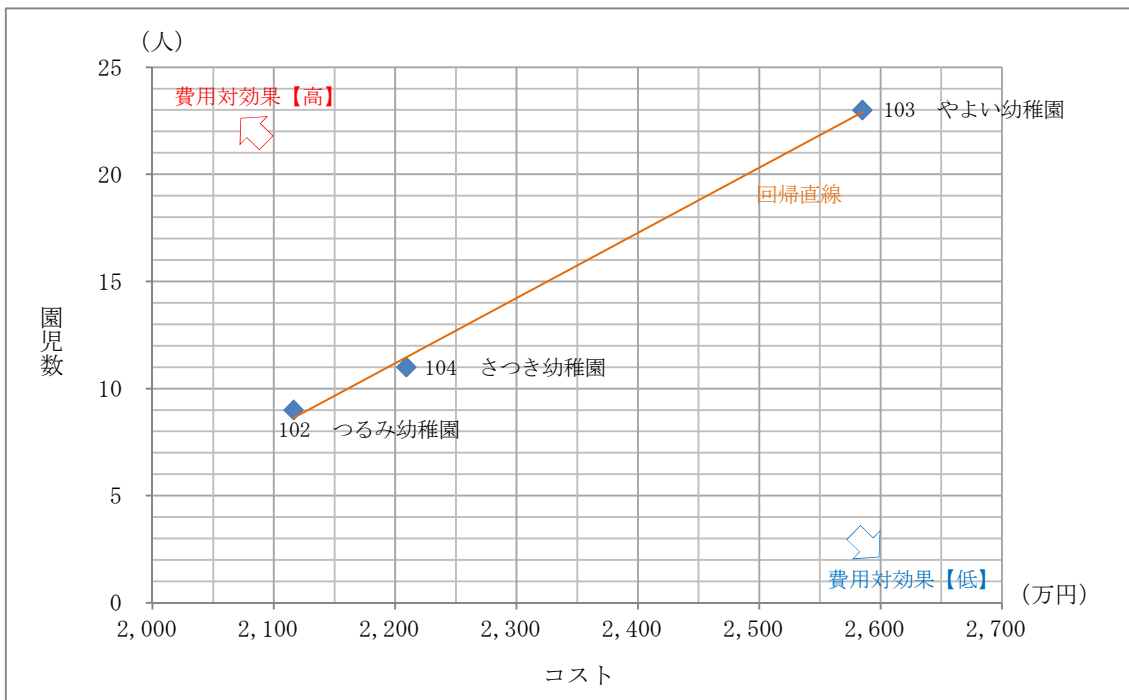
【図表21-20：用途分類別施設データ（幼稚園）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	園児数
102	地域	つるみ幼稚園	285.00	RC造	S49.6	21,162,931	9
103	地域	やよい幼稚園	331.00	RC造	S51.2	25,851,840	23
104	地域	さつき幼稚園	320.00	RC造	S57.3	22,091,323	11
計			936.00			69,106,094	43
市民一人あたり			0.02			1,291	

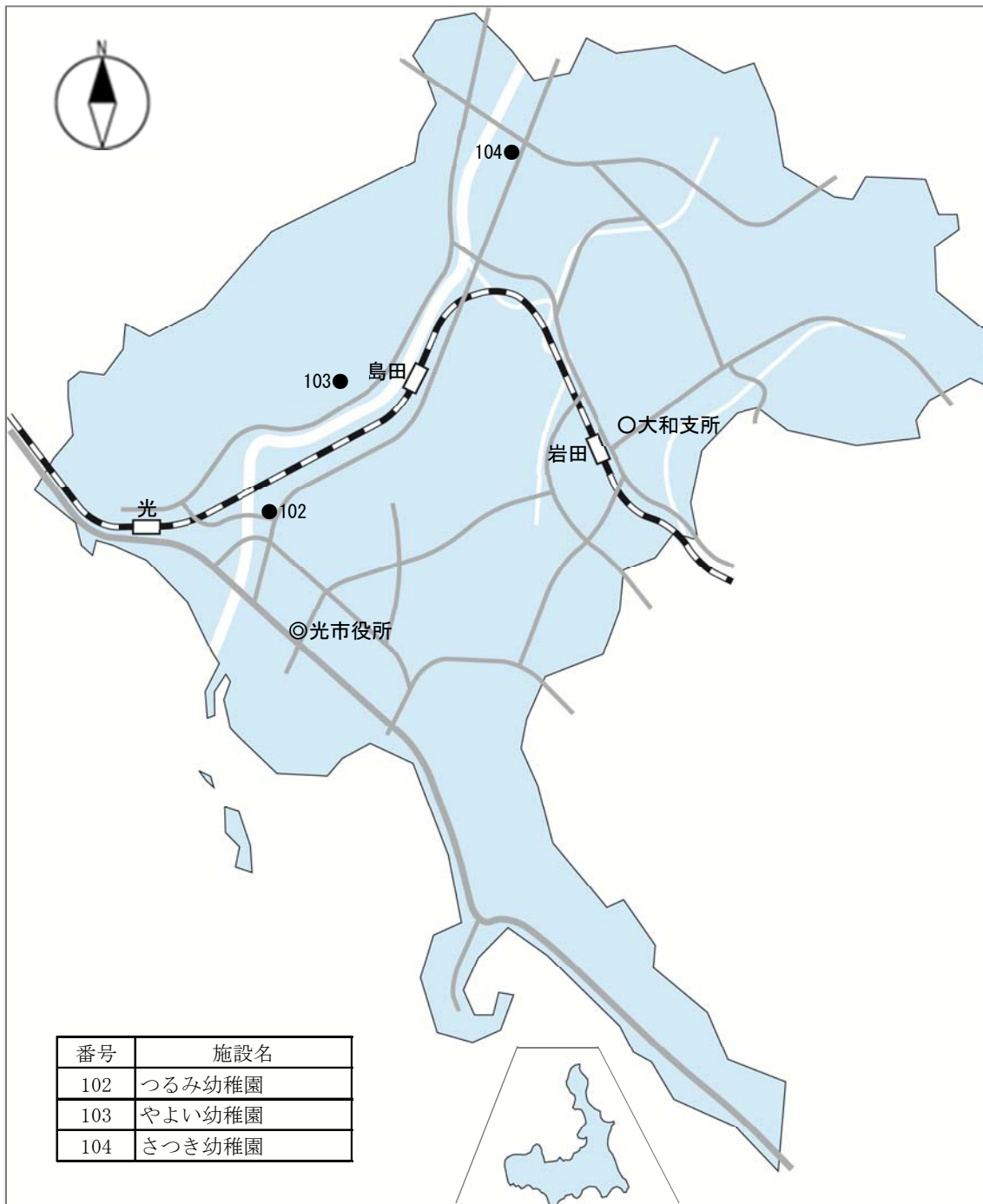
【図表22-20：残存耐用年数（幼稚園）】



【図表23-13：利用者数から見る費用対効果（幼稚園）】



【図表24-9：施設分布図（幼稚園）】



102 つるみ幼稚園



103 やよい幼稚園



104 さつき幼稚園

(10) 給食施設

光学校給食センターと大和学校給食センターの2施設（2棟）が対象で、総延床面積は1,255.04㎡（全体の1%）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約1億3,000万円で、市民一人あたり約2,400円を負担している計算です。

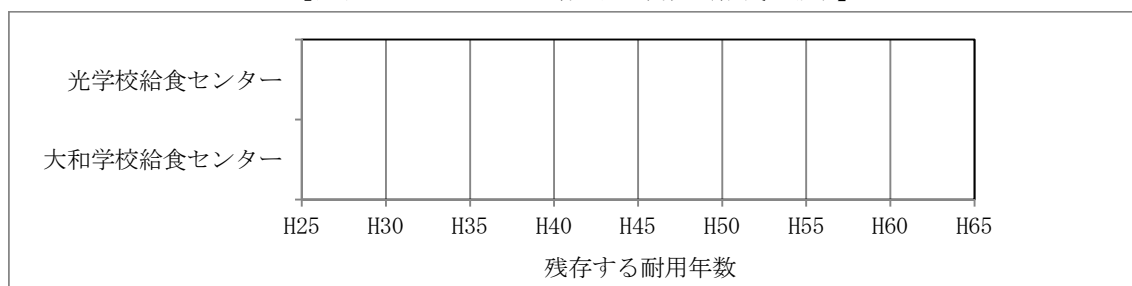
給食施設は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、旧光市内の小中学校を担当する光学校給食センターと旧大和町内の小中学校を担当する大和学校給食センターの2施設が設置されています。

光学校給食センターは昭和47年、大和学校給食センターは昭和53年に供用を開始し、市立小中学校の児童・生徒の心身の健全な発達や学校における食育の推進を目的に学校給食を提供してきました。現在、両施設の老朽化や学校給食衛生管理基準を満たしていない部分があることなどの理由から、両給食センターを統合した新たな給食施設を整備中で、平成26年9月から稼働する予定です。

【図表21-21：用途分類別施設データ（給食施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	提供食数
105	地域	光学校給食センター	857.12	S造	S47.3	102,103,903	722,101
106	地域	大和学校給食センター	397.92	S造	S53.3	28,461,693	103,127
計			1,255.04			130,565,596	825,228
市民一人あたり			0.02			2,439	

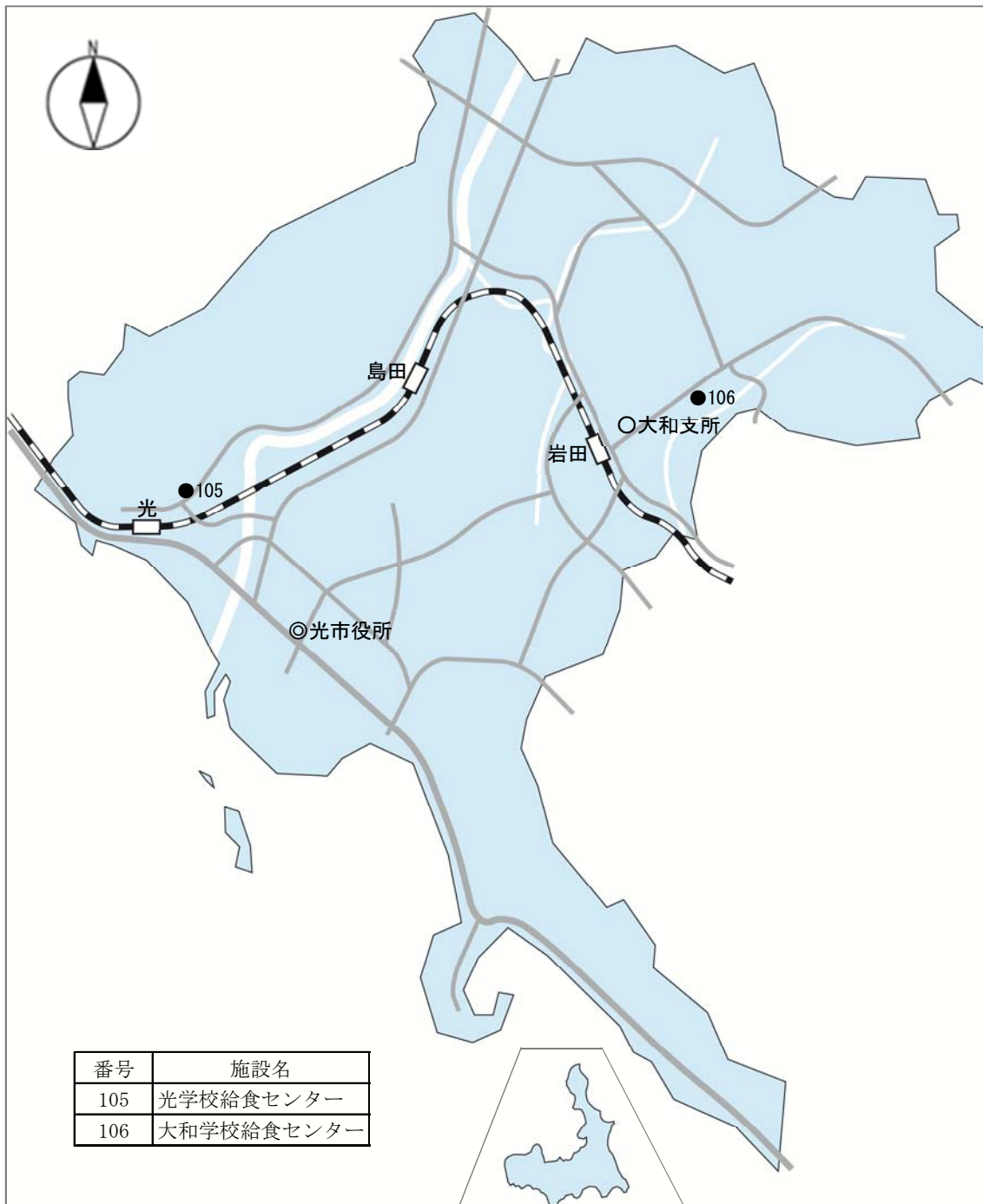
【図表22-21：残存耐用年数（給食施設）】



※2施設とも残存する法定耐用年数は0年。



【図表24-10：施設分布図（給食施設）】



105 光学校給食センター



106 大和学校給食センター

(11) 市営住宅

市営住宅35施設（188棟）が対象となり、総延床面積は66,928.73㎡（全体の33%）となっています。

また、市営住宅の収入（使用料や国・県補助等）には、建設費に応じた金額が含まれている一方で、本白書における支出（維持管理・運営にかかる費用）には、建設時の起債償還費を含んでいないため、支出から収入を差し引いた市営住宅全体のコストは収入過多となっています。

市営住宅は、健康で文化的な生活を営むことができる住宅の確保が困難な低額所得者などのために、低廉な家賃で賃貸することで住宅市場を補完し、セーフティネットを形成することを目的に、公営住宅法等の規定に基づいて設置されているものです。

本市の市営住宅は、昭和30年代から始まった高度経済成長期の住宅需要の拡大に伴い、昭和30年代後半から50年代までに大量に供給されたため、老朽化した建物が多くあります。このため、「光市営住宅等長寿命化計画（平成24年3月）」を策定し、計画的な維持管理や供給量の適正化に努めていくこととしています。

【図表21-22：用途分類別施設データ（市営住宅）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	入居者数
107	地域	南汐浜住宅				890,690	25
		□3～5号室	91.58	C B造	S40.2		
		□6・7号室	73.47	C B造	S40.2		
		□8～13号室	220.42	C B造	S40.2		
		□14・15号室	73.47	C B造	S40.2		
		□16・17号室	61.05	C B造	S40.12		
		□18～21号室	122.10	C B造	S40.12		
108	地域	汐浜2区住宅				941,652	65
		□1号棟	1,249.56	R C造	S42.12		
		□25～34号室	388.80	C B造	S43.3		
109	地域	松中住宅				16,097	164
		□1～4号室	155.52	C B造	S43.1		
		□5・6・23～26号室	233.28	C B造	S43.1		
		□7～10号室	155.52	C B造	S40.12		
		□11～16号室	233.28	C B造	S40.12		
		□17～22号室	233.28	C B造	S40.12		
		□27～32号室	233.28	C B造	S41.10		

第3章 光市の公共施設の状況

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	入居者数
		□33～38号室	233.28	C B造	S41.10		
		□39～44号室	233.28	C B造	S41.10		
		□45～48・ 50～53号室	311.04	C B造	S42.12		
		□54～57号室	177.60	C B造	S42.12		
		□58～65号室	311.04	C B造	S42.12		
		□66～73号室	311.04	C B造	S42.12		
		□74～79号室	233.28	C B造	S41.10		
		□80～85号室	266.40	C B造	S40.12		
		□86～91号室	266.40	C B造	S40.12		
		□92～97号室	266.40	C B造	S41.10		
		□98～101号室	155.52	C B造	S41.10		
		□102～108号室	272.16	C B造	S41.10		
		□109～114号室	233.28	C B造	S41.10		
		□115～120号室	266.40	C B造	S41.10		
		□121～124号室	155.52	C B造	S44.2		
		□集会所	39.60	C B造	S42.12		
110	地域	西之浜住宅 □1～6号室	241.92	C B造	S45.10	112,374	17
		□7～14号室	322.56	C B造	S46.3		
111	地域	みたらい住宅 □1号棟	1,109.76	R C造	S43.3	3,924,006	134
		□2号棟	1,116.00	R C造	S44.3		
		□3号棟	745.60	R C造	S45.2		
112	地域	中央住宅 □1～8号室	559.72	R C造	H2.3	50,200	31
		□9～12号	280.82	R C造	H2.3		
113	地域	東戸仲住宅 □1～3号室	91.58	C B造	S40.2	353,557	11
		□4・5号室	61.05	C B造	S40.2		
		□6～8号室	91.58	C B造	S40.2		
114	地域	森ヶ峠住宅 □1号棟	991.84	R C造	S48.3	7,934,659	104
		□2号棟	1,485.35	R C造	S48.3		
115	地域	東領家住宅				2,244,486	39

第3章 光市の公共施設の状況

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	入居者数
		□1・2号室	77.76	C B造	S41.3		
		□3～10号室	311.04	C B造	S41.3		
		□11・12号室	72.16	C B造	S41.3		
		□13～19号室	310.80	C B造	S41.3		
		□20～25号室	216.48	C B造	S41.3		
		□26・27号室	61.05	C B造	S41.10		
		□28～31号室	122.10	C B造	S41.10		
116	地域	領家台住宅 □1号棟	890.38	R C造	H6.3	-13,248,066	190
		□2号棟	904.06	R C造	H6.3		
		□3号棟	609.22	R C造	H6.3		
		□4号棟	609.22	R C造	H6.3		
		□5号棟	904.06	R C造	H7.2		
		□6号棟	904.06	R C造	H7.2		
		□7号棟	1,352.71	R C造	H7.2		
		□集会所	68.40	S造	H8.1		
117	地域	領家台住宅 (特公賃)	1,140.28	R C造	H8.1	-5,359,288	28
118	地域	相生住宅 □1号棟	812.74	R C造	S49.7	313,373	164
		□2号棟	1,339.40	R C造	S50.8		
		□3号棟	944.14	R C造	S51.8		
		□4号棟	1,000.11	R C造	S53.8		
		□集会所	55.25	C B造	S51.8		
119	地域	花園住宅	1,408.85	R C造	H9.2	-3,549,016	39
120	地域	平岡台住宅 □1号棟	2,876.62	R C造	H15.10	-7,897,042	56
		□集会所	50.66	R C造	H15.10		
121	地域	高洲住宅	1,178.46	R C造	S49.7	4,069,859	35
122	地域	高洲西住宅	683.19	R C造	S47.1	323,002	21
123	地域	緑町住宅 □1号棟	1,665.27	R C造	S60.3	-37,784,374	250
		□2号棟	1,665.27	R C造	S61.3		
		□3号棟	3,736.44	R C造	H16.11		
		□4号棟	1,458.24	R C造	H19.10		

第3章 光市の公共施設の状況

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	入居者数
		□5号棟	1,394.30	R C造	H21.10		
		□集会所	93.58	S造	H18.3		
124	地域	緑町西住宅	923.47	R C造	S52.7	-1,167,059	39
125	地域	幸町住宅				2,464,319	74
		□1~4号室	155.52	C B造	S41.2		
		□5~10号室	233.28	C B造	S41.2		
		□11~18号室	311.04	C B造	S41.12		
		□19~22号室	155.52	C B造	S41.2		
		□23~28号室	266.40	C B造	S41.12		
		□29~36号室	355.20	C B造	S43.1		
		□37~42号室	233.28	C B造	S41.2		
126	地域	虹ヶ浜西住宅				-936,269	15
		□1・2号室	127.59	C B造	S63.3		
		□3・4号室	127.59	C B造	S63.3		
		□5・6号室	127.59	C B造	S63.3		
		□7・8号室	127.59	C B造	S63.3		
127	地域	上島田住宅				729,664	14
		□1~5号室	152.63	C B造	S40.3		
		□6~9号室	146.94	C B造	S40.3		
128	地域	山田住宅				1,702,501	73
		□1・2号室	61.05	C B造	S43.3		
		□3~6号室	122.10	C B造	S43.3		
		□7~12号室	186.48	C B造	S44.3		
		□13・14号室	62.16	C B造	S44.3		
		□15~20号室	186.48	C B造	S44.3		
		□21~24号室	124.32	C B造	S44.3		
		□25・26・28号室	93.24	C B造	S44.3		
		□29~32号室	124.32	C B造	S44.3		
		□33~36号室	124.32	C B造	S44.12		
		□37~40号室	124.32	C B造	S44.3		
		□41~44号室	177.60	C B造	S44.3		
		□45~52号室	355.20	C B造	S44.3		
		□集会所	39.76	C B造	S44.12		
129	地域	亀山住宅				1,608,310	38
		□101~106号室	266.40	C B造	S45.3		

第3章 光市の公共施設の状況

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	入居者数
		<input type="checkbox"/> 107～109号室 <input type="checkbox"/> 111～116号室 <input type="checkbox"/> 117～119号室 <input type="checkbox"/> 121～124号室 <input type="checkbox"/> 125～128号室 <input type="checkbox"/> 129～132号室 <input type="checkbox"/> 133～136号室 <input type="checkbox"/> 137～140号室 <input type="checkbox"/> 141～144号室 <input type="checkbox"/> 集会所	99.96 266.40 99.96 124.32 124.32 124.32 124.32 124.32 133.28 42.25	C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造	S45.12 S45.3 S45.12 S45.3 S45.3 S45.3 S45.3 S45.3 S45.12 S45.12		
130	地域	岩狩住宅 <input type="checkbox"/> 1～4号室 <input type="checkbox"/> 5～8号室 <input type="checkbox"/> 9～12号室 <input type="checkbox"/> 13～18号室 <input type="checkbox"/> 19～24号室 <input type="checkbox"/> 25～30号室 <input type="checkbox"/> 31～36号室 <input type="checkbox"/> 37～44号室 <input type="checkbox"/> 51～54号室 <input type="checkbox"/> 55～60号室 <input type="checkbox"/> 65～70号室 <input type="checkbox"/> 71～76号室 <input type="checkbox"/> 77～80号室 <input type="checkbox"/> 81～88号室 <input type="checkbox"/> 89～96号室 <input type="checkbox"/> 97～104号室 <input type="checkbox"/> 105～112号室 <input type="checkbox"/> 集会所	177.60 177.60 177.60 266.40 266.40 266.40 266.40 266.40 355.20 171.00 251.85 251.85 265.68 184.50 354.24 354.24 354.24 354.24 46.13	C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造 C B造	S46.3 S46.3 S46.3 S46.3 S46.3 S46.3 S46.3 S46.3 S49.2 S47.1 S47.1 S46.12 S47.12 S46.12 S46.12 S46.12 S46.12 S47.12	-413,530	177
131	地域	虹川住宅 <input type="checkbox"/> 1・2号室 <input type="checkbox"/> 3～6号室 <input type="checkbox"/> 7～10号室	69.66 139.32 139.32	C B造 C B造 C B造	S47.12 S47.12 S47.12	1,459,638	12
132	地域	三輪中央住宅 <input type="checkbox"/> 1号室 <input type="checkbox"/> 2号室	38.88 38.88	木造 木造	S46.3 S46.3	122,601	9

第3章 光市の公共施設の状況

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	入居者数
		□3号室	38.88	木造	S46.3		
		□4号室	38.88	木造	S46.3		
		□5号室	38.88	木造	S46.3		
133	地域	溝呂井住宅				425,601	40
		□1~4号室	150.08	C B造	S47.3		
		□5・6号室	75.04	C B造	S47.3		
		□7・8号室	75.04	C B造	S47.3		
		□9・10号室	75.04	C B造	S47.3		
		□11・12号室	75.04	C B造	S48.3		
		□13・14号室	75.04	C B造	S48.3		
		□15・16号室	75.04	C B造	S48.3		
		□17・18号室	78.75	C B造	S48.3		
		□19・20号室	78.75	C B造	S48.3		
		□21・22号室	78.75	C B造	S48.3		
		□23・24号室	78.75	C B造	S48.3		
134	地域	小豆尻住宅				-1,619,037	88
		□1・2号室	92.25	C B造	S49.3		
		□3~8号室	276.75	C B造	S49.3		
		□9~14号室	256.50	C B造	S49.3		
		□15~20号室	256.50	C B造	S49.3		
		□21~24号室	205.92	C B造	S51.11		
		□25~28号室	202.50	C B造	S50.5		
		□29~32号室	202.50	C B造	S50.5		
		□33~38号室	328.05	C B造	S51.11		
		□39~44号室	315.90	C B造	S51.3		
		□45~50号室	283.50	C B造	S50.5		
		□集会所	59.40	C B造	S51.3		
135	地域	儀山住宅				-2,669,710	85
		□1号棟	1,665.27	R C造	S61.8		
		□2号棟	1,059.44	R C造	S63.7		
136	地域	中岩田住宅				-1,896,383	130
		□1号棟	836.86	R C造	H2.9		
		□2号棟	836.86	R C造	H2.9		
		□3号棟	798.70	R C造	H4.3		
		□4号棟	836.86	R C造	H4.3		

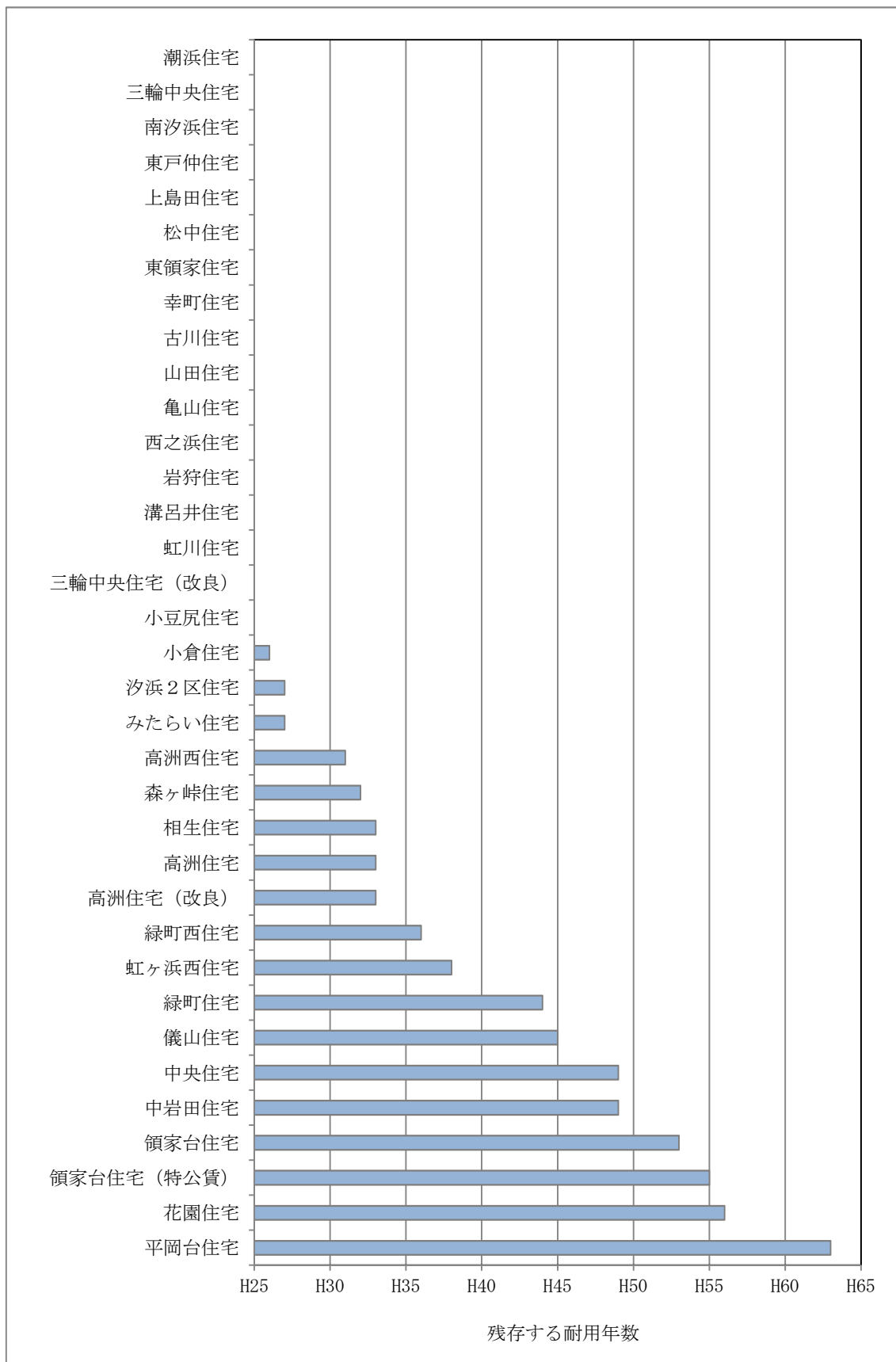
第3章 光市の公共施設の状況

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	入居者数
		□集会所	69.85	S造	H2.10		
137	地域	高洲住宅(改良)	381.55	R C造	S49.7	1,943,033	7
138	地域	三輪中央住宅(改良)				214,544	59
		□6・7号室	100.46	C B造	S48.12		
		□8・9号室	100.46	C B造	S48.12		
		□10・11号室	100.46	C B造	S48.12		
		□12・13号室	100.46	C B造	S50.6		
		□14・15号室	100.46	C B造	S50.6		
		□16・17号室	100.46	C B造	S50.6		
		□18・19号室	100.46	C B造	S50.3		
		□20・21号室	100.46	C B造	S51.3		
		□22・23号室	111.98	C B造	S51.12		
		□24・25号室	111.98	C B造	S51.12		
		□26・27号室	112.66	C B造	S53.12		
		□28・29号室	112.66	C B造	S53.12		
		□30・31号室	118.69	C B造	S54.3		
		□32・33号室	118.69	C B造	S54.3		
□34・35号室	118.69	C B造	S56.3				
□36・37号室	114.89	C B造	S56.3				
139	地域	潮浜住宅				88,257	1
		□57号室	30.25	木造	S36.12		
		□62号室	30.25	木造	S36.12		
140	地域	古川住宅	61.04	C B造	S41.3	77,509	1
141	地域	小倉住宅	92.75	木造	H4.3	-83,648	4
計			66,928.73			-44,145,090	2,239
市民一人あたり			1.25			-833	

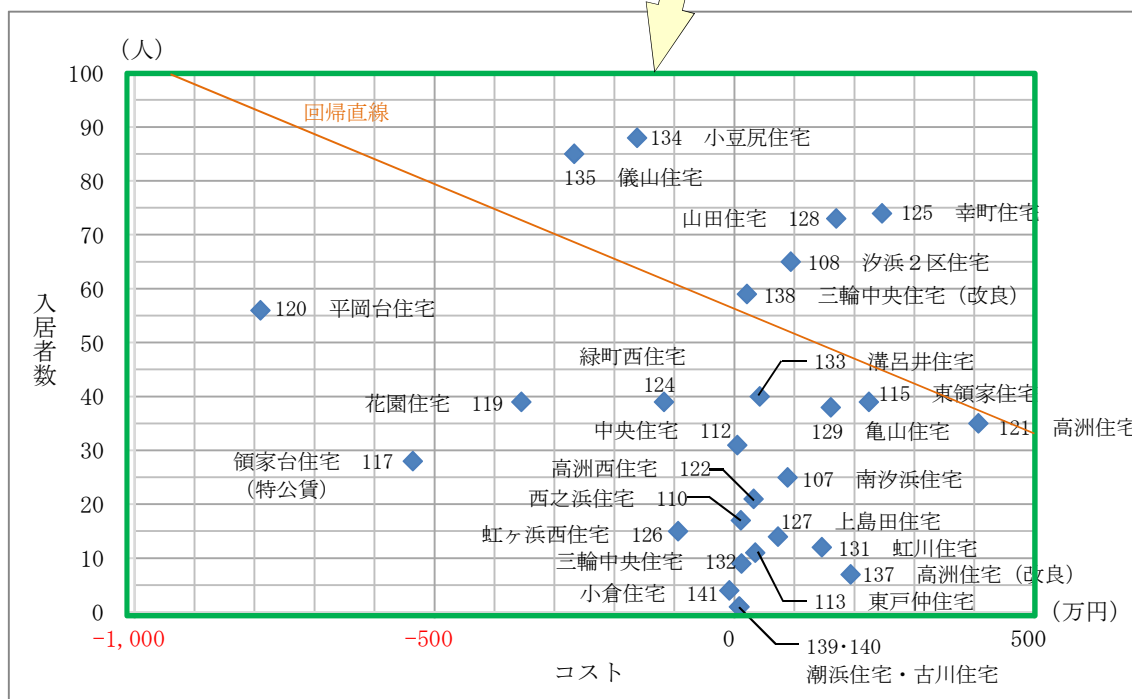
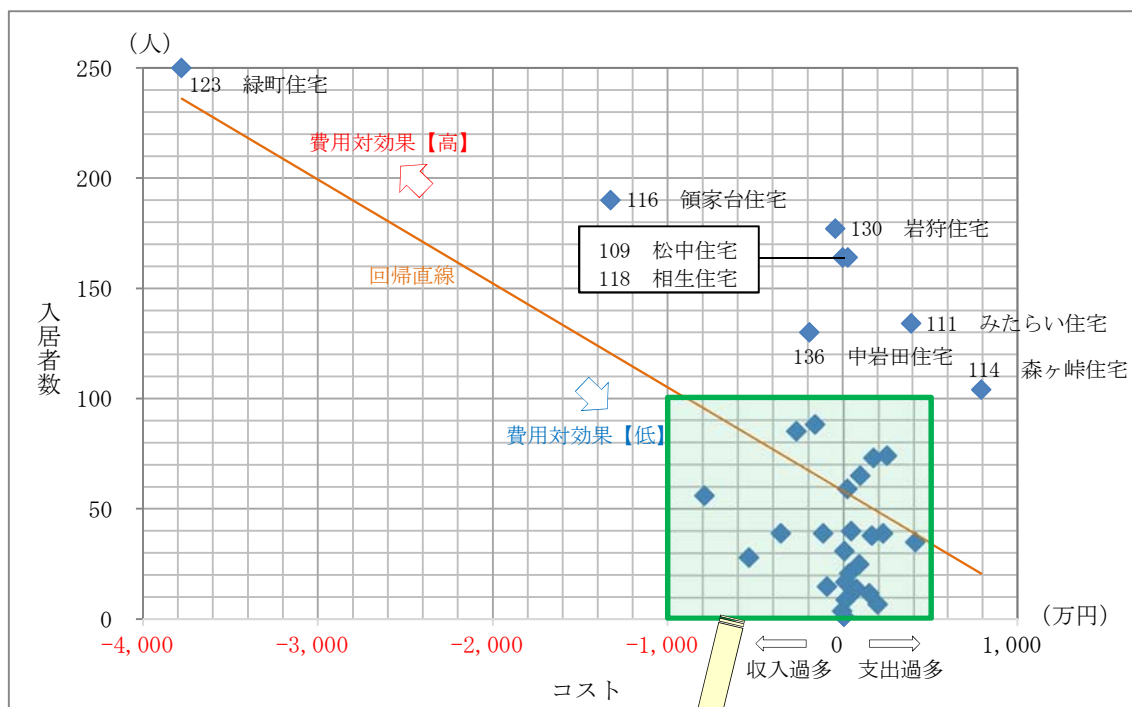
※収入過多となっている住宅のコストは－（マイナス）で表示しています。



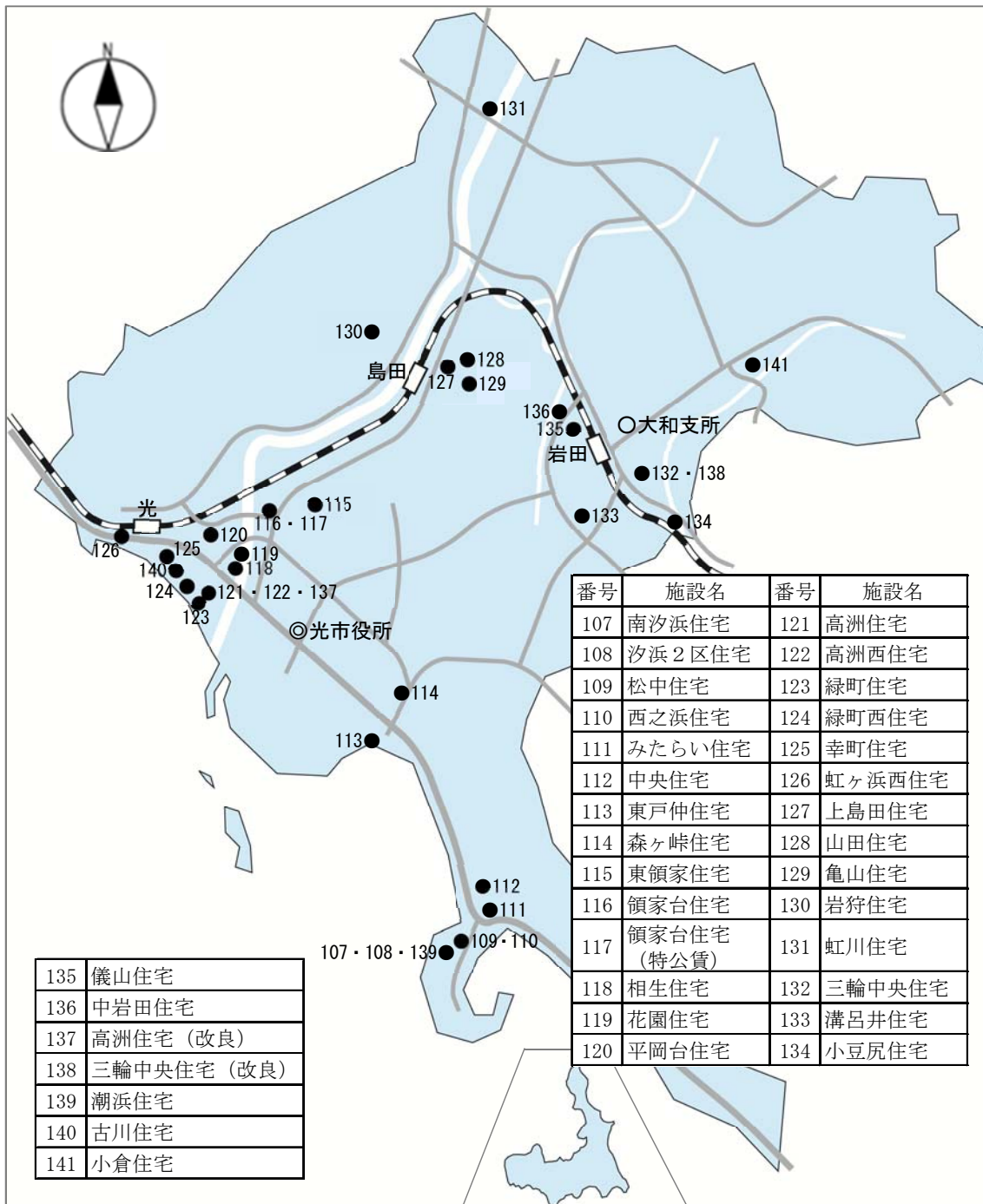
【図表22-22：残存耐用年数（市営住宅）】



【図表23-14：利用者数から見る費用対効果（市営住宅）】



【図表24-11：施設分布図（市営住宅）】



109 松中住宅



123 緑町住宅



136 中岩田住宅

(12) 産業施設

農業振興拠点施設「里の厨」やテクノキャンパス研修センターなど計5施設（5棟）が対象となり、総延床面積は3,132.93㎡（全体の2%）となっています。

また、これらの施設の維持管理・運営にかかる年間コストは約1,300万円で、市民一人あたり約200円を負担している計算です。

農業振興拠点施設「里の厨」は、地産地消の推進や地域農業の振興を通じた地域環境の向上などを目的として平成23年に開設し、特産品などの販売だけでなく、農業体験教室や加工品づくりなどの体験型の事業を実施しています。平成24年度の年間来場者は約24万人を数え、平成25年8月には、レジ通過者が50万人を突破するなど、多くの方が利用されています。

テクノキャンパス研修センターは、平成3年に設置し、地域のスポーツ・文化施設として利用されています。

シルバーワークプラザは、高齢者のための臨時的かつ短期的な就業に関する事業の円滑な実施を図り、もって高齢者の福祉の増進に資するために、昭和48年に建築された旧光消防署を利用して設置したもので、現在は、シルバー人材センターと森林組合に貸与しています。

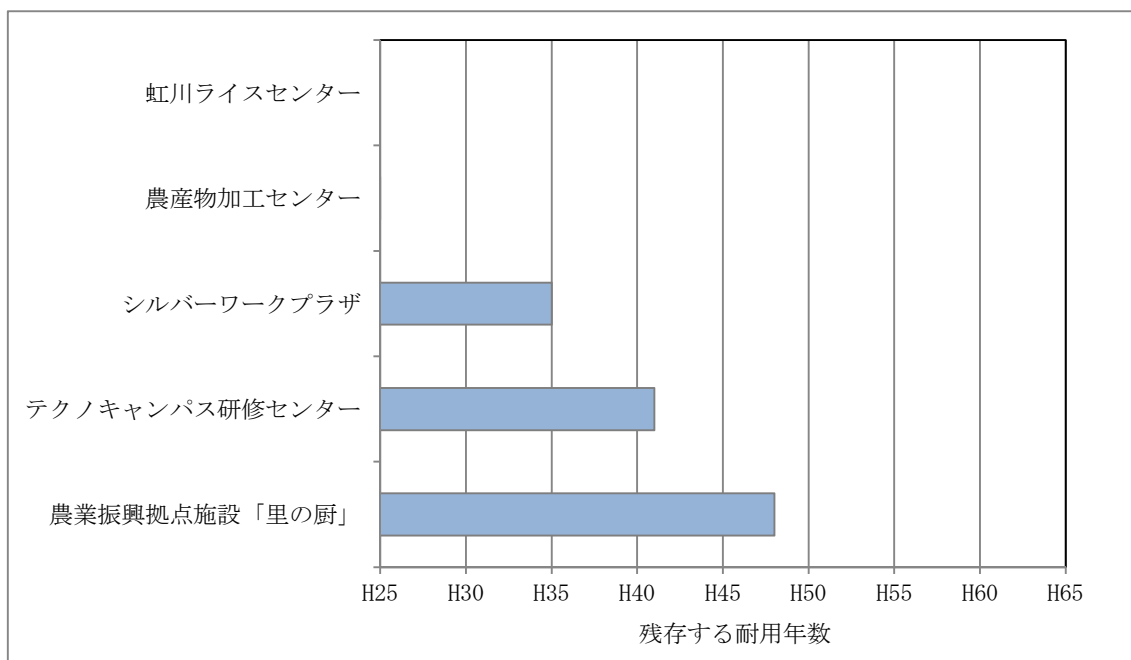
農産物加工センターは、転作作物の有効利用を図るため、味噌・漬物等の農産物を加工する施設として昭和57年に、虹川ライスセンターは、虹川地区の経済基盤の確立を図る目的で昭和52年に設置した施設です。

なお、農業振興拠点施設「里の厨」とテクノキャンパス研修センターは指定管理者による管理とし、効率的かつ効果的な施設の管理運営に努めています。

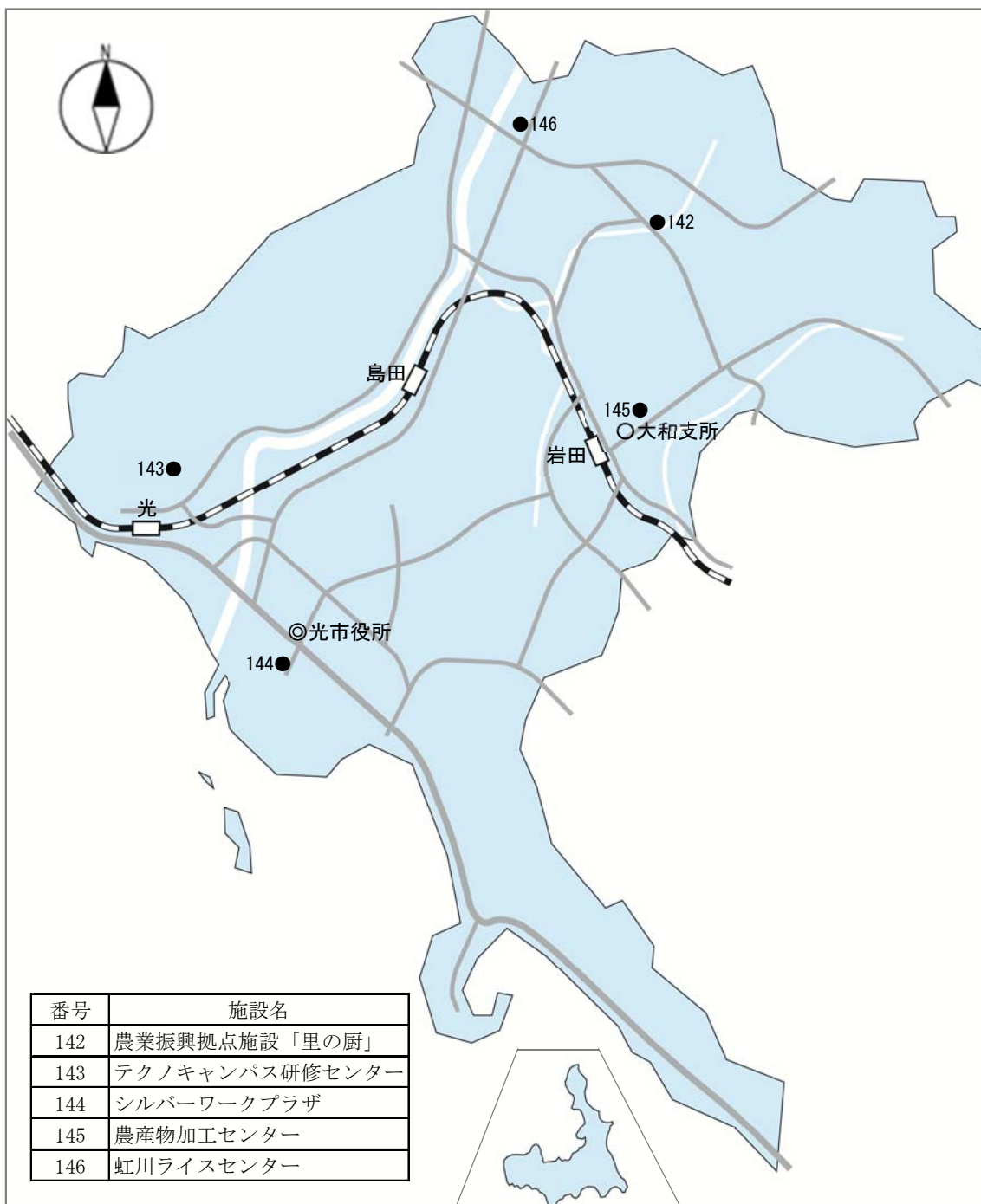
【図表21-23：用途分類別施設データ（産業施設）】

番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
142	全域	農業振興拠点施設「里の厨」	802.00	木造	H23.7	3,228,371	243,858
143	全域	テクノキャンパス研修センター	777.00	S造	H3.3	4,484,430	6,082
144	全域	シルバーワークプラザ	1,136.68	RC造	S48.3	1,499,277	不明
145	地域	農産物加工センター	229.00	S造	S57.3	3,371,688	1,200
146	地域	虹川ライスセンター	188.25	S造	S52.3	175,842	40
計			3,132.93			12,759,608	251,180
市民一人あたり			0.06			238	

【図表22-23：残存耐用年数（産業施設）】



【図表24-12：施設分布図（産業施設）】



142 農業振興拠点施設「里の厨」



143 テクノキャンパス研修センター



145 農産物加工センター

(13) その他施設

対象は、旧周南コンピュータ・カレッジの1施設のみで、延床面積は2,064.52㎡（全体の1%）となっています。

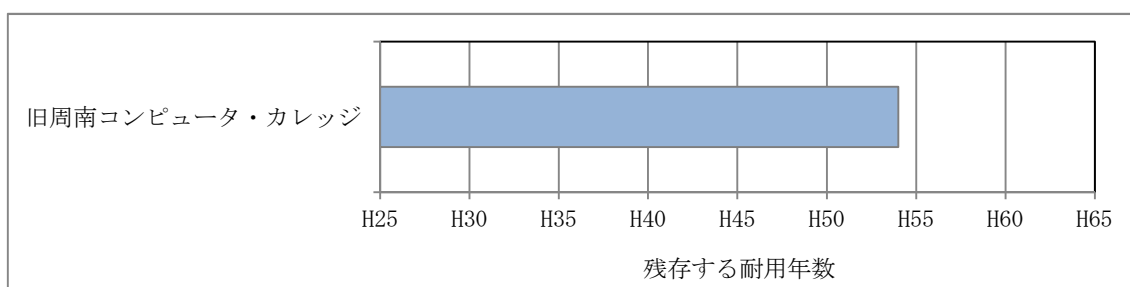
同施設は、平成3年に雇用・能力開発機構（厚生労働省）により、急速に発展する高度情報化社会を担う人材を育成するための職業能力開発施設として設置されましたが、周南コンピュータ・カレッジの閉校に伴い、平成23年に市に譲渡されたものです。現在は、学校法人中央学院に貸与し、平成25年度から専門学校が開校されています。

【図表21-24：用途分類別施設データ（その他施設）】

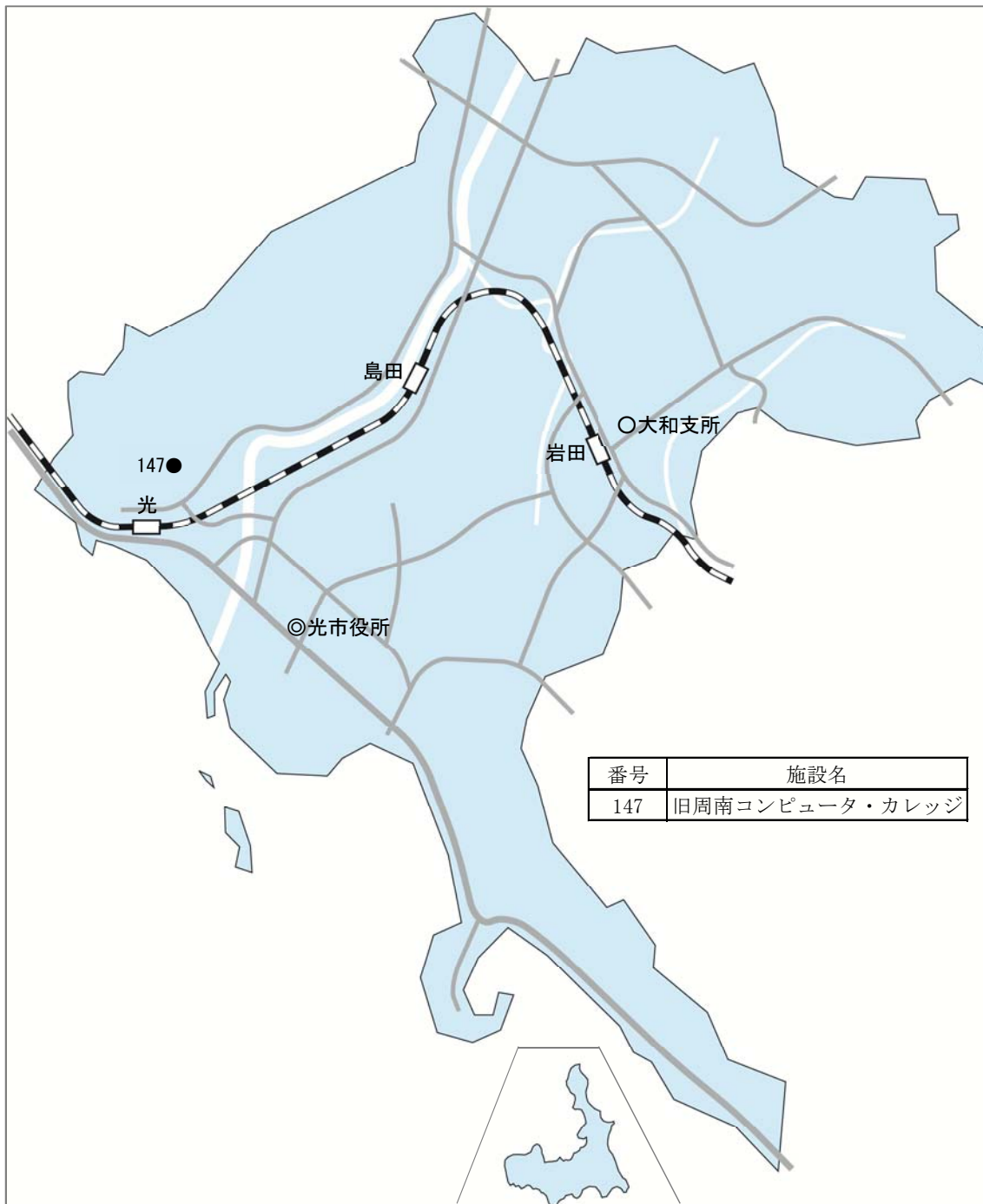
番号	対象	施設名	延床面積	構造	築年月	コスト	利用者数
147	全域	旧周南コンピュータ・カレッジ	2,064.52	RC造	H3.6	-1,671,835	不明
市民一人あたり			0.04			-31	

※有償貸付により収入過多となっているため、コストは－（マイナス）で表示しています。

【図表22-24：残存耐用年数（その他施設）】



【図表24-13：施設分布図（その他施設）】



147 旧周南コンピュータ・カレッジ



## 第4節 地域別の状況

### (1) 各地域の保有面積

図表25は、共通する地域特性や地理的条件、都市機能、地域住民のコミュニティ意識などをもとに、総合計画において設定した4つの地域について、それぞれが保有する施設の延床面積を示したものです。

これによると、小・中学校の規模が大きく、市営住宅の多い西部地域の延床面積が最も大きくなっています。

次いで、庁舎や文化施設及びスポーツ・レクリエーション施設などの市民全体で利用する規模の大きな施設が集積する南部地域の順となっています。

一方、地域住民一人あたりの延床面積では、東部地域の5.40㎡が最も大きく、次いで南部地域の4.01㎡となっています。

【図表25：各地域の施設保有面積等の状況】

地域名	人口（人）	保有施設の 面積（㎡）	住民一人あたり の延床面積（㎡）
東部地域 （岩田・三輪・塩田・東荷）	7,421	40,057.08 [全域] 4,889.69 [地域] 35,167.39	5.40 [全域] 0.66 [地域] 4.74
西部地域 （浅江・島田）	19,006	73,768.36 [全域] 9,745.07 [地域] 64,023.29	3.88 [全域] 0.51 [地域] 3.37
南部地域 （室積・光井）	17,001	68,149.65 [全域] 29,357.99 [地域] 38,791.66	4.01 [全域] 1.73 [地域] 2.28
北部地域 （三井・周防・上島田）	10,097	23,113.88 [全域] 1,952.64 [地域] 21,161.24	2.29 [全域] 0.19 [地域] 2.10
計	53,525	205,088.97 [全域] 45,945.39 [地域] 159,143.58	3.83 [全域] 0.86 [地域] 2.97

※図表中の表記について、[全域]は利用者の区域が市内全域又は市外に及ぶ施設、[地域]は利用者の区域がその地域にある程度定まっている施設を指しています。

※人口は、平成25年3月末現在の住民基本台帳によるものです。

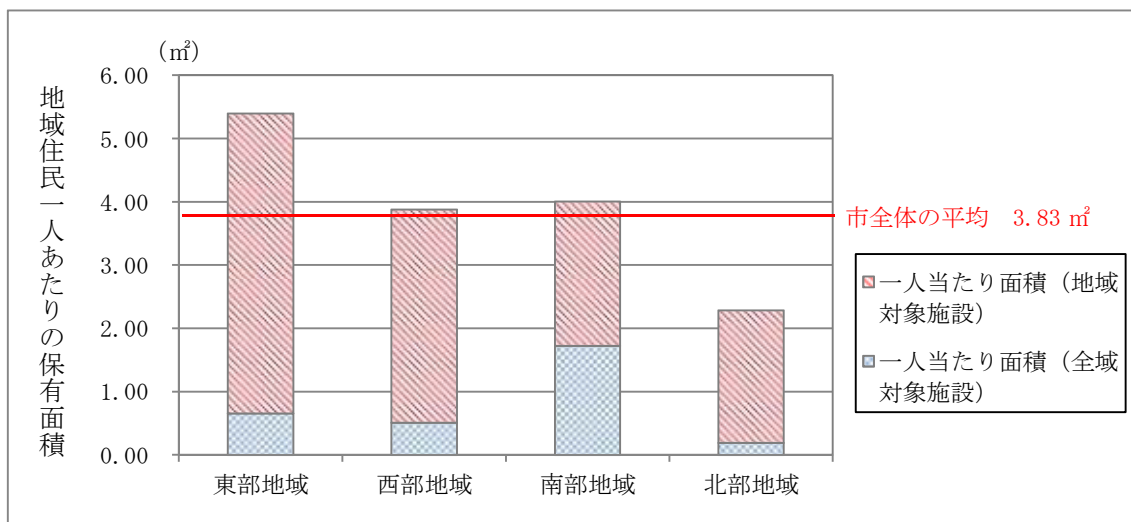
図表26は、各地域の保有面積を視覚的に表したものです。この図表からも、市民全体で利用する全域対象施設が南部地域に集積していることや、地域住民を主な利用者とする地域対象施設の延床面積は西部地域が最も大きいことなどが分かります。

【図表26：各地域の施設保有面積】



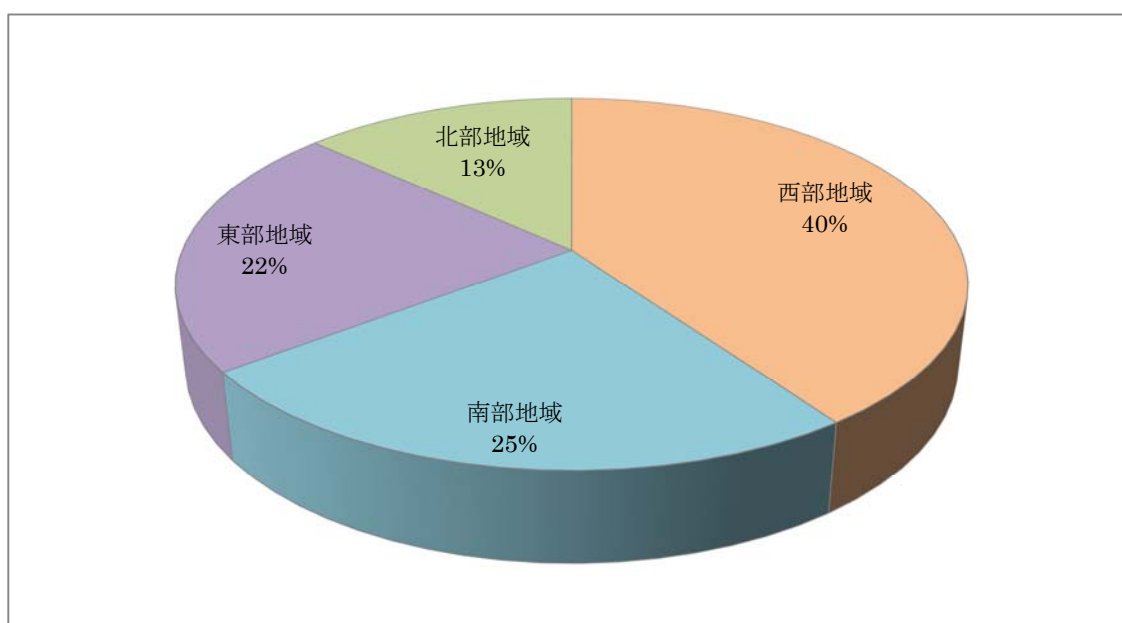
図表27は、各地域の住民一人あたりの施設保有面積を示したものです。地域住民一人あたりでは、人口が少ないことや小・中学校が5校あることなどの理由により、東部地域の保有面積が大きくなっています。

【図表27：各地域の住民一人あたりの施設保有面積】



図表28は、地域住民を主な利用者とする地域対象施設について、各地域の保有割合を示したものです。これによると、規模の大きい小・中学校や市営住宅がある西部地域の割合が最も大きく、次いで南部地域の順となっています。

【図表28：各地域の施設保有面積の割合】



## (2) 用途別に見る各地域の保有面積

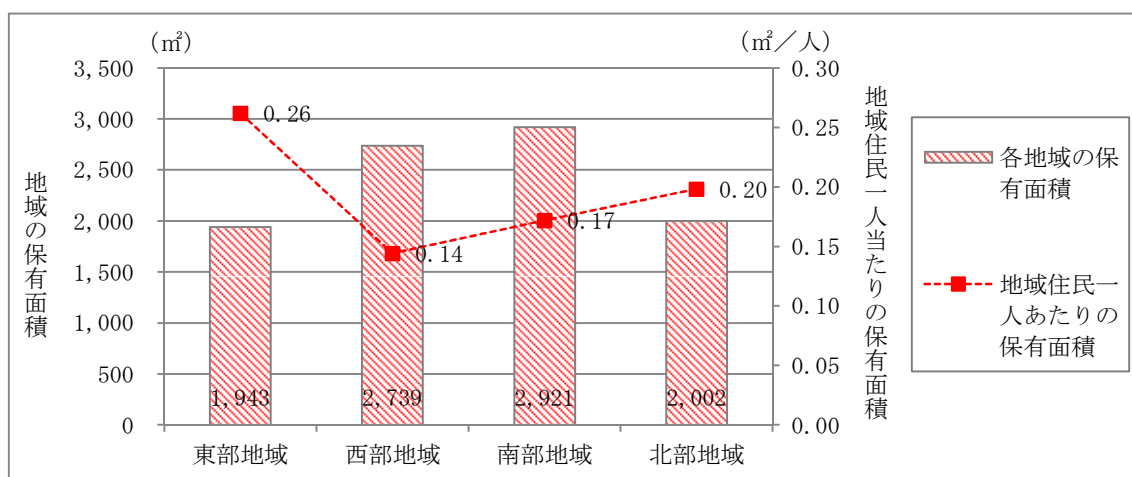
図表29は、地域住民を主な利用者とする地域対象施設について、用途別（中分類）に、各地域の保有面積と地域住民一人あたりの保有面積をそれぞれ比較したものです。

なお、ここでは地域対象施設が最低でも3施設以上あり、かつ、それらが複数の地域に分布している用途（中分類）についてのみ比較を行っています。

### ○社会教育施設

地域の保有面積では、公民館数の多い南部地域が、地域住民一人あたりでは大和・東荷・塩田の3つ公民館がある東部地域の保有面積が最も大きくなっています。

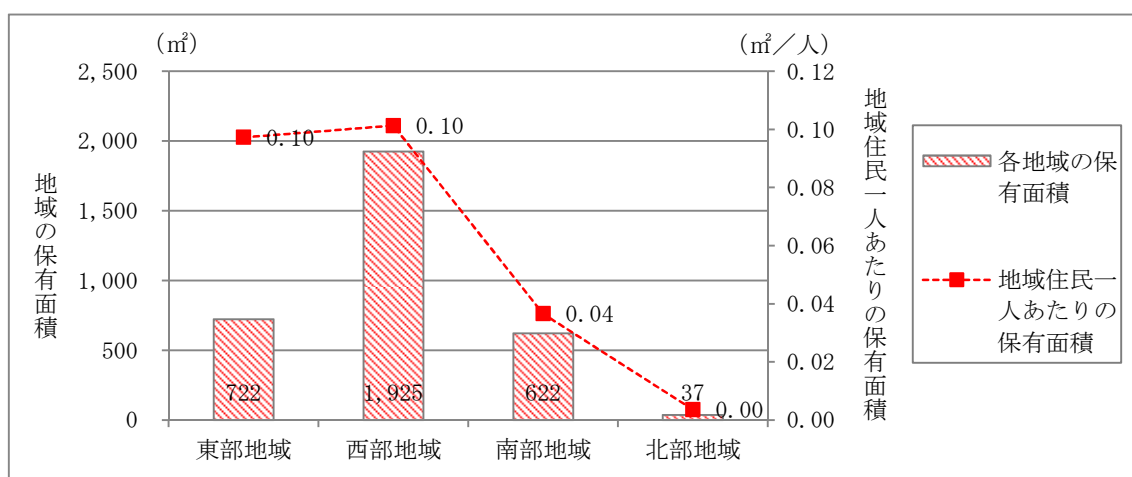
【図29-1：各地域の地域対象施設保有面積（社会教育施設）】



### ○保育・子育て支援施設

浅江東保育園及び浅江南保育園が位置する西部地域が、地域の保有面積、住民一人あたりの保有面積ともに最も大きくなっています。

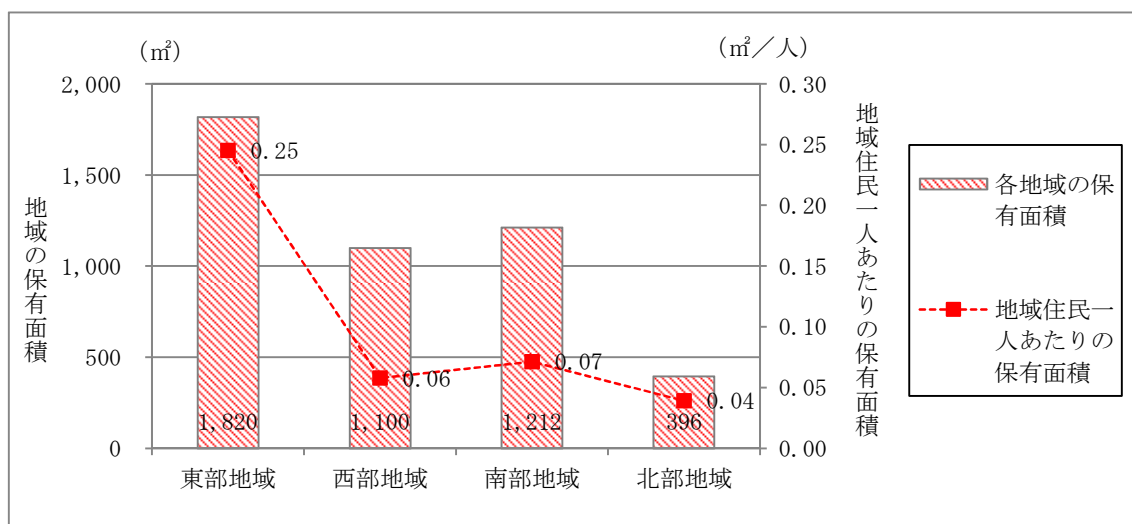
【図表29-2：各地域の施設保有面積（保育・子育て支援施設）】



○福祉施設

複数の老人憩いの家や三輪福祉会館などがある東部地域が、地域の保有面積、住民一人あたりの保有面積ともに最も大きくなっています。

【図表29-3：各地域の施設保有面積（福祉施設）】

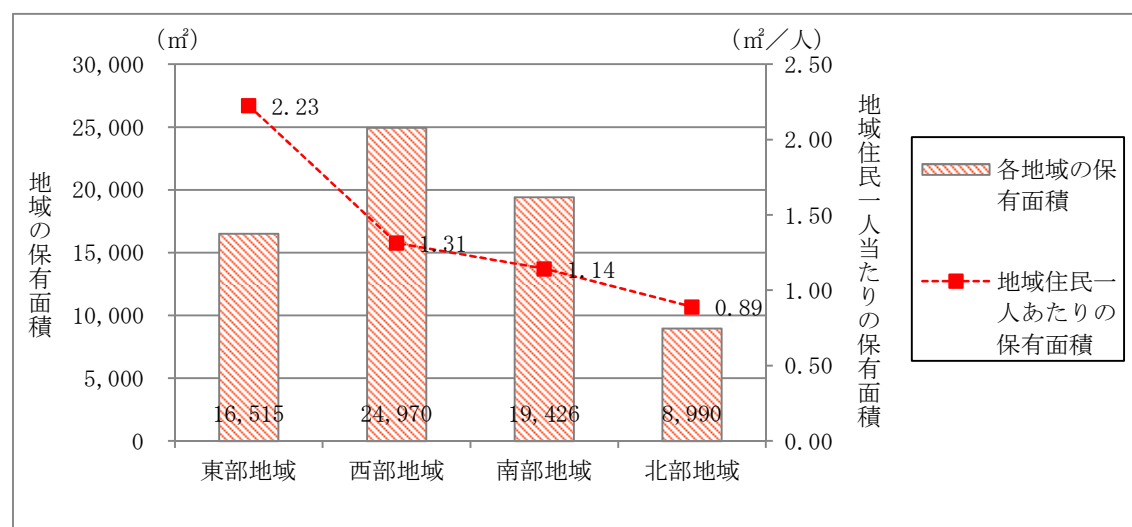


○小・中学校

地域の保有面積では、小・中学校の中でも規模の大きい浅江小・中学校及び島田小・中学校がある西部地域の面積が最も大きくなっています。

また、地域住民一人あたりの保有面積では、全地域の中で、最も多い5校（岩田小学校、三輪小学校、東荷小学校、塩田小・中学校）を保有する東部地域の面積が大きくなっています。

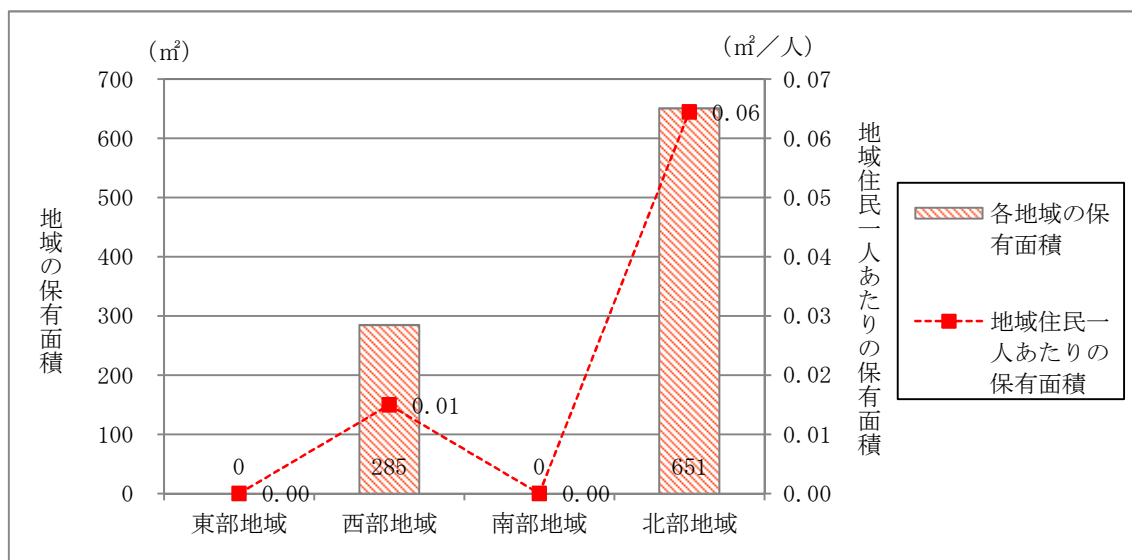
【図表29-4：各地域の施設保有面積（小・中学校）】



○幼稚園

やよい幼稚園及びさつき幼稚園の2園がある北部地域の面積が、全体、一人あたりともに大きくなっています。

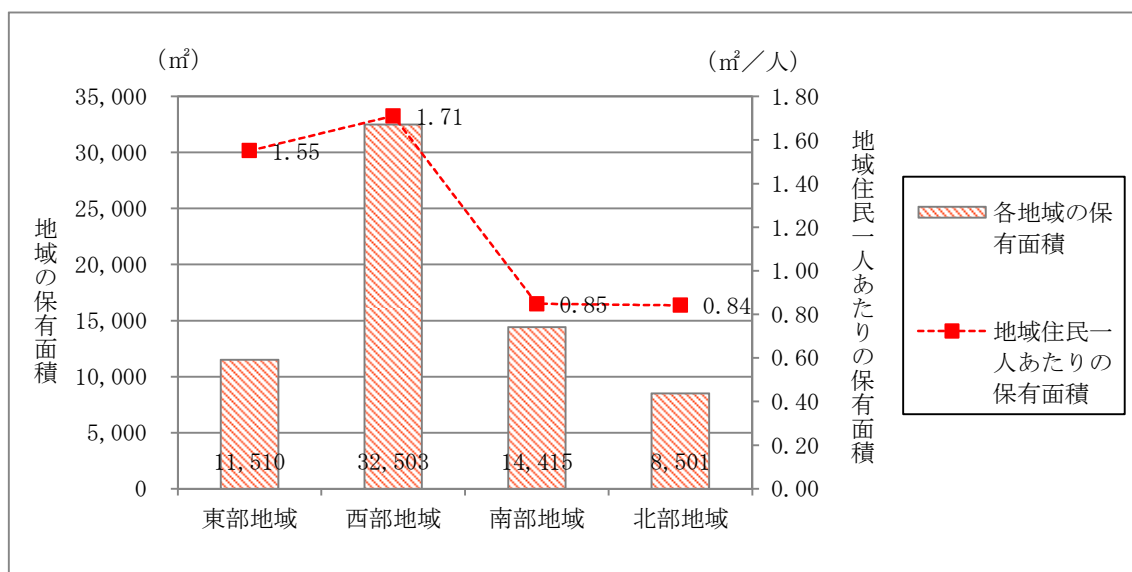
【図表29-5：各地域の施設保有面積（幼稚園）】



○市営住宅

領家台住宅や緑町住宅などの大規模な市営住宅が複数ある西部地域の面積が、全体、一人あたりともに、最も大きくなっています。

【図表29-6：各地域の施設保有面積（市営住宅）】



(3) 各地域の保有施設数

図表30は、各地域の保有する施設数を示したものです。

この図表から、東部地域において、施設保有数の割合と人口割合に開きが生じていることが分かります。

【図表30：各地域の保有施設数一覧】

小分類	保有施設数			
	東部地域 [7,421人]	西部地域 [19,006人]	南部地域 [17,001人]	北部地域 [10,097人]
庁舎	1 (1)	0 (0)	4 (0)	0 (0)
出張所	0 (0)	1 (1)	2 (2)	2 (2)
公民館	3 (3)	3 (3)	4 (4)	2 (2)
教育集会所	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)
その他社会教育施設	0 (0)	3 (2)	2 (0)	3 (2)
文化施設	3 (1)	1 (0)	2 (0)	0 (0)
スポーツ施設	1 (0)	1 (0)	4 (0)	0 (0)
レクリエーション施設	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
保育園	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)
留守家庭児童教室等	0 (0)	3 (3)	1 (1)	1 (1)
憩いの家	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)
在宅介護センター	0 (0)	2 (2)	1 (1)	0 (0)
健康交流施設	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
高齢者福祉施設	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
障害者福祉施設	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
ふれあいセンター	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
その他福祉施設	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
保健施設	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
小学校	4 (4)	2 (2)	2 (2)	3 (3)
中学校	1 (1)	2 (2)	2 (2)	0 (0)
幼稚園	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
給食施設	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
市営住宅	7 (7)	14 (14)	9 (9)	5 (5)
産業施設	2 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)
その他施設	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
保有施設数の合計	41 (36)	41 (36)	43 (27)	22 (20)
保有施設数の割合	28% (30%)	28% (30%)	29% (23%)	15% (17%)
人口割合	14%	35%	32%	19%

※保有施設数の（ ）内の数字は、地域住民を主な利用者とする施設の数です。

(4) 各地域の保有する地域対象施設の維持管理・運営コスト

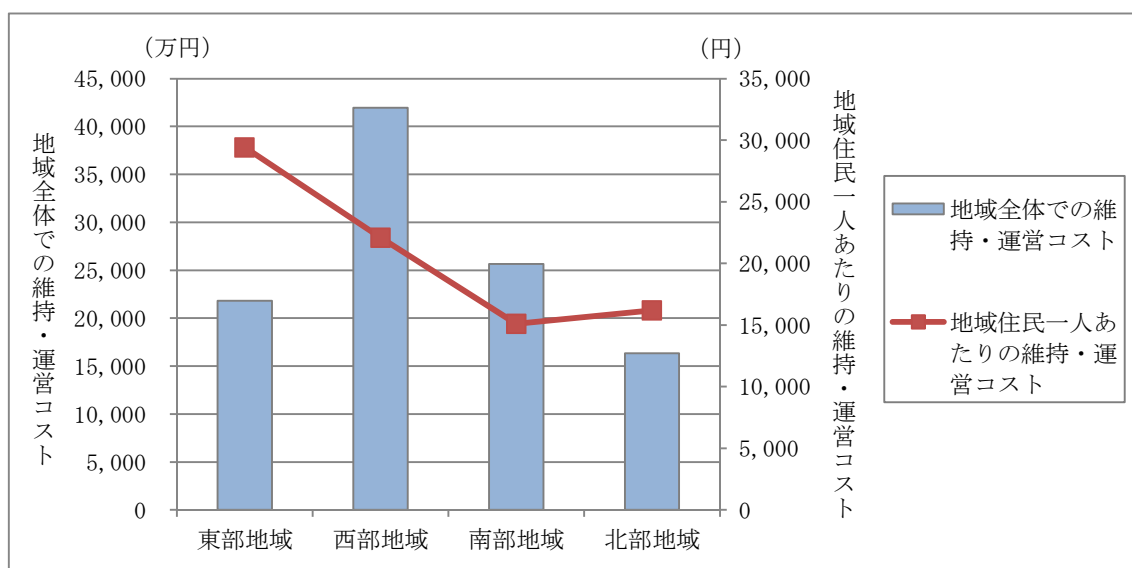
図表3-1及び3-2は、地域住民を主な利用者とする地域対象施設について、各地域の維持管理・運営コストを示したものです。

これらの図表から、地域全体での維持管理・運営コストでは、西部地域が最も高くなっていることや、地域住民一人あたりでは東部地域が最も高くなっていることなどが分かります。

【図表3-1：地域対象施設の維持管理・運営コスト一覧】

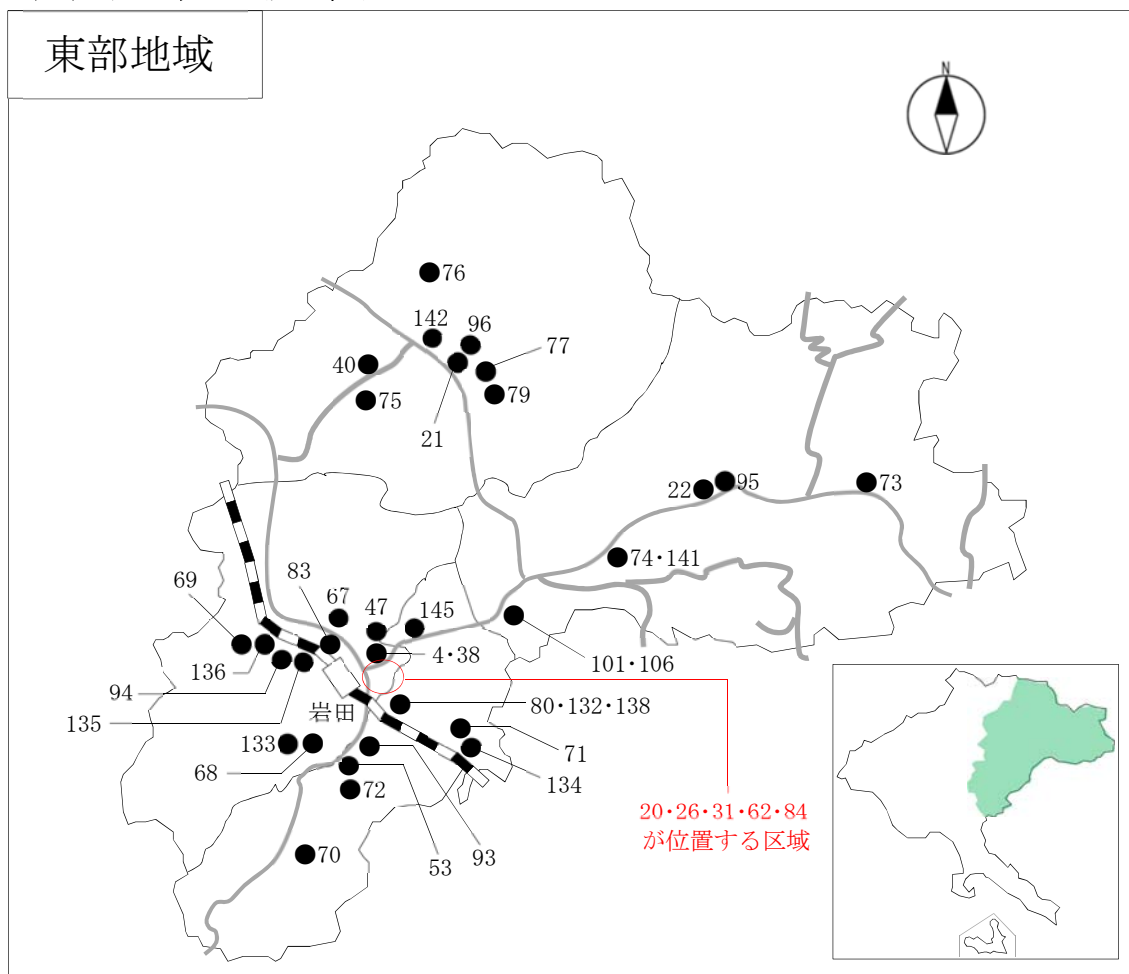
地域名	人口（人）	施設数	維持管理・運営コスト（円）	一人あたり維持管理・運営コスト（円）
東部地域	7,421	36	218,212,412	29,405
西部地域	19,006	36	419,581,443	22,076
南部地域	17,001	27	256,538,857	15,090
北部地域	10,097	20	163,452,809	16,188

【図表3-2：地域対象施設の維持管理・運営コストの比較グラフ】



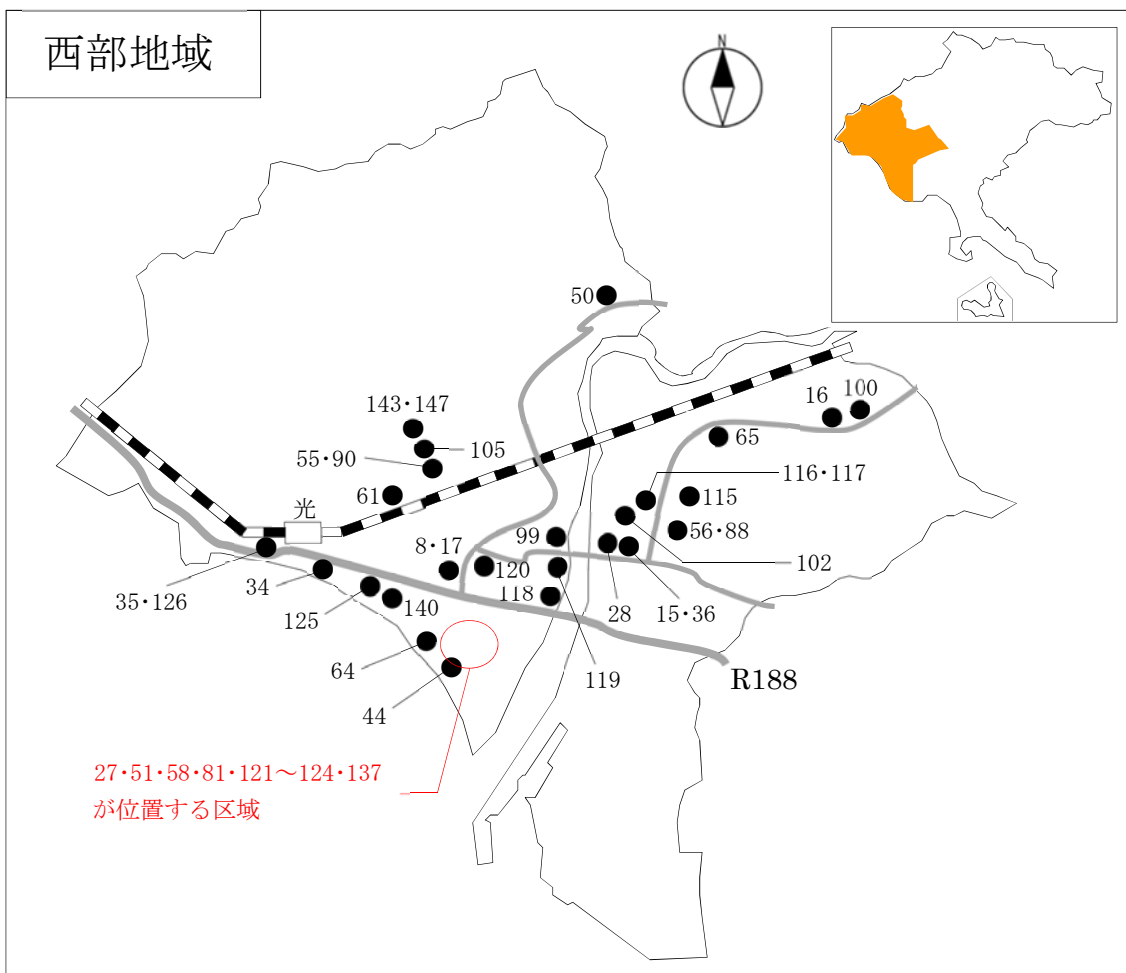


(5) 各地域の施設配置図



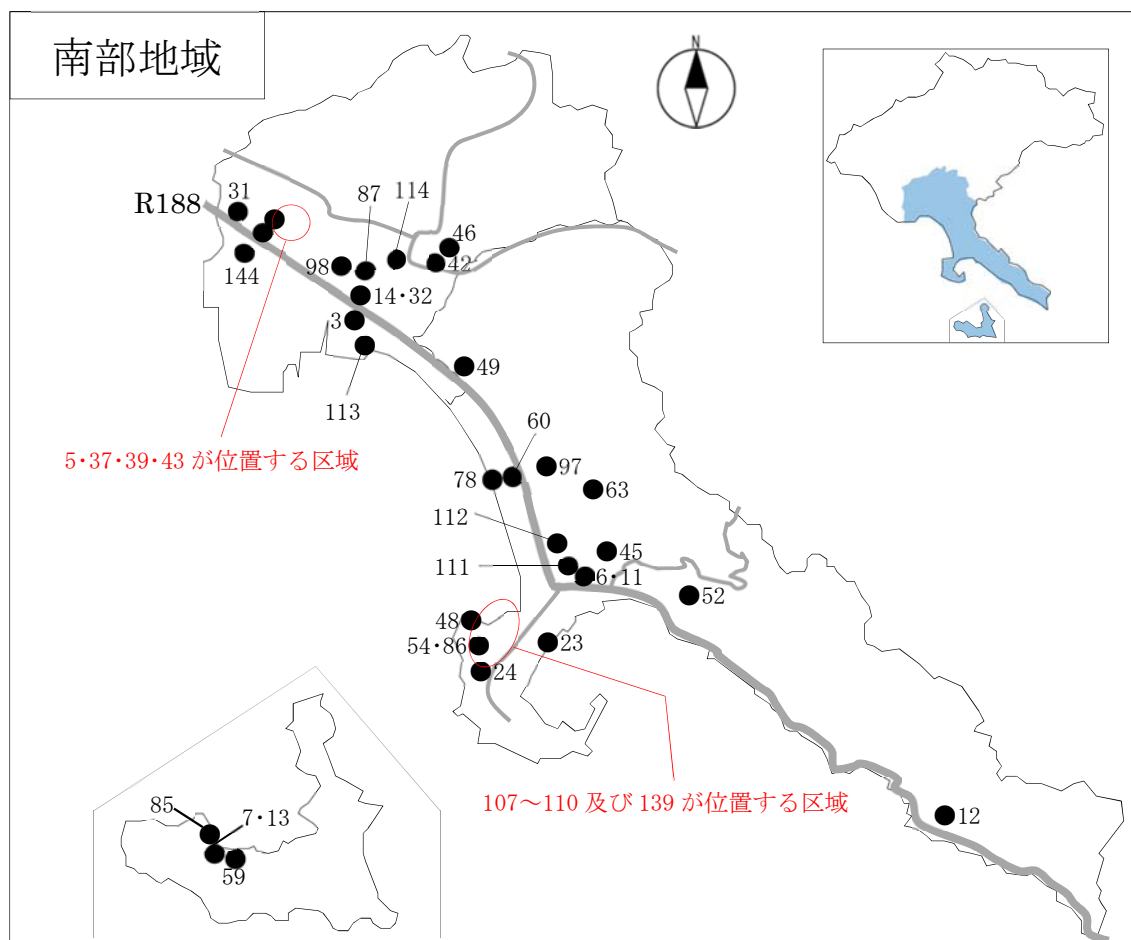
中分類	施設番号	施設名	中分類	施設番号	施設名	
庁舎等	4	大和支所		77	東荷老人作業所	
社会教育	20	大和公民館	福祉	79	心身障害者福祉作業所あけぼの園	
	21	東荷公民館		80	三輪福祉会館	
	22	塩田公民館		83	共同作業所	
	26	三輪集会所		保健	84	大和保健センター
文化	38	図書館大和分室	学校	93	三輪小学校	
	40	伊藤公資料館		94	岩田小学校	
	41	大和歴史民俗資料館		95	塩田小学校	
スポーツ	47	大和総合運動公園		96	東荷小学校	
保育	53	大和保育園		101	大和中学校	
				106	大和学校給食センター	
福祉	62	やまとふれあいセンター	住宅	132	三輪中央住宅	
	67	岩田第一老人憩いの家		133	溝呂井住宅	
	68	岩田第二老人憩いの家		134	小豆尻住宅	
	69	岩田老人作業所		135	儀山住宅	
	70	三輪第一老人憩いの家		136	中岩田住宅	
	71	三輪第二老人憩いの家		138	三輪中央住宅(改良)	
	72	三輪第三老人憩いの家		141	小倉住宅	
	73	塩田佐田老人憩いの家		産業	142	農業振興拠点施設「里の厨」
	74	塩田石城作業所			145	農産物加工センター
		75		東荷第一老人憩いの家	合計(41施設)	
	76	東荷第二老人憩いの家				

※施設番号が白抜き数字の施設は、利用者の区域が市内全域又は市外に及ぶ全域対象施設です。



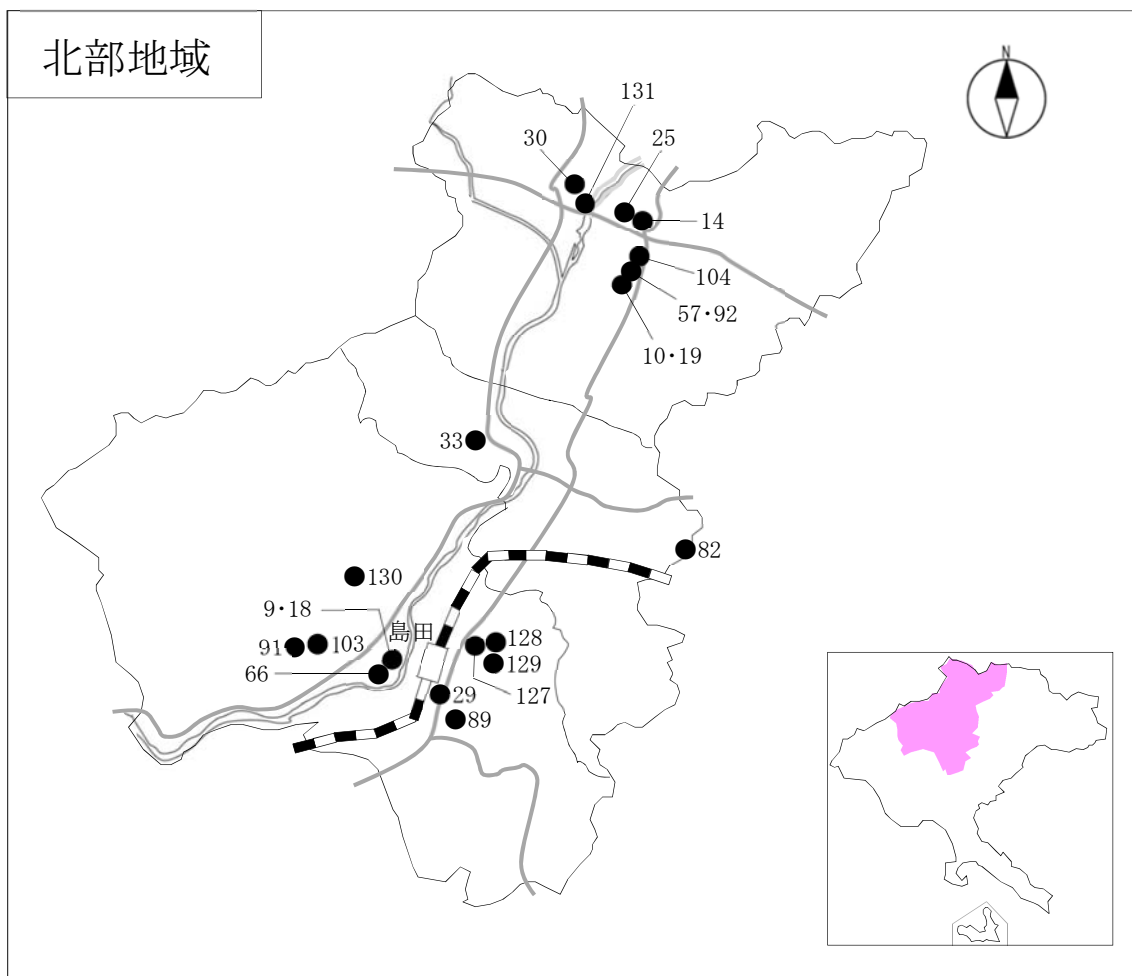
中分類	施設番号	施設名	中分類	施設番号	施設名
庁舎等	8	浅江出張所	学校	99	浅江中学校
社会教育	15	島田公民館	幼稚園	100	島田中学校
	16	中島田公民館	給食	102	つるみ幼稚園
	17	浅江公民館	住宅	105	光学校給食センター
	27	若竹集会所		115	東領家住宅
	28	地域づくり支援センター		116	領家台住宅
	34	虹ヶ浜連合自治会館		117	領家台住宅（特公賃）
35	虹ヶ浜西自治会館	118		相生住宅	
文化	36	市民ホール		119	花園住宅
スポーツ	44	勤労者体育センター		120	平岡台住宅
保育	50	浅江東保育園		121	高洲住宅
	51	浅江南保育園		122	高洲西住宅
	55	浅江サンホーム		123	緑町住宅
	56	島田サンホーム		124	緑町西住宅
	58	わかば児童館		125	幸町住宅
福祉	61	西部憩いの家		126	虹ヶ浜西住宅
	64	西部在宅介護支援センター		137	高洲住宅（改良）
	65	しまた在宅介護支援センター	140	古川住宅	
	81	あさえふれあいセンター	産業	143	テクノキャンパス研修センター
学校	88	島田小学校	その他	147	旧周南コンピュータ・カレッジ
	90	浅江小学校			合計（41施設）

※施設番号が白抜き数字の施設は、利用者の区域が市内全域又は市外に及ぶ全域対象施設です。



中分類	施設番号	施設名	中分類	施設番号	施設名
庁舎等	1	市役所本庁舎	保育	52	みたらい保育園
	2	市役所別館		54	室積サンホーム
	3	総合福祉センター (あいぱーく光)	福祉	59	牛島憩いの家デイサービスセンター
	5	教育委員会庁舎		60	東部憩いの家
	6	室積出張所		63	東部在宅介護支援センター
	7	牛島出張所		78	障害者(児)地域支援施設「海浜荘」
	11	室積公民館		85	牛島診療所
社会教育	12	伊保木公民館	学校	86	室積小学校
	13	牛島公民館		87	光井小学校
	14	光井公民館		97	室積中学校
	23	昭和会館		98	光井中学校
	24	汐浜集会所	住宅	107	南汐浜住宅
	31	勤労青少年ホーム		108	汐浜2区住宅
32	生涯学習センター	109		松中住宅	
文化	37	図書館	110	西之浜住宅	
	39	文化センター	111	みたらい住宅	
スポーツ・レク	42	総合体育館	112	中央住宅	
	43	スポーツ館	113	東戸仲住宅	
	45	身体障害者体育施設 (サン・アビリティーズ光)	114	森ヶ峠住宅	
	46	スポーツ公園	139	潮浜住宅	
	48	フィッシングパーク光	産業	144	シルバーワークプラザ
	49	冠山総合公園	合計 (43施設)		

※施設番号が白抜き数字の施設は、利用者の区域が市内全域又は市外に及ぶ全域対象施設です。



中分類	施設番号	施設名	中分類	施設番号	施設名
庁舎等	9	三島出張所	学校	89	上島田小学校
	10	周防出張所		91	三井小学校
社会教育	18	三島公民館		92	周防小学校
	19	周防公民館	幼稚園	103	やよい幼稚園
	25	虹川集会所		104	さつき幼稚園
	29	農村婦人の家	住宅	127	上島田住宅
	30	周防多目的集会所		128	山田住宅
33	野外活動センター (周防の森ロッジ)	129		亀山住宅	
保育	57	周防サンホーム		130	岩狩住宅
	福祉	66		三島温泉健康交流施設 (ゆーぱーく光)	131
82		大型共同作業所	産業	146	虹川ライスセンター
			合計 (22施設)		

※施設番号が白抜き数字の施設は、利用者の区域が市内全域又は市外に及ぶ全域対象施設です。